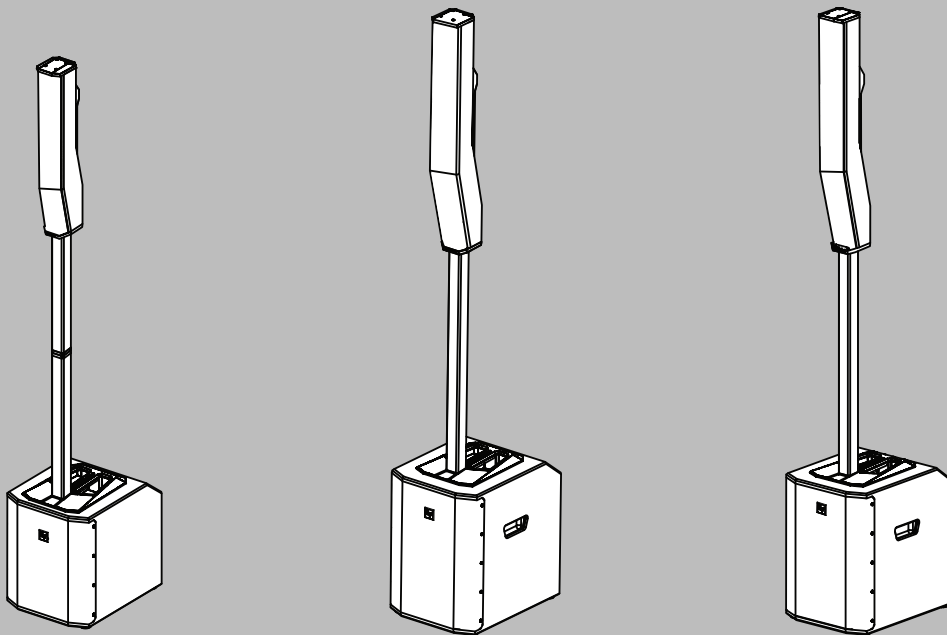


EVOLVE G2 Portable Column Loudspeaker

EVOLVE 30M G2, EVOLVE 50M G2, EVOLVE50 G2



目次

1	安全性	6
1.1	安全に関する重要事項	6
1.2	ご注意	7
1.3	吊り下げ	7
2	製品登録	9
3	概要情報	10
3.1	付属部品	10
4	製品説明	14
4.1	クイックセットアップ	15
5	インストール	17
6	オーディオおよび制御用の Bluetooth® の使用	19
6.1	Bluetooth® オーディオのペアリング	19
6.2	コントロール用の QuickSmart アプリの接続	19
7	アンプ パネル コントロール	21
7.1	EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	21
7.2	EVOLVE 50 G2	23
8	システム ステータス インジケータ	25
8.1	EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	25
8.2	EVOLVE 50 G2	26
8.3	システム保護リミッタ	27
9	DSP コントロールメニュー	29
9.1	メイン コントロール メニュー	29
9.1.1	MODE コントロール	29
9.1.2	SUB LEVEL コントロール	30
9.1.3	TREBLE/MID/BASS コントロール	30
9.1.4	MAIN EQ メニュー	30
9.1.5	DELAY コントロール	32
9.1.6	FX コントロール	32
9.1.7	AFS コントロール	32
9.1.7.1	ハウリングの低減	33
9.1.8	SPEAKER OUT コントロール	33
9.1.9	MIX OUT コントロール	33
9.1.10	MANUAL GAIN コントロール	34
9.1.11	BLUETOOTH メニュー	35
9.1.12	LINK SPEAKERS 機能	36
9.1.12.1	スピーカーのリンク	36
9.1.13	AUTO RECONNECT 機能	37
9.1.14	LED コントロール	37
9.1.15	DISPLAY メニュー	37
9.1.15.1	DSP コントロール メニューのロック	38
9.1.16	DIM コントロール	38
9.1.17	BRIGHT コントロール	38
9.1.18	NAME コマンド	39
9.1.18.1	スピーカーの名前の設定	39
9.1.19	STORE PRESET コマンド	39
9.1.19.1	カスタムユーザー設定の保存	39
9.1.20	RECALL PRESET コマンド	40
9.1.20.1	カスタムユーザー設定の取り消し	40

9.1.21	RESET コマンド	40
9.1.21.1	システムをリセットする	40
9.1.22	IMPRINT & LICENSE および INFO	40
9.2	Input DSP コントロール メニュー	41
9.2.1	LEVEL コントロール	41
9.2.2	GAIN コントロール	42
9.2.3	PHANTOM コントロール	42
9.2.4	PRESET コントロール	42
9.2.5	COMP コントロール	43
9.2.6	TREBLE/MID/BASS コントロール	43
9.2.7	PHASE INVERT コントロール	43
9.2.8	FX コントロール	44
9.2.9	AUX コントロール	44
9.2.10	PAN/BAL コントロール	44
9.2.11	DUCKER コントロール	44
9.2.11.1	ダッカーの有効化	44
9.2.12	INPUT LINK コントロール	45
9.2.13	NAME コマンド	45
9.2.13.1	入力チャンネルの名前の設定	46
9.3	AUX コントロールメニュー	46
9.3.1	AUX LEVEL コントロール	46
9.3.2	AUX EQ メニュー	46
9.3.3	AUX OUT ROUTING コントロール	47
9.3.4	AUX SEND コントロール	47
9.3.5	FX TO AUX コントロール	48
10	推奨構成	49
10.1	XLR ケーブルを使用したステレオ ペアリング	49
10.2	QuickSmart Link を使用したステレオ ペアリング	50
10.3	DJ パフォーマンス	52
10.4	ミュージシャンのソロ演奏	54
10.5	講演会	55
10.6	Bluetooth True Wireless Stereo (TWS)	56
10.7	XLR ケーブルを使用したステレオとサブウーファースの接続	58
10.8	ステレオ メインとモニター	59
11	トラブルシューティング	60
12	テクニカル データ	64
12.1	ブロック図	69
12.2	寸法	71
13	付録	73
13.1	DSP コントロール メニュー一覧	73
13.1.1	Main コントロール メニュー一覧	73
13.1.2	Input DSP コントロール メニュー一覧	79
13.1.2.1	EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	79
13.1.2.1.1	INPUT 1 ~ 4	79
13.1.2.1.2	INPUT 5/6	82
13.1.2.1.3	INPUT 7/8	83
13.1.2.2	EVOLVE 50 G2	84
13.1.2.2.1	INPUT 1 ~ 2	84
13.1.2.2.2	INPUT 3/4	86

13.1.2.2.3	INPUT 5/6	87
13.1.3	AUX コントロール メニュー一覧	88
13.2	Audio FX	90
13.2.1	EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 の FX1 と FX2	90
13.2.2	EVOLVE 50 G2 の FX エフェクト	91
13.3	QuickSmart Link の互換性	92
13.4	QuickSmart Link で同期されるパラメータ	92
13.5	保証情報	93
13.6	規制情報	93
13.6.1	FCC に関する情報	93
13.6.2	欧州 (CE) 向けの簡易適合宣言書 (sDoC)	94
13.6.3	CE の規制通知 - 機器の使用に関する情報	97
13.6.4	認定規格	97
13.6.5	注意事項	97

1 安全性

1.1 安全に関する重要事項

1. この安全に関する重要事項をよくお読みになり、大切に保管してください。すべての重要事項を遵守し、すべての警告に留意してください。
2. 該当する設置マニュアルの最新バージョンを www.electrovoice.com からダウンロードして、設置手順をご確認ください。



情報

重要事項については設置マニュアルをご覧ください。

3. すべての設置手順を遵守し、以下の警告表示に従ってください。



注記!

追加情報が含まれています。通常は、通知の内容に従わなかったとしても、機器の破損や人的被害は起こりません。



注意!

この警告に従わないと、機器 / 資産の破損や人的被害が起きることがあります。



危険!

電気ショックの危険。



危険!

火災や感電の危険を避けるため、本装置を雨や湿気にさらさないようにしてください。

7. **換気口をふさがないでください。**メーカーの説明書に従って設置してください。-機器の正常な機能動作を確保し、過熱から保護するために、筐体（存在する場合）には換気を目的とした通気口が設けられています。これらの通気口はふさいだり覆ったりしないでください。適切に換気ができない場合、またはメーカーからの重要事項を遵守できない場合、この機器を組み込んで設置しないでください。
8. ラジエータ、蓄熱機器、ストーブ、またはその他の発熱する機器（アンプなど）の近くや、直射日光の下に設置しないでください。
9. 火のついた口ウソクなど、直火の熱源を装置の上に置かないでください。
10. **メーカー指定の付属品やアクセサリのみを使用してください。** - 機器を設置する際は、メーカーからの説明書にある手順に従い、メーカーが推奨する取り付け金具を使用して行ってください。

11. **メーカー指定の、または機器と同時販売のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみを使用してください。** - カートを使用する場合は、装置をカートに載せて移動中に転倒して、怪我をすることがないように注意してください。急停止や過度な力、または凹凸のある床面により、機器を載せたカートがひっくり返ることがあります。
12. システムの設置および保守整備は必ず資格者が行い、地域の該当規定を遵守する必要があります。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。
13. 2 m を超えた高さに装置を取り付けると、落下時に怪我をする恐れがあります。必ず予防措置を講じてください。
14. **交換部品** - 部品の交換が必要になった場合は、サービス技術員がメーカー指定の交換部品、または元の部品と同じ特性を持った部品を使用したことを確認してください。承認されていない部品を使用すると、火災、感電、その他の事故が発生する可能性があります。
15. **安全点検** - 機器の保守または修理が完了したら、機器が正しい状態で操作できることを確認するために、サービス技術員に安全点検を依頼してください。

**警告!**

本製品は、認定されたElectro-Voice取付部品を使用した上で、吊り下げての使用のみを目的に設計されています。未承認のブラケットまたは未承認の方法でラウドスピーカーを吊り下げないでください。Electro-Voice ラウドスピーカーのハンドルは、手作業での一時的な搬送、または Electro-Voice 用として認定された取付部品を使用することのみを前提としています。ファイバロープ、ワイヤロープ、ケーブル、その他の資材をハンドルに取り付けてスピーカーを吊り下げることではできません。

**警告!**

未認証のアクセサリや付属品を、本製品を含む Electro-Voice 製品とともに使用する行為については、ユーザー自身が責任を負うものとします。未認証のアクセサリや付属品を使用した場合、製品の誤作動や死傷事故を招く可能性があります。ユーザー自身がすべての責任を負うものとし、保証が無効になる場合があります。

**注意!**

完全に組み立てた後に、本スピーカーシステムを移動しないでください。システムの破損や怪我の原因となる可能性があります。

1.2

ご注意

- Electro-Voice スピーカーは、0°C (32°F) 以下または +35°C (95°F) を超える環境で使用しないでください。
- Electro-Voice スピーカーは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長時間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。聴覚に損傷を与えるのを避けるため、大きな音量で長時間聴かないでください。

1.3

吊り下げ

**警告!**

物を吊り下げるということは危険を伴うことなので、その作業は、必ず、頭上取り付け装具の技術と規則について詳細な知識を持つ人が行う必要があります。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、すべての最新の法律や規制を考慮することを強く推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、最低年 1 回のまたは法律や規制で定められた頻度でのシステム点検を推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。Electro-Voice 社製以外のスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に責任があります。

**警告!**

このマニュアルまたは Electro-Voice 設置ガイドに明確に説明されている以外の方法でこの製品を吊り下げないでください。(スピーカーの)天井への取り付け工事は危険な場合があるため、頭上に機器を設置する技術、部品、規制に関する十分な知識を持つ担当者だけが実施するようにしてください。Electro-Voice スピーカーは、Electro-Voice マニュアルおよび設置ガイドに記載されているアクセサリおよびハードウェアを使用してのみ吊り下げることができます。**ハンドルを使ってスピーカーを吊り下げないでください。Electro-Voice スピーカーのハンドルは、一時的な搬送でのみ使用するよう設計されています。ファイバロープ、ワイヤロープ、ケーブル、その他のものをハンドルに取り付けてラウドスピーカーを吊り下げることではできません。**Electro-Voice 社製以外のスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に支給の責任があります。

**警告!**

未認証のアクセサリや付属品を、本製品を含む Electro-Voice 製品とともに使用する行為については、ユーザー自身が責任を負うものとします。未認証のアクセサリや付属品を使用した場合、製品の誤作動や死傷事故を招く可能性があります。
ユーザー自身がすべての責任を負うものとし、保証が無効になる場合があります。

2

製品登録



EVOLVE G2 を以下のサイトで登録してください: electrovoice.com/register

3 概要情報

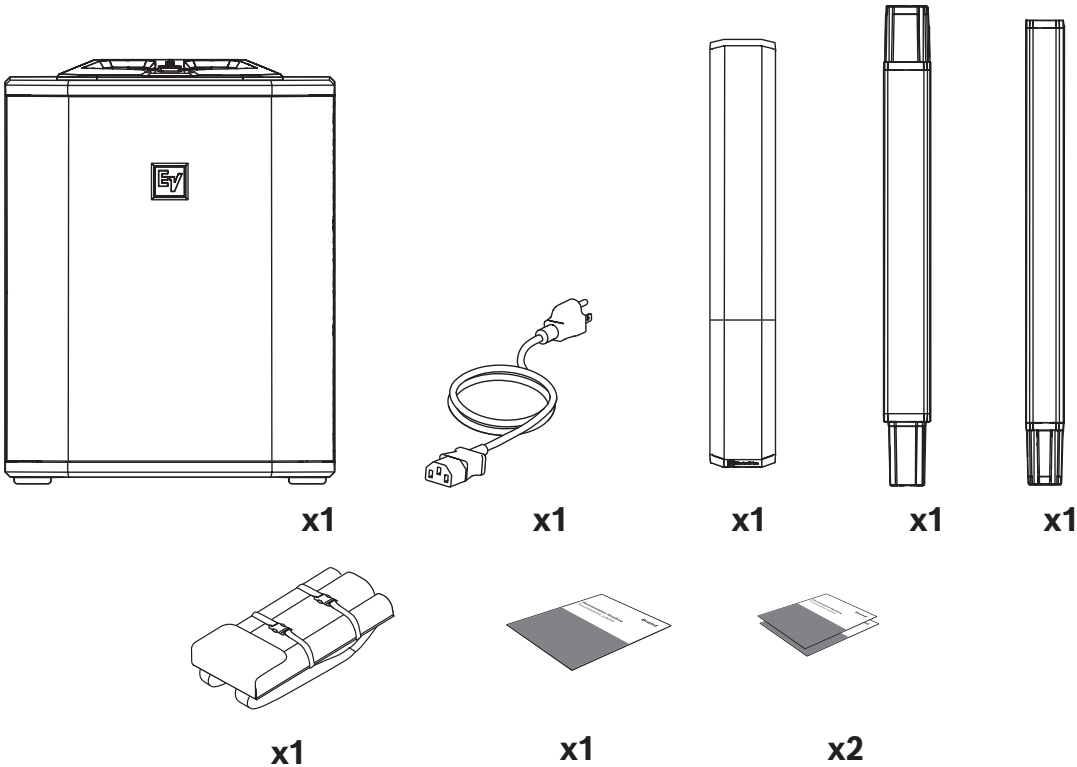
このドキュメントは次の製品に適用されます。

CTN	製品説明
EVOLVE30M-G2-US	ポータブルコラムシステム、US、黒、US 30M G2
EVOLVE30M-G2-EU	ポータブルコラムシステム、EU、黒、EU 30M G2
EVOLVE30M-G2-W	ポータブルコラムシステム、US および EU、白、US および EU 30MG2
EVOLVE50-TB-G2	カラム、ポール、黒、バッグ付き、EVOLVE50-50M G2
EVOLVE50-TW-G2	カラム、ポール、白、バッグ付き、EVOLVE50-50M G2
EVOLVE50-SB-G2-US	12 インチサブ黒、US コード、EVOLVE 50 G2
EVOLVE50-SB-G2-EU	12 インチサブ黒、EU コード、EVOLVE 50 G2
EVOLVE50-SW-G2	12 インチサブ白、US および EU コード、EVOLVE 50 G2
EVOLVE50M-SB-G2-US	12 インチサブ黒、US コード、EVOLVE 50M G2
EVOLVE50M-SB-G2-EU	12 インチサブ黒、EU コード、EVOLVE 50M G2
EVOLVE50M-SW-G2	12 インチサブ白、US および EU コード、EVOLVE 50M G2
EVOLVE50M-CB-G2-EU	ポータブル コラム セット、EU、黒
EVOLVE50M-CB-G2-US	ポータブル コラム セット、US、黒
EVOLVE50M-CW-G2-EU	ポータブル コラム セット、EU、黒
EVOLVE50M-CW-G2-US	ポータブル コラム セット、US、黒
EVOLVE50-CB-G2-EU	ポータブル コラム セット、EU、黒
EVOLVE50-CB-G2-US	ポータブル コラム セット、US、黒
EVOLVE50-CW-G2-EU	ポータブル コラム セット、EU、黒
EVOLVE50-CW-G2-US	ポータブル コラム セット、US、黒

3.1 付属部品

すべての部品が揃っていて、損傷していないことを確認してください。梱包や部品が破損している場合は、配送業者にお問い合わせください。部品が不足している場合は、営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

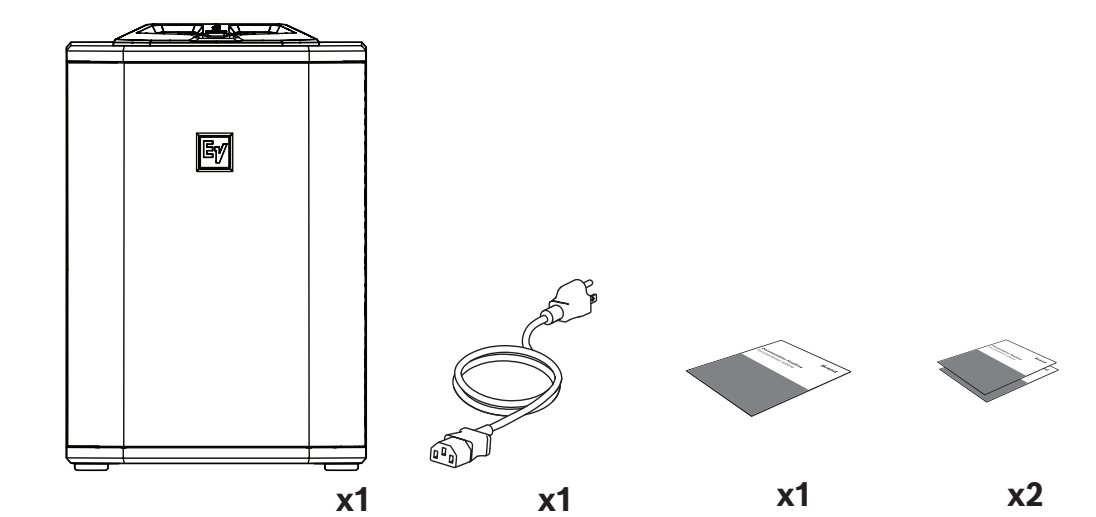
EVOLVE30M-G2-US, EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W



数量	梱包品
1	サブウーハー
1 ^{1,2}	電源コード
1	コラムアレイ
2	サブボール
1	キャリーバッグ
1	クイックユーザーガイド
2	安全・セキュリティに関する情報

¹ EVOLVE30M-G2-W は電源コードが 2 本付属します。
² 米国および EU の電源コードは一部の国でご利用いただけます。詳細については、Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

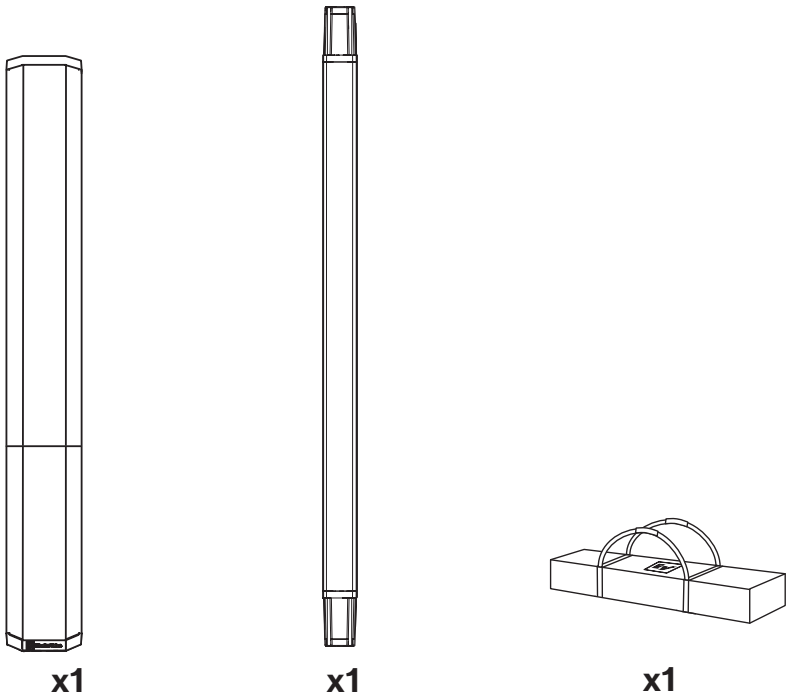
EVOLVE50-SB-G2-US, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-US, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2



数量	梱包品
1	サブウーハー
1 ^{1,2}	電源コード
1	クイックユーザーガイド
2	安全・セキュリティに関する情報

¹ EVOLVE50-SW-G2 および EVOLVE50M-SW-G2 は電源コードが 2 本付属します。
² 米国および EU の電源コードは一部の国でご利用いただけます。詳細については、Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

EVOLVE50-TB-G2, EVOLVE50-TW-G2



数量	梱包品
1	コラムアレイ
1	サブポール
1	キャリーバッグ

4 製品説明

Electro-Voice ポータブルコラムシステムをご購入いただき、ありがとうございます。本書をお読みになり、EV スピーカーシステムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。

EVOLVE 30M G2、EVOLVE 50M G2、EVOLVE 50 G2 は EVOLVE コラム スピーカー システム ファミリーの新世代です。EVOLVE の組み立てやすさを維持しつつ、EVOLVE G2 は、前世代のピーク出力を向上させ、システムの携帯性を強化し、DJ、バンド、制作会社、イベント主催者、会場など、プロユーザーの進化するニーズに対応します。

EVOLVE G2 は、最大 SPL が最大 2 dB 向上し、QuickSmart Link、ミュージック ダッキング、AFS、切り替え可能な 48V ファンタム電源、FX の組み合わせの可能性の拡大など、アップグレードされた DSP 機能を提供します。すべての機能は、大型カラー LCD 画面で操作可能です。

10 インチおよび 12 インチのサブウーファーを搭載し、小中規模のイベントにおいて深みのある低音と最適な音質を提供します。サブウーファーの層流ベント設計により、低音域出力と効率が向上しています。新しいトップ ハンドルを追加することで、システムの携帯性も向上させています。

これらのコラム システムは QuickSmart App エコシステムに統合されているため、ユーザーは他の Bluetooth® 対応 Electro-Voice ポータブル スピーカーとともにシステムの一部として制御できます。EVOLVE G2 は、XLR/TRSコンボジャック、ステレオ RCA/3.5-mm ライン入力、Bluetooth® によるトゥルー ワイヤレス ステレオ (TWS) ストリーミングなど、マイクとラインレベル信号用の業界標準コネクタを備えています。ミキサー モデルには、より多くの入力、フットスイッチ (FX コントロール用含む)、AUX、マニュアル ゲインも搭載されています。

EVOLVE G2 は、ブラック仕上げとホワイト仕上げの 2 色で提供されます。

アクセサリ

EVOLVE G2 ファミリーには、厳選されたアクセサリが含まれています。

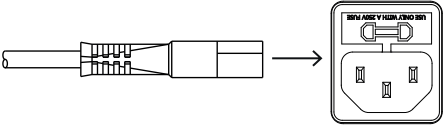
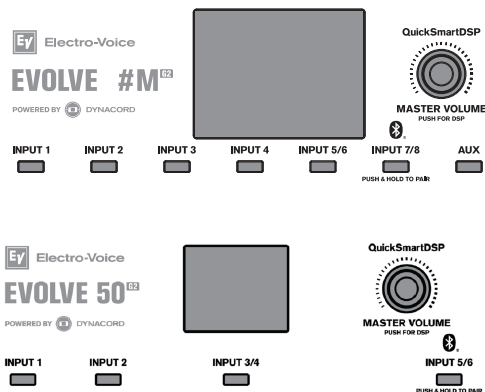
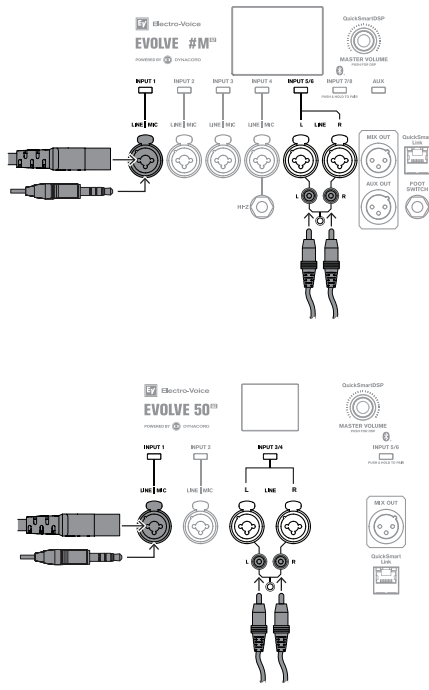
アクセサリはすべて別売りです。

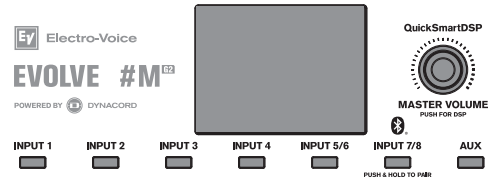
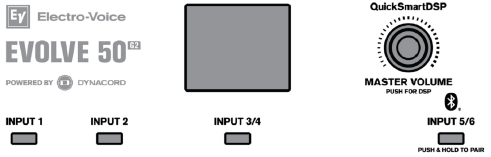
CTN	製品説明
EVOLVE30M-CVR-G2	EVOLVE 30M G2 サブウーファー用ソフト カバー
EVOLVE50-CVR-G2	EVOLVE 50M G2 および EVOLVE 50 G2 サブウーファー用ソフト カバー
EVOLVE30M-CASE	EVOLVE 30M および EVOLVE 30M G2 用キャリー ケース
EVOLVE50-CASE	コラム スピーカー キャリー ケース (ホイール付き)
EVOLVE50-PL-SB	コラムスピーカーポール、ショート、黒
EVOLVE50-PL-SW	コラムスピーカーポール、ショート、白

- **パッド入りスリップ カバー** - サブウーファー用パッド付スリップオーバー カバー (トップハンドル用フックとループ付き)。
- **キャリー ケース** - 高品質のポリマー素材を使用したサブウーファー用キャリー ケース。伸縮式ハンドルと、コラム アレイ用キャリー バッグを取り付けるためのバックルが付属しています。
- **短距離ポール** - EVOLVE G2システムをステージなどの高い場所に設置する場合に使用します。短距離ポールを使用すると、システムの高さが 445 mm (17.5インチ) 低くなります。

4.1 クイックセットアップ

スピーカーのセットアップ方法：

手順	説明図
1. AC 電源コードをアース付きコンセントとシステムの MAINS IN .	
2. 電源スイッチを ON .	
3. 音量を 0 dB に MASTER VOLUME 設定します。	
4. 入力選択ソフトキーを押して、入力チャンネルを選択します。 チャンネルが選択されると、ソフトキーが点灯します。 5. MASTER MASTER VOLUME つまみを使用して、 INPUT LEVEL を MUTE .	
6. 適切な XLR、TRS、または RCA (シンチ) ケーブルを使用してオーディオソースを接続します。 注: 接続する前に、オーディオソースが MUTE または低レベルになっていることを確認してください。接続後に、ソースの出力を適切なレベルに上げます。	

7. 信号のピークが最大レベルのすぐ下に来るか、必要な出力が達成されるまで、INPUT LEVEL を調整します。もし CLIP が表示された場合、CLIP 表示が消えるまでレベルを下げます。 8. 入力選択ソフトキーをもう一度押して、チャンネル メニューを終了します。	 
9. MASTER MASTER VOLUME つまみを回して、ラウドスピーカーから必要な出力が得られるまで音量を上げます。	

5 インストール



注意!
完全に組み立てた後に、本スピーカーシステムを移動しないでください。
システムの破損や怪我の原因となる可能性があります。

スピーカーシステムを組み立てる

スピーカー システムを組み立てるには、次の手順に従います。

- 1. サブウーハーを安定した場所に置きます。
- 2. ポールを必要に応じて組み立ててから、設置します¹。
¹ 表「ポールの組み立てと設置」を参照してください。ポールの両端には磁石 (A) が付いています。

ポータブル コラム スピーカー	手順 2
EVOLVE 30M G2	2 つの部品をつなぎ合わせてポールを組み立てます。次にポールをサブウーファーのベースに挿入します。
EVOLVE 50M G2 および EVOLVE 50 G2	ポールをサブウーファーのベースに挿入します。

表 5.1: ポールの組み立てと設置

- 3. サブウーファーに挿入したポールの上端に、コラムアレイスピーカーシステムを取り付けます。

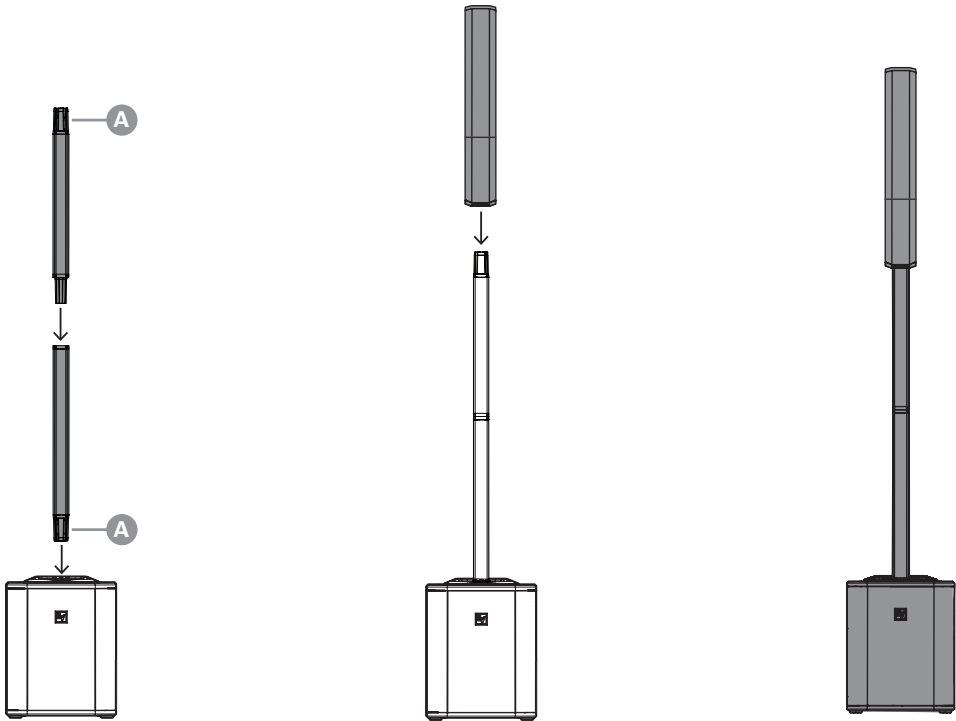


図 5.1: EVOLVE 30M G2

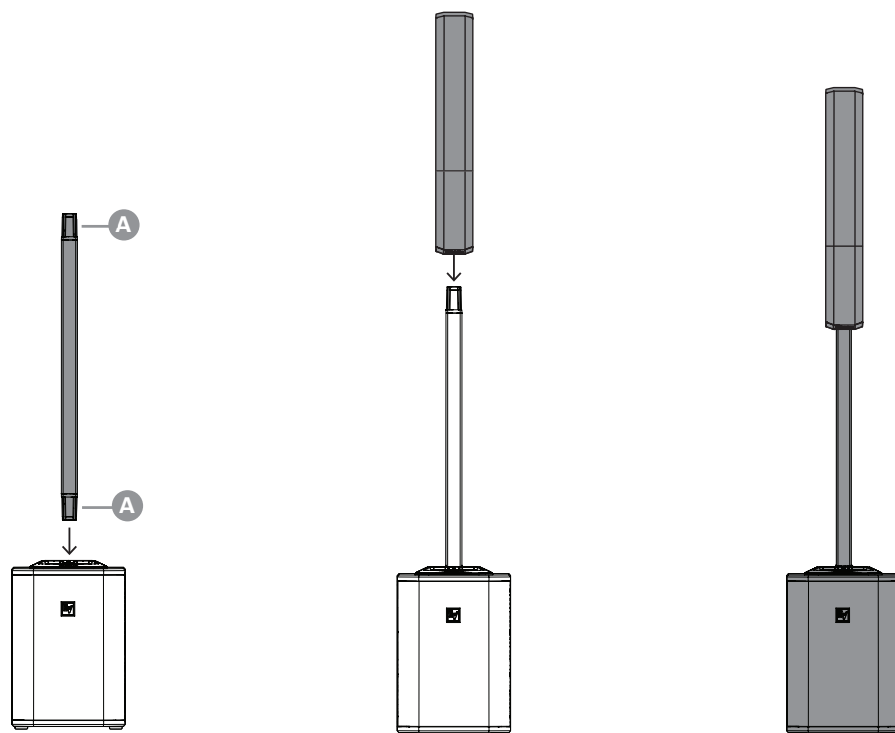


図 5.2: EVOLVE 50M G2、EVOLVE 50 G2

6 オーディオおよび制御用の Bluetooth® の使用

6.1 Bluetooth® オーディオのペアリング

スピーカーをオーディオ用ペアリング モードにするには、次の手順に従います。

1. 入力選択ソフトキーを長押ししてペアリング モードを有効にします。
「HOLD FOR PAIRING」というメッセージが表示されます。



ポータブル コラム スピーカー	入力選択ソフトキー
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 7/8
EVOLVE 50 G2	INPUT 5/6

表 6.1: ペアリング モードを有効にするための入力選択ソフトキー



注記!

スピーカーは約 5 分間、コントロール ペアリング モードになります。コントロール ペアリングに失敗した場合は、手順 1 を繰り返すか、Bluetooth® ペアリング済みのデバイス リストをクリアしてください。詳細およびトラブルシューティングについては次をご覧ください:

<https://go.electrovoice.com/qsm>



2. LCD に「BT PAIRING MODE ON」と 4 桁の ID が表示されるまで待ちます。
3. モバイル デバイスの Bluetooth® 設定メニューで、対応する 4 桁の ID を持つ EVOLVE G2 スピーカーを選択します。
ペアリングに関するメッセージが各デバイスのオペレーティング システムから表示されるので、承認します。
これにより、モバイル デバイスが EVOLVE G2 スピーカーとペアリングされ、オーディオ ストリーミングが可能になります。

Bluetooth® ツール ワイヤレス ステレオ (TWS) を使用して 2 台のスピーカーを接続する場合は、「Bluetooth True Wireless Stereo (TWS) , ページ 56」を参照してください。

6.2 コントロール用の QuickSmart アプリの接続

タブレット端末やスマートフォン向けの QuickSmart アプリは、Apple App Store および Google Play Store からダウンロードできます。

EVOLVE G2 スピーカーをサポートするには、QuickSmart 3.0 が必要です。

アプリをダウンロードして最新のファームウェアのアップデートを確認し、最適なオーディオ パフォーマンスを楽しみ、システムの制御を最大限に活用してください。



注記!

QuickSmart アプリは、Bluetooth® コントロール機能を搭載した Electro-Voice からスピーカーを探索することだけを目的としています。

QuickSmart アプリには、電話やノートパソコン、タブレット、ヘッドセットなど、その他の Bluetooth® 対応機器は表示されません。

QuickSmart アプリを EVOLVE G2 スピーカーとペアリングする前に:

- ▶ スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth® が有効になっていることを確認してください。



注記!

Android バージョン 11 以前の Android デバイスの場合は、位置情報サービスが許可されていることを確認してください。

コントロール用に QuickSmart アプリを接続するには、次の手順に従います。

1. 入力選択ソフトキーを長押ししてペアリング モードを有効にします。
「HOLD FOR PAIRING」というメッセージが表示されます。

ポータブル コラム スピーカー	入力選択ソフトキー
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 7/8
EVOLVE 50 G2	INPUT 5/6

表 6.2: ペアリング モードを有効にするための入力選択ソフトキー



注記!

スピーカーは約 5 分間、コントロール ペアリング モードになります。コントロール ペアリングに失敗した場合は、手順 1 を繰り返すか、Bluetooth® ペアリング済みのデバイス リストをクリアしてください。詳細およびトラブルシューティングについては次をご覧ください:

<https://go.electrovoice.com/qsm>



2. LCD に「BT PAIRING MODE ON」と 4 桁の ID が表示されるまで待ちます。
3. QuickSmart アプリを開きます。
利用可能なすべてのスピーカーが、**Discovered Speakers** セクションに表示されます。
4. ペアリングするスピーカーを 1 つまたは複数選択します。
このアプリでは、一度に最大 6 台のスピーカーとのペアリングをサポートしています。
5. **Connect** を選択します。
モバイル デバイスのオペレーティング システムから、Bluetooth® ペアリング要求の確認を求められます。
6. **Pair and connect** を選択します。
デバイスに、スピーカーとの同期を求めるメッセージが表示されます。
7. **Synchronize** を選択します。
単一のスピーカーまたはシステム全体 (複数のスピーカーを接続した場合) のメイン コントロール画面が開きます。



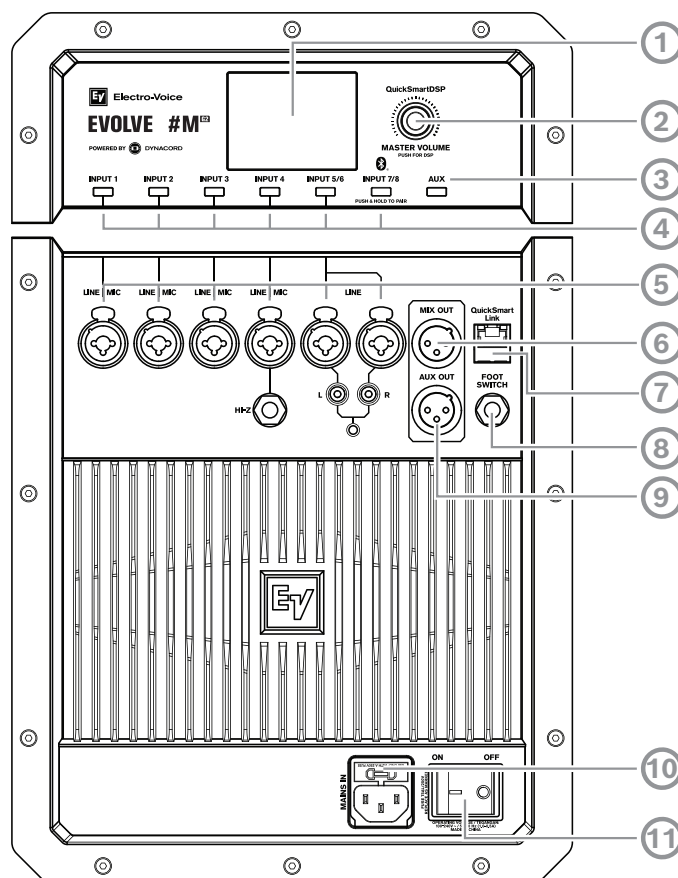
注記!

接続が完了すると、アプリによりファームウェアのアップデートの有無が確認され、今更新するか後で更新するかを選択するよう求められます。事前にファームウェアを確認し、最新バージョンにアップデートしておいてください。

7 アンプ パネル コントロール

アンプには、いくつかのコントロールとコネクタが装備され、非常に多目的に使えるスピーカー・システムを構成することができます。

7.1 EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2



1. **LCD** - DSP コントロールとモニタリング・インターフェース。
2. **MASTER VOLUME** - サウンドレベルを調整し、DSP コントロールメニューに移動します。
DSP - メニューをスクロールして利用できるメニュー項目を選択します。**MASTER VOLUME** つまみを押して DSP コントロールメニューを開きます。
3. **AUX** 選択ソフトキー - このソフトキーで **AUX** チャンネルを選択して、**MASTER VOLUME** つまみを押して **AUX** メニューにアクセスします。
4. **入力選択ソフトキー** - このソフトキーで入力を選択し、**MASTER VOLUME** つまみを押して入力メニューにアクセスします。入力の選択を解除してシステム ステータス画面に戻るには、ソフトキーをもう一度押します。
5. **INPUT** コネクタ
 - **INPUT 1 ~ INPUT 4** - 楽器やマイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には TRS または XLR コネクタを使用します。XLR コネクタでは、48V ファンタム電源に個別に切り替えることも可能です。**INPUT 4** には、TRS/XLR コンボ プラグの下に HI-Z 入力 が装備されており、ハイインピーダンスの楽器出力を TS プラグで接続できます。
 - **INPUT 5/6** - ミキシング コンソールや DJ コントローラーなどの音源からのステレオのライン レベル信号を接続するためのステレオ入力。XLR タイプ、TRS、RCA のコネクタのいずれかを 2 本使用するか、または 3.5 mm ステレオ コネクタ 1 本を使用して接続します。
 - **INPUT 7/8** - ステレオ Bluetooth オーディオ接続。

6. **MIX OUT** - INPUT 1 ~ INPUT 7/8 のポストフェーダー音声信号が、ミックスされて MIX OUT に送信されます。INPUT 1 ~ INPUT 7/8 のレベル コントロールを調整すると、その音量変化が MIX OUT に反映されます。この機能により、本スピーカーは、MIX OUT ソケットを介して他のスピーカーにミックスを送信できるベーシックな 8 チャンネルミキサーとしての役割を果たします。出力は、ミキサーモノラル、ステレオの左またはステレオの右の信号のいずれかをメニューで設定できます。さらに、PRE または POST 主音量および EQ も設定可能です。QuickSmart Link を使用している場合、MIX OUT はローカルのコラム システムと同じ信号を出力します。
7. **QuickSmart Link** - デジタル オーディオおよびシステム コントロール用に 2 台の EVOLVE G2 システムをリンクする Cat5 ケーブル用の RJ45 コネクタ。QuickSmart Link を使えば、両方のスピーカーを 1 台のミキサーとして制御できます。推奨される最大のケーブル長は 100 m です。

注記!



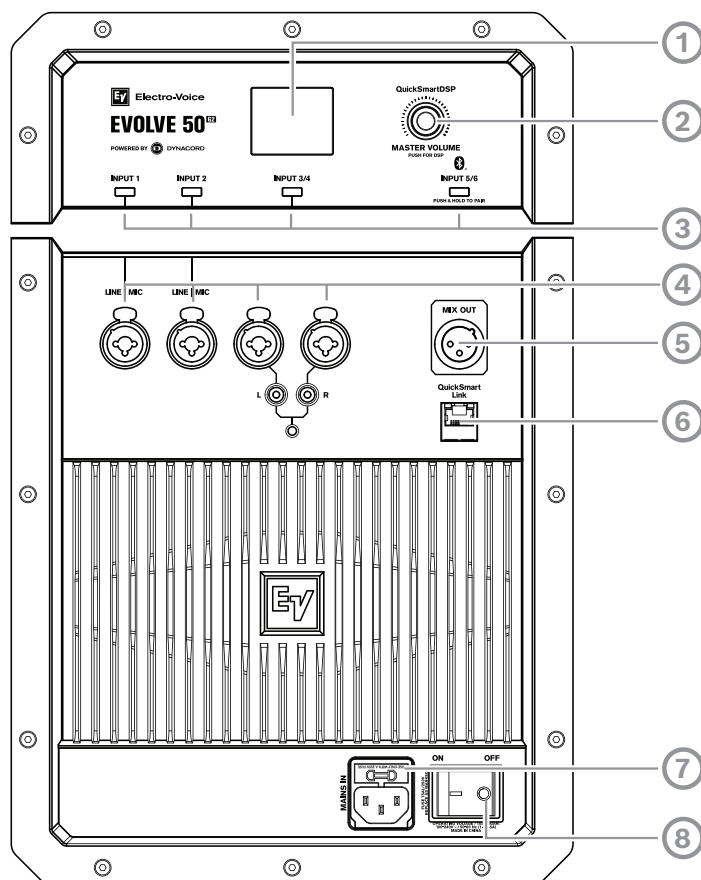
QuickSmart Link は 2 台の EVOLVE G2 システム接続にのみ使用されます。互換性およびサポートされている機能に関する情報については、「*QuickSmart Link の互換性*, ページ 92」を参照してください。

QuickSmart Link は Ethernet/LAN ポートを持っていないため、ネットワーク装置との互換性はありません。

8. **フットスイッチ** - FX のオン/オフ切り替え用の TS または TRS コネクタを備えた 1 ボタンフットスイッチを接続するための 1/4 インチ TRS コネクタ。
9. **AUX OUT** - AUX OUT は、以下の 2 種類のオーディオ ミックスを提供するように設定できます。
 - INPUT 1 ~ INPUT 7/8 の個別の PRE または POST オーディオ ミックス。このオーディオ ミックスは、DSP 経由で個々のチャンネルの **AUX** レベルにより制御されます。この信号には、**FX to AUX** コントロール経由で FX ミックスを追加できます。
 - メイン ミックス出力信号。このオーディオ ミックスは、エフェクトを含むメイン ミックス (モノラル) と同じ信号です。
10. **MAINS IN** - 装置の電源は、MAINS IN ソケットを通じて供給されます。付属の電源コード以外は使用しないでください。本機器は、100 ~ 240 V AC、50 ~ 60Hz を処理可能な主電源ネットワークにのみ接続してください。
11. **POWER** - スピーカー電源の **ON** と **OFF** を切り替えるスイッチ。電源を **ON** にすると、約 3 秒後に LCD 画面が点灯します。

7.2

EVOLVE 50 G2



1. **LCD - DSP コントロールとモニタリング・ インタフェース。**
2. **MASTER VOLUME** - サウンドレベルを調整し、DSP コントロールメニューに移動します。
DSP - メニューをスクロールして利用できるメニュー項目を選択します。**MASTER VOLUME** つまみを押して DSP コントロールメニューを開きます。
3. **入力選択ソフトキー** - このソフトキーで入力を選択し、**MASTER VOLUME** つまみを押して入力メニューにアクセスします。入力の選択を解除してシステム ステータス画面に戻るには、ソフトキーをもう一度押します。
4. **INPUT コネクタ**
 - **INPUT 1** および **INPUT 2** - 楽器やマイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には TRS または XLR コネクタを使用します。INPUT 1 と INPUT 2 の XLR コネクタでは、それぞれ 48V ファンタム電源に個別に切り替え可能です。
 - **INPUT 3/4** - ミキシング コンソールや DJ コントローラーなどの音源からのステレオのライン レベル信号を接続するためのステレオ INPUT 3/4。XLR タイプ、TRS、RCA のコネクタのいずれかを 2 本使用するか、または 3.5 mm ステレオ コネクタ 1 本を使用して接続します。
 - **INPUT 5/6** - ステレオ Bluetooth® オーディオ接続。
5. **MIX OUT** - INPUT 1 ~ INPUT 5/6 のポストフェーダー音声信号が、ミックスされて MIX OUT に送信されます。INPUT 1 ~ INPUT 5/6 のレベル コントロールを調整すると、その音量変化が MIX OUT に反映されます。この機能により、本スピーカーは、MIX OUT ソケットを介して他のスピーカーにミックスを送信できるベーシックな 6 チャンネル ミキサーとしての役割を果たします。出力は、ミキサーモノラル、ステレオの左またはステレオの右の信号のいずれかをメニューで設定できます。さらに、PRE または POST 主音量および EQ も設定可能です。QuickSmart Link を使用している場合、MIX OUT はローカルのコラム システムと同じ信号を出力します。

6. **QuickSmart Link** - デジタル オーディオおよびシステム コントロール用に 2 台の EVOLVE G2 システムをリンクする Cat5 ケーブル用の RJ45 コネクタ。QuickSmart Link を使えば、両方のスピーカーを 1 台のミキサーとして制御できます。推奨される最大のケーブル長は 100 m です。

**注記!**

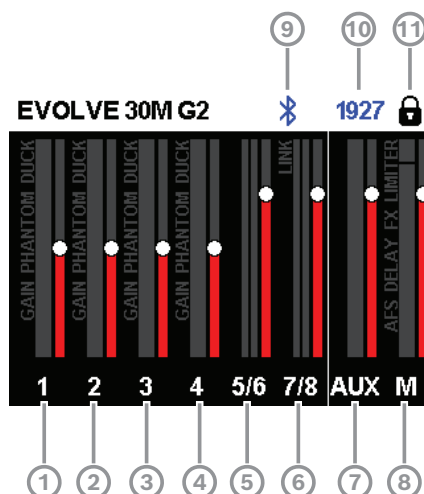
QuickSmart Link は 2 台の EVOLVE G2 システム接続にのみ使用されます。互換性およびサポートされている機能に関する情報については、「*QuickSmart Link の互換性*, ページ 92」を参照してください。

QuickSmart Link は Ethernet/LAN ポートを持っていないため、ネットワーク装置との互換性はありません。

7. **MAINS IN** - 装置の電源は、MAINS IN ソケットを通じて供給されます。付属の電源コード以外は使用しないでください。本機器は、100 ~ 240 V AC、50 ~ 60Hz を処理可能な主電源ネットワークにのみ接続してください。
8. **POWER** - スピーカー電源の **ON** と **OFF** を切り替えるスイッチ。電源を **ON** にすると、約 3 秒後に LCD 画面が点灯します。

8 システム ステータス インジケータ

8.1 EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2

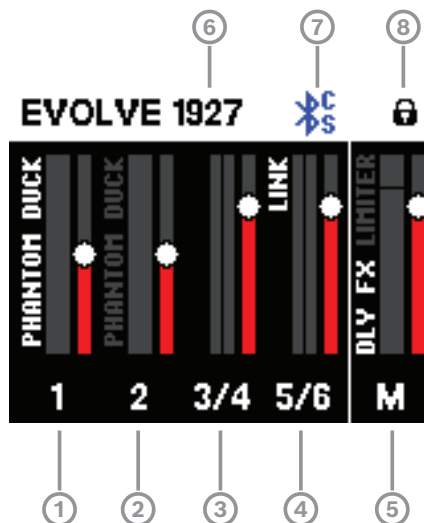


1. 1 - VU メーターは、INPUT 1 からアンプ INPUT 1 コネクタへの信号レベルを示します。
 - **GAIN** の表示は、マニュアル ゲインがオンになっていることを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48Vファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - 表示が **DUCK** の場合は、このチャンネルでダッカー機能が有効になっており、INPUT 1 信号が設定されたしきい値を超えた場合にすべてのステレオ入力信号を低減することを示します。
2. 2 - VU メーターは、INPUT 2 からアンプ INPUT 2 コネクタへの信号レベルを示します。
 - **GAIN** の表示は、マニュアル ゲインがオンになっていることを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48Vファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - 表示が **DUCK** の場合は、このチャンネルでダッカー機能が有効になっており、INPUT 2 信号が設定されたしきい値を超えた場合にすべてのステレオ入力信号を低減することを示します。
3. 3 - VU メーターは、INPUT 3 からアンプ INPUT 3 コネクタへの信号レベルを示します。
 - **GAIN** の表示は、マニュアル ゲインがオンになっていることを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48Vファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - **DUCK** の表示は、設定されたしきい値を INPUT 3 信号が上回ったときにすべてのステレオ入力信号を下げるダッキング機能がこのチャンネルで有効になっていたことを示します。
4. 4 - VU メーターは、INPUT 4 からアンプ INPUT 4 コネクタへの信号レベルを示します。
 - **GAIN** の表示は、マニュアル ゲインがオンになっていることを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48Vファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - **DUCK** の表示は、設定されたしきい値を INPUT 4 信号が上回ったときにすべてのステレオ入力信号を下げるダッキング機能がこのチャンネルで有効になっていたことを示します。
5. 5/6 - VU メーターは、INPUT 5/6 からアンプ INPUT 5/6 コネクタへの信号レベルを示します。
6. 7/8 - VU メーターは、入力 Bluetooth® オーディオ信号の信号レベルを表示します。
 - **LINK** の表示は、TWS (True Wireless Stereo) と別の TWS スピーカー (EVOLVE G2、EVOLVE 70/90、EVERSE 8/12、ZLX-G2 など) のオーディオ接続が有効であることを示します。
7. **AUX** - VU メーターは、AUX 信号の信号レベルを示します。
8. **M** - メインスピーカー出力の信号レベルが VU メーターに表示されます。
 - **AFS** の表示は、自動ハウリング抑制機能が有効になっていることを示します。
 - **DELAY** の表示は、このスピーカーにシステム遅延 (最大 100 メートル / 328.1 フィート) が設定されていることを示します。
 - **FX** の表示は、オーディオ エフェクトが有効になっていることを示します。
 - **LIMITER** の表示は、リミッターがアクティブであること、つまり出力音量が大きすぎることを示します。

9. Bluetooth® ステータス表示 - 交互に次を表示します。
 -  - Bluetooth® の状態。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 無効
点灯 - 有効
 -  - Bluetooth® コントロール アプリ。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 切断
点滅 - ペアリング モード
点灯 - 接続済み
 -  - Bluetooth® オーディオ ストリーミング。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 切断
点滅 - ペアリング モード (5 分間)
点灯 - 接続済み
10. Bluetooth® 経由でペアリングするスピーカーの 4 桁の ID。
11. ステータス表示 - 交互に次を表示します。
 - **1** - 選択されたプリセット番号を示します。ユーザー定義プリセット 5 種類および工場出荷時の初期設定プリセット 1 種類が利用可能です。
 - **1^E** - 編集済み。プリセットが保存されていないことを示します。プリセットが保存されると、E は表示されなくなります。
 -  - LCD ディスプレイとコントロールがロックされていることを示します。ロック解除するには、**MASTER VOLUME** つまみまたはチャンネル選択ソフトキーを押して、ロックを解除します。

8.2

EVOLVE 50 G2



1. **1** - VU メーターは、INPUT 1 からアンプ INPUT 1 コネクタへの信号レベルを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48V ファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - 表示が **DUCK** の場合は、このチャンネルでダッカー機能が有効になっており、INPUT 1 信号が設定されたしきい値を超えた場合にすべてのステレオ入力信号を低減することを示します。
2. **2** - VU メーターは、INPUT 2 からアンプ INPUT 2 コネクタへの信号レベルを示します。
 - 表示が **PHANTOM** の場合は、48V ファンタム電源がオンになっていることを示します。
 - 表示が **DUCK** の場合は、このチャンネルでダッカー機能が有効になっており、INPUT 2 信号が設定されたしきい値を超えた場合にすべてのステレオ入力信号を低減することを示します。
3. **3/4** - VU メーターは、INPUT 3/4 からアンプ INPUT 3/4 コネクタへの信号レベルを示します。

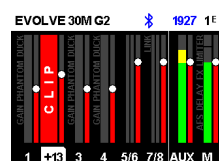
4. **5/6** - VU メーターは、入力 Bluetooth® オーディオ信号の信号レベルを表示します (左信号および右信号の最大値)。
 - **LINK** の表示は、TWS (True Wireless Stereo) と別の TWS スピーカー (EVOLVE G2、EVOLVE 70/90、EVERSE 8/12、ZLX-G2 など) のオーディオ接続が有効であることを示します。
5. **M** - メインスピーカー出力の信号レベルが VU メーターに表示されます。
 - **DLY** の表示は、このスピーカーにシステム遅延 (最大 100 メートル / 328.1 フィート) が設定されていることを示します。
 - **FX** の表示は、オーディオ エフェクトが有効になっていることを示します。
 - **LIMITER** の表示は、リミッターがアクティブであること、つまり出力音量が大きすぎることを示します。
6. Bluetooth® 経由でペアリングするスピーカーの 4 桁の ID。
7. Bluetooth® ステータス表示 - 交互に次を表示します。
 -  - Bluetooth® の状態。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 無効
点灯 - 有効
 -  - Bluetooth® コントロール アプリ。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 切断
点滅 - ペアリング モード
点灯 - 接続済み
 -  - Bluetooth® オーディオ ストリーミング。取り得る状態は次のとおりです:
消灯 - 切断
点滅 - ペアリング モード (5 分間)
点灯 - 接続済み
8. **ステータス表示** - 交互に次を表示します。
 - **1** - 選択されたプリセット番号を示します。ユーザー定義プリセット 5 種類および工場出荷時の初期設定プリセット 1 種類が利用可能です。
 - **1^E** - 編集済み。プリセットが保存されていないことを示します。プリセットが保存されると、**E** は表示されなくなります。
 -  - LCD ディスプレイとコントロールがロックされていることを示します。ロック解除するには、**MASTER VOLUME** つまみまたはチャンネル選択ソフトキーを押して、ロックを解除します。

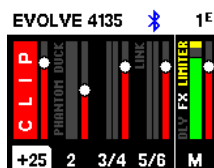
8.3 システム保護リミッタ

システム保護リミッタは、システムが推奨使用量を超えているときに次の表示でそのことを示します。

- **CLIP**
- **LIMITER**
- **AMP HOT!**

CLIP





CLIP は、音声ソース信号が最大入力レベルを超え、音声の歪みが発生していることを示します。その結果、音声出力が荒く、耳障りになり、機器が損傷する可能性があります。

もしCLIPが表示されている場合:

- ▶ INPUT GAIN および/または音声ソース信号をCLIP が表示されなくなるまで下げます。

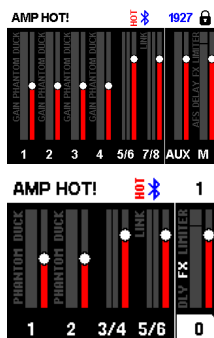
LIMITER

LIMITER は、歪みの原因となる短時間のピークや長時間の過負荷からスピーカーを保護します。画面に「LIMITER」と表示されている場合、リミッターが作動しています。

LIMITER インジケータが頻繁に、または継続的に表示される場合:

- ▶ 出力音量を下げます (MASTER VOLUME).強くお勧めします。

AMP HOT!



AMP HOT! は、アンプが過熱し、スピーカーが停止または停止するレベルに達したことを示します。

PK AMP HOT! が表示された場合:

- ▶ システムが直射日光の当たる場所や他の熱源の近くでないことを確認してください。
- ▶ システムの空気の流れが妨げられていないこと、および背面パネルが覆われていないことを確認してください。
- ▶ 可能であれば、システムの電源をオフにして、冷却するまで待ちます。

冷却後もまだシステムに AMP HOT! が表示される場合は、営業担当者またはカスタマー サービス担当者にお問い合わせください。

9 DSP コントロールメニュー

統合 DSP コントロール メニューでは、スピーカークの DSP システム設定を複数選択することができま
す。

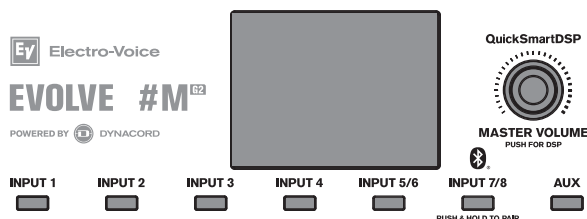


図 9.1: EVOLVE30M-G2、EVOLVE50M-G2

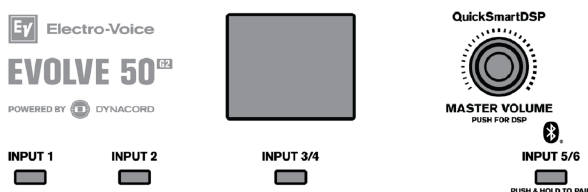


図 9.2: EVOLVE50-G2

DSP コントロールメニューへのアクセス

DSP コントロールメニューへのアクセス方法：

- **MAIN** メニュー - 入力選択ソフトキーが選択されていないことを確認します。
 - **AUX** メニュー - **AUX** の入力選択ソフトキーを押します。
1. **MASTER VOLUME** つまみを押します。
DSP コントロールメニューが表示されます。
 2. **MASTER VOLUME** つまみを回してメニュー項目をスクロールします。
 3. **MASTER VOLUME** つまみを押して、修正するメニュー項目を選択します。
フォーカスが DSP コントロールメニュー右側のパラメータに移動します。
 4. **MASTER VOLUME** つまみを使用して、パラメータをスクロールします。
 5. **MASTER VOLUME** つまみを押し、選択したパラメータを確定します。
設定が保存されます。フォーカスが DSP コントロールメニュー左側のメニュー項目に戻ります。
 6. その他の DSP およびシステム設定を変更するには、手順 2-5 を繰り返します。
 7. ホーム画面に戻るには、**EXIT** を選択します。

EVOLVE G2 のメニュー リスト完全版は、「*DSP コントロール メニュー一覧*, ページ 73」を参照してください。



注記!

非アクティブ状態が 30 秒間続くと、ディスプレイはホーム画面に戻ります。

9.1 メイン コントロール メニュー

9.1.1 MODE コントロール

MODE コントロールは、スピーカーが出すサウンドの種類を構成するために使用します。
この選択項目で利用可能なオプションは、**MUSIC**、**LIVE**、**SPEECH**、**CLUB** です。

MAIN	1
EXIT	
MODE:	MUSIC
SUB LEVEL:	0 dB
TREBLE:	0 dB
MID:	0 dB

- **MUSIC** – 録音された音楽の再生に使用します。
- **LIVE** – ライブ音声用途に使用します。
- **SPEECH** – スピーチ用途に使用します。
- **CLUB** – より低音のレスポンスが望ましい場合に、録音されたエレクトリックミュージックの再生に使用します。

デフォルトは **MUSIC** です。

9.1.2 SUB LEVEL コントロール

コントロール **SUB LEVEL** コントロールはサブウーファースの音量を調整するために使用されます。カラムはこの設定の影響を受けません。

デフォルトは **0 dB** です。

9.1.3 TREBLE/MID/BASS コントロール

TREBLE コントロール

TREBLE コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの高域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータはハイシェルピングのフィルタを制御します。

デフォルトは **0 dB** です。

MID コントロール

MID コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの中域周波数性能を調整するために使用します。

デフォルトは **0 dB** です。

BASS コントロール

BASS コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの低域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータはローシェルピングのフィルタを制御します。

デフォルトは **0 dB** です。

9.1.4 MAIN EQ メニュー

MAIN EQ メニュー

MAIN EQ メニューは、さまざまな用途や個人の好みに合わせてスピーカーの周波数特性を調整するために使用します。

次のオプションがあります。

- **GEQ** - 固定数の周波数帯域を使用するグラフィック イコライザ。
 - ▶ **GEQ** は、モニターでのライブ サウンド フィードバックなど、迅速かつ広範囲の補正が必要な場合に使用します。
- **PEQ** - 各フィルター バンドを完全にコントロールできるパラメトリック イコライザ。
 - ▶ **PEQ** は、ミキシング、ルーム チューニング、詳細なフィードバック除去など、正確な調整や特定周波数のカット/ブーストが必要な場合に使用します。

デフォルトは **GEQ** です。

MAIN EQ メニュー (GEQ 選択時)

MAIN EQ	1
6 kHz:	0 dB
12 kHz:	0 dB
RESET ALL	>
MODE:	GEQ
BACK	

GEQ は、以下の中心周波数を持つ 7 種類の EQ フィルターを提供します。

MAIN EQ	1
400 Hz:	0 dB
1 kHz:	0 dB
2.5 kHz:	0 dB
6 kHz:	0 dB
12 kHz:	0 dB

- 63 Hz
- 160 Hz
- 400 Hz
- 1.0 kHz
- 2.5 kHz
- 6.0 kHz
- 12 kHz。

各フィルターの範囲は -12 dB ~ +12 dB です。各フィルタのデフォルト値は 0 dB です。

ENABLE ALL は、すべてのフィルター バンドを ON または OFF にします。

RESET ALL は、すべてのフィルター バンドを 0 dB (フラット フィルター) に設定します。

MAIN EQ メニュー (PEQ 選択時)

MAIN EQ	1 ^F
GAIN:	0 dB
RESET	>
RESET ALL	>
MODE:	PEQ
BACK	

ENABLE ALL は、すべてのフィルター バンドを ON または OFF にします。

PEQ# は、設定を表示しコントロールするフィルター バンドを選択します。

FILTER ENABLE で、選択中のフィルター バンド (PEQ#) を ON または OFF に切り替えることができます。

TYPE

PEQ モードでは、さまざまなオーディオの問題に対応するための 5 種類のフィルター形状が提供されます。

- **PEQ** - ピーク/ディップ ベル型フィルターを使用してサウンドを調整します。フィルターには次の 3 つのコントロールがあります。
 - **Q** - 品質要素でフィルターの帯域幅を定義します。Q 値が低いほど帯域幅は広くなり、Q 値が高いほど帯域幅は狭くなります。
 - **FREQ** - EQ フィルターの中心周波数を選択します。
 - **GAIN** - イコライゼーション フィルターの増減量を設定します。
- **LOW/HIGH SHELF** - シェルビング フィルターを使用してサウンドを調整します。フィルターには次の 2 つのコントロールがあり、低周波数応答または高周波数応答に適用できます。
 - **FREQ** - フィルターの中心周波数を設定します。**LOW SHELF** フィルターの場合、選択した周波数より上の帯域でフィルターの **GAIN** が徐々に減少します。**HIGH SHELF** フィルターの場合、選択した周波数より下の帯域でフィルターの **GAIN** が徐々に減少します。
 - **GAIN** - **FREQ** の設定値より下または上の帯域の信号の増減量を設定します。
- **LOW/HIGH PASS** - 選択した周波数より上または下の帯域の信号のみを通過させて、サウンドを調整するパス バンド フィルター。以下の 1 つのコントロールを使用できます。

- **FREQ** - パス バンド フィルターのコーナー周波数を設定します。**HIGH PASS** フィルターの場合、選択値を超えるすべての周波数が通されます。設定値を下回る周波数は徐々に減少します。**LOW PASS** フィルターの場合、選択値を下回るすべての周波数が通されます。選択値を超える周波数は徐々に減少します。

RESET は、現在のフィルター バンドをデフォルト設定 (フラット フィルター) に戻します。

RESET ALL は、EQ フィルターを工場出荷時の設定にリセットします。

9.1.5

DELAY コントロール

DELAY は、MIX OUT 信号および AUX OUT 信号に影響を与えることなく、スピーカー システムを通る信号を遅延させます。これは、ステージから離れた場所に設置されるディレイ ライン システムなどに使用する場合に有効です。

デフォルトは **OFF** です。

遅延時間は、以下の 3 つの単位で設定できます。

- **METER**
- **FEET**
- **MILLISECONDS**

9.1.6

FX コントロール

FX コントロールには、30 種類のオーディオ エフェクトが用意されています。デフォルトは **01** です。

利用可能なオーディオ エフェクトの一覧については、「*EVOLVE 50 G2 の FX エフェクト*, ページ 91」を参照してください。

FX コントロールは **EVOLVE 50 G2** でのみ使用可能です。

FX1 および FX2 コントロール

FX1 および **FX2** コントロールには、38 種類のオーディオ エフェクトが用意されています。デフォルトは **01** です。

利用可能なオーディオ エフェクトの一覧については、「*EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 の FX1 と FX2*, ページ 90」を参照してください。

FX1 および **FX2** コントロールは、**EVOLVE 30M G2** と **EVOLVE 50M G2** で利用可能です。

FX ENABLE コントロール

FX ENABLE は、内部オーディオ エフェクト を **ON** または **OFF** に切り替えます。**EVOLVE 30M G2** と **EVOLVE 50M G2** では、この設定で両方のエフェクトが同じように切り替わります。

フットスイッチが接続されていて、この設定が **OFF** である場合、フットスイッチが優先されるため、LCD の **FX ENABLE** 設定を変更することはできません。

デフォルトは **ON** です。

9.1.7

AFS コントロール



注記!

AFS は **EVOLVE 30M G2** と **EVOLVE 50M G2** で利用可能です。**AFS** は、**EVOLVE 50 G2** では利用できません。

AFS (自動ハウリング抑制機能) は、マイクやピックアップ搭載楽器を使用する際に発生する不要なハウリング周波数を低減します。ハウリングは、ラウドスピーカーからの音がマイクまたはピックアップに入り、その音が増幅されて再びラウドスピーカーから再生されることで発生します。高レベル、または長時間のハウリングは、聴覚や機器に損傷を与えるおそれがあります。

このフィルターでは、**OFF**、**ON** のいずれかを選択できます。

9.1.7.1

ハウリングの低減

ハウリングを減らす方法：

1. パフォーマンスに応じて、スピーカー、マイク、楽器を設定します。適切なマイクの配置と使用方法に従ってください。
 - マイクをスピーカーの真正面に置かないでください。マイクのピックアップとリジェクションのパターンについては、マイクのユーザーマニュアルを参照してください。
 - 譜面台、タブレット、またはその他の大きな平面物体をマイクの近くに置かないでください。マイクに音声は反射する可能性があります。
 - 話や歌、楽器の演奏などにマイクを使用する場合は、適切なマイク技術で集音し、過度の入力ゲインを避けてください。たとえば、演奏するときはマイクを口の近くで持ってください。
 - 用途に応じて適切な入力チャンネルの **PRESET (LOW CUT 80 Hz、LOW CUT 120 Hz、VOCAL MIC、VOICE FILTER、SPEECH、ACOUSTIC GUITAR など)** を使用してください。
 - 話したり歌ったりしている間は、マイク素子を手で覆わないでください。マイクメーカーの推奨事項に従い、マイクのハンドルまたはボディ部分を握ってください。
2. AFS を有効にするには、DSP コントロール メニューまたは QuickSmart アプリの FX セクションを使用します。
3. スピーカーの出力をゆっくりと上げて、マイクや楽器のサウンドチェックを開始します。
4. ハウリングが聞こえる場合、AFS が検出して低減するまで数秒待ちます。
5. ハウリングが起こらなくなるまでサウンドチェックを続けます。

9.1.8

SPEAKER OUT コントロール

SPEAKER OUT は、スピーカーから出力する信号および MIX OUT から出力する信号を選択するために使用します。

- **L + R** - すべての入力の左右の信号が合計されます。この合成信号は MIX OUT で出力され、スピーカーから音が出ます (デフォルト)。
- **L** - すべての入力の左パンニングされた信号がスピーカーから出力されます。右信号は MIX OUT から出力されます。
- **R** - すべての入力の右パンニングされた信号がスピーカーから出力されます。左信号は MIX OUT から出力されます。

9.1.9

MIX OUT コントロール

MIX OUT コントロールは、MIX OUT から出力する信号およびスピーカーから出力する信号を選択するために使用します。

- **L+R** - 全入力の左右の信号が合成されます。この合成信号は MIX OUT で出力され、スピーカーから音が出ます (デフォルト)。
- **L** - すべての入力のうち、パンニングされた左信号のみが MIX OUT から出力されます。スピーカーからは、右信号のみが出力されます。
- **R** - すべての入力のうち、パンニングされた右信号のみが MIX OUT から出力されます。スピーカーからは、左信号のみが出力されます。



注記!

QuickSmart Link が接続されている場合、**MIX OUT** と **SPEAKER OUT** は、QuickSmart Link のルーティング設定に応じて各ユニットから同じ信号を出力します (L、R、または L+R)。

MIX OUT SETUP メニュー



注記!

MIX OUT SETUP は、EVOLVE 50 G2 で利用可能です。MIX OUT SETUP は、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 では利用できません。

MIX OUT SETUP は、ルートおよび MIX OUT のレベルを設定します。

ROUTE コントロール

利用可能なオプションは次のとおりです。

- PRE EQ - MAIN EQ 設定なしで MAIN MIX 信号を出力します。主音量には依存しません。
- PRE FADER - MAIN EQ 設定ありで MAIN MIX 信号を出力します。主音量には依存しません。
- POST FADER - MAIN EQ 設定ありで MAIN MIX 信号を出力します。主音量に依存します。

デフォルトは PRE FADER です。

LEVEL コントロール

LEVEL は、MIX OUT 信号の音量を調整するために使用します。

デフォルトは 0 dB です。

MIX OUT ROUTING コントロール



注記!

MIX OUT ROUTING は、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 で利用可能です。MIX OUT ROUTING は、EVOLVE 50 G2 では利用できません。

利用可能なオプションは次のとおりです。

- PRE EQ - MAIN EQ 設定なしで MAIN MIX 信号を出力します。主音量には依存しません。
- PRE FADER - MAIN EQ 設定ありで MAIN MIX 信号を出力します。主音量には依存しません。
- POST FADER - MAIN EQ 設定ありで MAIN MIX 信号を出力します。主音量に依存します。

デフォルトは PRE FADER です。

MIX OUT LEVEL コントロール



注記!

MIX OUT LEVEL は、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 で利用可能です。MIX OUT LEVEL は、EVOLVE 50 G2 では利用できません。

MIX OUT LEVEL は、MIX OUT 信号の音量を調整するために使用します。

デフォルトは 0 dB です。

9.1.10

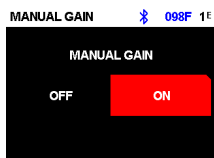
MANUAL GAIN コントロール



注記!

MANUAL GAIN は、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 で利用可能です。MANUAL GAIN は、EVOLVE 50 G2 では利用できません。

MANUAL GAIN は、MIC/LINE 入力 1 ~ 4 のレベルとゲインの関係を設定します。利用可能なオプションは以下のとおりです。



- OFF
- ON

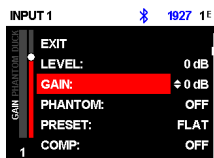
MANUAL GAIN を **OFF** にすると、レベルおよびゲインは 1 つのコントロールで同時に調整されます。レベルを設定すると、ゲインにも影響が及びます。音量を調整している間、デバイスによりバックグラウンドでゲインの関係が管理されます。

MANUAL GAIN が **OFF** の場合、レベル コントロールの範囲は -80 dB から +42 dB までです。



MANUAL GAIN を **ON** にすると、レベルとゲインは別々に調整されます。

MANUAL GAIN が **ON** の場合、レベル コントロールの範囲は -80 dB から +10 dB まで、ゲイン コントロールの範囲は -10 dB から +42 dB までです。



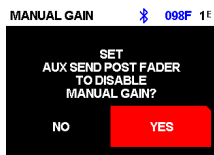
MANUAL GAIN 設定の変更は、AUX 信号経路にも影響します。

MANUAL GAIN	AUX SEND
オフ	POST FADER
ON	POST FADER または PRE FADER

MANUAL GAIN が **OFF** の状態で **AUX SEND PRE FADER** を設定しようとする、**MANUAL GAIN** を有効化するように求められます。



AUX SEND が **PRE FADER** に設定されている状態で **MANUAL GAIN** を無効化しようとする、**AUX SEND** を **POST FADER** に設定するように求められます。



AUX SEND の詳細については、「AUX コントロールメニュー, ページ 46」を参照してください。

9.1.11

BLUETOOTH メニュー

BLUETOOTH メニューは、スピーカーの Bluetooth® 機能を設定するために使用します。

ON/OFF - **ON/OFF** メニューは、スピーカーの Bluetooth® 機能を有効/無効にするかを制御します。



ID - ID は、4 桁の固有のデバイス番号を示します。これは、他の Bluetooth® 対応機器で本スピーカーを識別するための番号です。

CONTROL PAIR - **CONTROL PAIR** メニューは、QuickSmart アプリのワイヤレス コントロールとモニタリング アプリケーションを有効にするために使用します。この選択項目で利用可能なオプションは、**CONTROL PAIR** および **CONTROL PAIRING** です。

デフォルトは **CONTROL PAIR** です。

AUDIO PAIR - **AUDIO PAIR** メニューは、Bluetooth® 対応デバイスからオーディオを本スピーカー システムにストリーミングするために使用します。この選択項目で利用可能なオプションは、

AUDIO PAIR および **AUDIO PAIRING** です。

デフォルトは **AUDIO PAIR** です。

9.1.12

LINK SPEAKERS 機能

LINK SPEAKERS を使用すると、2 台の EVOLVE G2 スピーカーを Bluetooth® 経由でリンクして、Bluetooth® オーディオ ストリーミングだけの True Wireless Stereo を実現できます。

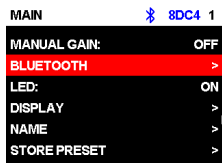
Bluetooth® 経由の True Wireless Stereo セットアップを使用する場合、XLR ケーブルや QuickSmart Link などの他のタイプのステレオ接続は必要ありません。

9.1.12.1

スピーカーのリンク

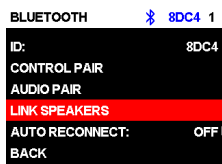
TWS で 2 台の EVOLVE G2 スピーカーをリンクする方法には、次の手順に従います。

- ▶ どちらか一方の EVOLVE G2 スピーカーを Bluetooth® 経由でモバイルデバイスに接続します。
[Bluetooth® オーディオのペアリング, ページ 19] を参照してください。
- ▶ 両方の EVOLVE G2 スピーカーで、メイン DSP メニューの **BLUETOOTH** メニューに移動します。

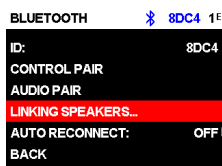


注記!

MAIN DSP コントロール メニューにアクセスするには、入力選択ソフトキーが選択されていないことを確認し、**MASTER VOLUME** つまみを押します。



- ▶ 両方の EVOLVE G2 スピーカーで **LINK SPEAKERS** を選択します。



- ⇒ 2 台の EVOLVE G2 スピーカー間で接続を確立している間は、LCD ディスプレイに「**LINKING SPEAKERS...** (スピーカーの接続中...)」と表示されます。接続が確立されると、メニューに「**UNLINK SPEAKERS (スピーカーの接続解除)**」と表示されます。
- ⇒ **UNLINK SPEAKERS** の下にある **BLUETOOTH** メニューの中に、**LINK ROUTE** ステレオチャンネル選択が表示されます。



- ▶ EVOLVE G2 スピーカーごとに、L+R (モノラル)、L、または R から適切な LINK ROUTE ステレオチャンネル選択を選択します。



注記!

Bluetooth True Wireless Stereo (TWS) を使用すると、モバイルデバイスは音声信号を 2 つのスピーカーシステムにストリーミングできます。この機能では、ある EVOLVE G2 の入力信号やミックスを別の EVOLVE G2 システムに送信することはできません。

Bluetooth® 経由の True Wireless Stereo (TWS) セットアップの詳細については、「Bluetooth True Wireless Stereo (TWS) , ページ 56」を参照してください。

9.1.13

AUTO RECONNECT 機能

AUTO RECONNECT を使用すると、以前にペアリングしたことがあるオーディオストリーミングデバイスと EVOLVE G2 を自動的に接続できます。両方ともオンになっており、Bluetooth が有効になっています。次のいずれかを選択できます: ON または OFF.

注: EVOLVE 50 G2 では、この機能の名前は RECONNECT で、利用可能なオプションは AUTO および OFF です。

デフォルトは OFF です。

9.1.14

LED コントロール

LED コントロールは電源オン状態とリミットを示します。この選択項目で利用可能なオプションは、ON、OFF、LIMITER です。

- ON - スピーカーの電源が ON の場合に LED をオンにします。
- OFF - LED をオフにします。
- LIMITER - 通常動作時に LED をオフにします。短い間隔で点滅する LED は、リミッタがアクティブであることを示します。短い期間の点滅は、内蔵リミッタによって歪みが制御されていることを意味するため、重大ではありません。LED が継続的に点滅している場合、サウンドが悪影響を受けていることを示します。LED が継続的に点滅している場合は、背面 LCD で詳細を確認してください。出力ボリュームを下げることを強くお勧めします。

デフォルトは ON です。

9.1.15

DISPLAY メニュー

PIN LOCK コントロール

PIN LOCK コントロールは、DSP コントロールメニューをロックします。この選択項目で利用可能なオプションは、OFF、TUNE、ALL です。

- OFF - PIN LOCK をオフにします。
- TUNE - INPUT コントロール パラメータをロックし、DSP コントロールメニューはロックしません。
- ALL - スピーカーのすべての機能をロックします。

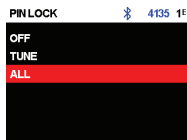
デフォルトは OFF です。

9.1.15.1

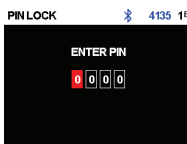
DSP コントロール メニューのロック

DSP コントロールメニューのロック方法：

1. **TUNE** または **ALL** を選択します。



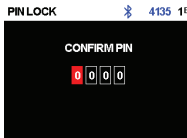
2. PIN コードを入力します。



3. 確認のために PIN コードを再入力します。

PIN コードが一致しないと、**PIN LOCK** が **OFF** に設定されます。

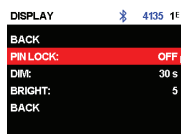
4. スピーカーをロックするには、**DISPLAY** メニューから **LOCK NOW** を選択します。



スピーカーの電源を入れ直すと、**PIN LOCK** が自動的に作動します。

PIN LOCK を無効にする方法：

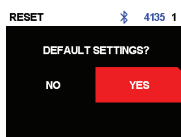
1. まだ行っていない場合は、PIN コードを入力して装置のロックを解除します。
2. 入力選択ソフトキーの選択を解除します。
3. **MASTER VOLUME** つまみを押します。
4. **MASTER VOLUME** つまみを使用して、**DISPLAY** までスクロールします。
5. **PIN LOCK** を選択します。
6. **OFF** を選択します。



PIN コードを忘れた場合は、スピーカーをデフォルト設定にリセットしてください。

スピーカーをデフォルト設定にリセットする方法：

- ▶ ソフトキー **INPUT 2** および **MASTER VOLUME** つまみを 15 秒間以上長押しします。
コントロール **DEFAULT SETTINGS?** メッセージが表示されます。
- ▶ 選択 **YES**.
コントロール **ERASE USER PRESET...** メッセージが表示されます。



- ▶ 選択 **NO**.

9.1.16

DIM コントロール

DIM コントロールは、設定時間にわたりディスプレイで操作がなかった場合にディスプレイを暗くするために使用します。次のいずれかを選択できます：**OFF**、**10 ~ 60 秒**。

デフォルトは **30 秒**です。

9.1.17

BRIGHT コントロール

BRIGHT は、LCD の明るさを決定するために使用します。

範囲は **1 (最も暗い)** から **10 (最も明るい)** です。

デフォルトは 5 です。

9.1.18 NAME コマンド

NAME は、スピーカーに名前を割り当てるために使用します。

9.1.18.1 スピーカーの名前の設定

スピーカーに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. **NAME** を選択します。
ENTER SPEAKER NAME 画面が表示されます。
2. **MASTER VOLUME** つまみを回して、目的の名前を入力します。
最大で 18 文字の名前を付けられます。
3. **MASTER VOLUME** つまみを使用して、**SAVE** を選択します。

9.1.19 STORE PRESET コマンド



STORE PRESET を使用すると、最大 5 つのカスタム ユーザー設定を作成できます。この選択項目で利用可能なオプションは、**BACK**、**1**、**2**、**3**、**4**、**5** です。



注記!

カスタムユーザー設定名には、英数字の組み合わせ（スペースを含む）を使用できます。英数字の範囲は、A ~ Z および 0 ~ 9 です。

名前フィールドの長さは 12 文字です。

9.1.19.1 カスタムユーザー設定の保存

カスタムユーザー設定の保存方法：

- ▶ DSP コントロール メニューから、**STORE PRESET** までスクロールします。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを押して **STORE PRESET** を選択します。
STORE 画面が表示されます。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを押して、**1** を選択します。
ENTER NAME FOR PRESET 1 画面が表示されます。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを使用して文字をスクロールします。
文字が表示されます。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみ を押して必要な文字を選択します。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを回し、次の文字入力部分まで移動します。
必要な名前が入力されるまで、文字の選択を続けます。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを使用して **SAVE** までスクロールします。
- ▶ **MASTER VOLUME** つまみを押して、**SAVE** を選択します。
- ▶ その他のカスタムユーザー設定を保存するには、手順 3 - 8 を繰り返します。
- ▶ ホーム画面に戻るには、**EXIT** を選択します。
保存したプリセットは **RECALL PRESET** メニューに表示されます。

9.1.20

RECALL PRESET コマンド



RECALL PRESET を使用すると、最大 5 つのカスタム ユーザー設定を呼び出すことができます。この選択項目で利用可能なオプションは、BACK、1、2、3、4、5 です。加えて、6 のオプションでデフォルト設定に戻すことができます。この設定はユーザー設定の保存には使用できません。

9.1.20.1

カスタムユーザー設定の取り消し

カスタムユーザー設定の取り消し方法：

- ▶ DSP コントロール メニューから、RECALL PRESET までスクロールします。
- ▶ MASTER VOLUME つまみを押して、RECALL PRESET を選択します。
RECALL 画面が表示されます。
- 1. MASTER VOLUME つまみを押して、目的のプリセットを選択します。
- 2. YES を選択して、プリセットを読み込みます。
選択した項目がロードされます。
- ▶ プリセットが読み込まれると、メニューはホーム画面に戻ります。

9.1.21

RESET コマンド

RESET は、本スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、NO または YES です。

9.1.21.1

システムをリセットする

システムを工場出荷時設定にリセットする方法：

- ▶ DSP コントロールメニューから、RESET を選択します。
「DEFAULT SETTINGS? (デフォルト設定にしますか) 」というメッセージが表示されます。



- ▶ YES を選択します。
「ERASE USER PRESETS? (ユーザープリセットを消去しますか) 」というメッセージが表示されます。
- ▶ YES を選択します。
リセットが完了すると、メニューがホーム画面に戻ります。

9.1.22

IMPRINT & LICENSE および INFO

IMPRINT & LICENSE メニュー項目

IMPRINT & LICENSE には、追加の規制および国固有の認証情報、ならびにオープンソース ソフトウェアのライセンス テキストが含まれています。

INFO メニュー項目



INFO は、モデル、ファームウェア バージョン、Bluetooth® バージョン、および著作権を表示するために使用します。

9.2 Input DSP コントロール メニュー

EVOLVE G2 パワードスピーカーでは、以下の INPUT DSP コントロールメニュー選択を使用できます。

EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のメニュー リスト完全版は、「*EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2*, ページ 79」を参照してください。

EVOLVE 50 G2 のメニュー リスト完全版は、「*EVOLVE 50 G2*, ページ 84」を参照してください。

ミキサーチャンネルの制御方法：

1. 入力選択ソフトキーを押して、入力チャンネルを選択します。
チャンネルが選択されると、ソフトキーが点灯します。
2. **MASTER VOLUME** つまみを使用してレベルを調整します。
3. **MASTER VOLUME** つまみを押して、入力チャンネルの DSP コントロールメニューに入ります。
4. 入力選択ソフトキーをもう一度押すと、制御する入力チャンネルの選択が解除されます。
選択が解除されると、ソフトキーは点灯しなくなります。

INPUT コントロールの調整

INPUT LEVEL と EQ を調整するときは注意が必要です。サウンド全体でベストな結果を生み出すには、通常は小さな変更だけで十分です。

入力音声を調整する方法：

- すべての EQ コントロールを **0 dB** または **FLAT** に設定します。
- EQ コントロールでは、極端な設定は避けてください。
- 自然再生を出発点とし、
- 音楽的感覚を頼りに調整を行います。

9.2.1 LEVEL コントロール

LEVEL は、入力信号の感度をミキサー内部で処理可能なレベルに調整します。

良好な信号入力レベルを実現する方法：

1. ノブを使用して、音量を **MUTE** に **MASTER VOLUME** 設定します。
2. 入力選択ソフトキーを押して、**MASTER VOLUME** つまみを使って **INPUT LEVEL** を **MUTE** に設定します。
3. 音源（マイク、楽器など）を選択した入力に接続します。
4. 予想される最大音量レベルで音源の再生を開始します。マイクに向かってダイレクト（クローズアップ）に、できるだけ大きな声で歌ったり話したりします。
5. 音源の再生中またはマイクでの歌唱中に、以下のように調整します。
 - **LEVEL** を上げるため、入力選択ソフトキーを使用して入力チャンネルを選択し、**MASTER VOLUME** つまみを使用して、最も音量が大きいパートでも **PK** が表示されないようにします。VU メーターを参考に、適切なレベルを設定します。入力選択ソフトキーをもう一度押して、入力チャンネルの選択を解除します。

- スピーカーから必要な出力が得られるまで、**MASTER VOLUME** を高めます。以上が基本的なチャンネル設定の方法です。

チャンネルの EQ 設定をさらに調整する必要がある場合は、これらの手順を再度実行します。サウンド形成セクションに変更を加えるとチャンネル全体のレベルに影響が及びます。

9.2.2

GAIN コントロール

GAIN は入力感度とヘッドルームを設定します。

GAIN レベルを設定するには、**MANUAL GAIN** を **ON** にする必要があります。**MANUAL GAIN** が **OFF** の場合、**GAIN** は入力コントロール メニューに表示されません。

GAIN は -10 dB から +42 dB までの範囲で調整できます。

デフォルトは 0 dB です。

9.2.3

PHANTOM コントロール

+48V DC ファンタム電源は、専用入力の XLR コネクタでのみ使用できます。

ポータブル コラム スピーカー	入力コネクタ
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 1-INPUT 4
EVOLVE 50 G2	INPUT 1 および INPUT 2

表 9.1: ファンタム電源に対応している入力コネクタ

ファンタム電源は、DI ボックスやコンデンサマイク（非エレクトレット）などの特定のデバイスに給電するために使用できます。使用前に、装置のユーザーマニュアルを参照してください。TRS コネクタにファンタム電源はありません。ファンタム電源は切り替え可能です。



注記!

ダイナミック マイクやミキサー出力など、ファンタム電源を必要としないソースについては、ファンタム電源をオフにします (デフォルト)。ファンタム電源が既に有効になっている場合は、マイクを接続する際に入力チャンネルをミュートして、大きな破裂音が発生しないようにしてください。



注記!

ファンタム電源が有効になっている場合、モバイル デバイスをファンタム電源入力コネクタに接続しないでください。

ファンタム電源は、INPUT LINK が OFF の場合にのみ使用可能です。

9.2.4

PRESET コントロール

PRESET は、入力タイプごとの音量調整の出発点として EQ とコンプレッサの設定を調整します。

ポータブル コラム スピーカー	入力
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 1-INPUT 4
EVOLVE 50 G2	INPUT 1 および INPUT 2

表 9.2: PRESET コントロールに対応している入力

PRESET は INPUT LINK が OFF の場合にのみ使用可能です。

プリセットの一覧については、「EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2, ページ 79」および「EVOLVE 50 G2, ページ 84」を参照してください。

9.2.5

COMP コントロール

COMP (コンプレッサ) は、オンボード コンプレッサを制御して、動作中の入力信号の処理方法を調整します。

ポータブル コラム スピーカー	入力
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 1-INPUT 4
EVOLVE 50 G2	INPUT 1 および INPUT 2

表 9.3: COMP コントロールに対応している入力

▶ **COMP** コントロールを使用して、コンプレッサのしきい値と圧縮比を同時に調整します。

COMP コントロールを 0 から 100 に調整すると、次のようになります。

- しきい値未満のゲインが 0 dB から +6 dB に増加します。
- コンプレッション比が 1:1 から 8:1 に増加します。
- コンプレッサは、音声信号のダイナミックレンジをコンプレッサで設定した比率で縮小します。信号が特定のしきい値を超えると、信号は圧縮されます。入力レベルが大幅に変わっても、出力レベルはあまり変わりません。多くの場合、ダイナミックレンジを縮小することによって、音声信号の録音やミキシングが簡単にできるようになります。圧縮を低 ~ 中のレベル (25 ~ 40) から始め、必要に応じて少しずつ増やしていく方法が推奨されます。

COMP は、**INPUT LINK** が **OFF** の場合にのみ使用できます。

9.2.6

TREBLE/MID/BASS コントロール

入力チャンネルの EQ セクションでは、3 つの周波数帯で入力音声信号の多様な調整が可能です。

- **TREBLE** コントロール - シンバルやボーカルの高音を強調して、より透明感のあるサウンドを実現します。
- **MID** コントロール - このレベルを上げるとボーカル範囲の出力が高くなり、このレベルを下げると音響フィードバックを軽減できます。

INPUT 1	1
TREBLE:	0 dB
MID:	0 dB
BASS:	0 dB
PHASE INVERT:	OFF
FX:	OFF

- **BASS** コントロール - バスドラムの迫力を増したり、ボーカルに重厚感を加えたりすることができます。

9.2.7

PHASE INVERT コントロール

PHASE INVERT (位相反転または極性反転とも呼ばれる) は、音声信号の極性を 180° 反転させ、すべての正の波形値を負に、すべての負の値を正にします。

2 つのオーディオチャンネルのうち片方の位相を反転させることで、波形を揃え、音の打ち消しや減衰を防ぐことができます。

デフォルトは **OFF** です。

PHASE INVERT は、**INPUT LINK** が **OFF** の場合にのみ使用できます。

ポータブル コラム スピーカー	入力
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 1-INPUT 4
EVOLVE 50 G2	INPUT 1 および INPUT 2

表 9.4: PHASE INVERT に対応している入力

9.2.8 FX コントロール

FX1

FX1 は、FX1 エフェクト プロセッサーに送るチャンネルの信号の割合を指定します。
デフォルトは **OFF** です。

FX2

FX2 は、FX2 エフェクト プロセッサーに送るチャンネルの信号の割合を指定します。
デフォルトは **OFF** です。

9.2.9 AUX コントロール

AUX は、AUX 出力に送るチャンネルの信号の割合を指定します。
デフォルトは **OFF** です。

AUX は、AUX コントロール メニューで **AUX OUT ROUTING** が **AUX MIX** に設定されている場合にのみ使用できます。

9.2.10 PAN/BAL コントロール

PAN (モノラル入力) または **BAL** (ステレオ入力) は、ステレオセットアップでステレオ L またはステレオ R スピーカーから出てくる信号の量を調整します。**PAN**/モノラル (シングルスピーカー) セットアップでは、**BAL** は使用しません。

PAN は、**INPUT LINK** が **OFF** の場合にのみ使用できます。

9.2.11 DUCKER コントロール

ダッカーは、選択した MIC/LINE 入力で信号を検出したら、すべてのステレオ入力の信号レベルを下げます。

ポータブル コラム スピーカー	入力
EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2	INPUT 1-INPUT 4
EVOLVE 50 G2	INPUT 1 および INPUT 2

表 9.5: DUCKER 設定に対応している入力

選択した MIC/LINE 入力で信号が検出されない場合、ステレオ入力の信号レベルは以前に設定されたレベルに戻ります。

DUCKER は、バックグラウンドミュージックが流れている中で話するのに役立ちます。

- 選択した MIC 入力で信号を検出したら、ステレオ入力チャンネルの音楽は減少します。
- 選択した MIC 入力で信号が検出されなくなると、音楽は前のレベルに戻ります。

9.2.11.1 ダッカーの有効化

ダッキング機能の使用方法：

1. 専用の入力選択ソフトキーを押します。
2. ダッカー レベルを調節して、選択した入力チャンネルの検出しきい値を設定します。選択した入力で信号が検出されると、ステレオ入力の信号は 12 dB 減少します。通常の値は -10 dB から -20 dB です。

ダッカーの動作ロジック

- **DUCKER** 設定は、該当の入力チャンネルで選択された検出しきい値になります。
- 低減 (ダッキング) 後のチャンネルは、入力信号を 12 dB 減少したものになります。

	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	低減されるチャンネル
DUCKER 設定	-1 dB から -40 dB	OFF	OFF	OFF	入力 5 ~ 入力 8
	OFF	-1 dB から -40 dB	OFF	OFF	入力 5 ~ 入力 8
	OFF	OFF	-1 dB から -40 dB	OFF	入力 5 ~ 入力 8
	OFF	OFF	OFF	-1 dB から -40 dB	入力 5 ~ 入力 8
	-1 dB から -40 dB	-1 dB から -40 dB	-1 dB から -40 dB	-1 dB から -40 dB	入力 5 ~ 入力 8
	OFF	OFF	OFF	OFF	なし

表 9.6: EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 の DUCKER 設定

DUCKER は、INPUT LINK が OFF の場合にのみ使用できます。

**注記!**

入力がリンクされている場合、残りのリンクされていないチャンネルのいずれかで DUCKER 設定が有効になっていると、これらのチャンネルもダッキングされます。

	INPUT 1	INPUT 2	低減されるチャンネル
DUCKER 設定	-1 dB から -40 dB	OFF	入力 3 ~ 入力 6
	OFF	-1 dB から -40 dB	入力 3 ~ 入力 6
	-1 dB から -40 dB	-1 dB から -40 dB	入力 3 ~ 入力 6
	OFF	OFF	なし

表 9.7: EVOLVE 50 G2 の DUCKER 設定

9.2.12

INPUT LINK コントロール

INPUT LINK は、2 つのモノラル MIC/LINE 入力を 1 つのステレオ LINE ペアに結合します。パラメータの変更をすると、リンクした両方のチャンネルに同時に適用されます。

利用可能なオプションは次のとおりです。

- **OFF** - MIC/LINE 入力は相互に独立しています。
- **ON** - 2 つのモノラル MIC/LINE 入力が 1 つのステレオ ライン入力にリンクされます。INPUT DSP コントロール メニューがライン入力モードに切り替わります。「INPUT 5/6, ページ 82」を参照してください。

INPUT LINK は、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 の INPUT 1 と INPUT 3 でのみ使用できます。

INPUT LINK が有効な状態のブロック図については、「ブロック図, ページ 69」を参照してください。

9.2.13

NAME コマンド

NAME は、入力に名前を割り当てるために使用します。

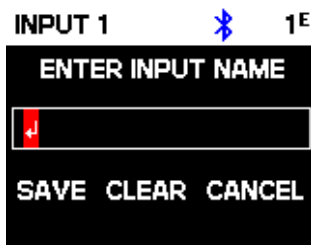
9.2.13.1

入力チャンネルの名前の設定

入力に名前を付けるには、次の手順に従います。

1. **NAME** を選択します。

ENTER INPUT NAME 画面が表示されます。



2. **MASTER VOLUME** つまみを回して、目的の名前を入力します。
最大で 12 文字の名前を付けられます。
3. **MASTER VOLUME** つまみを使用して、**SAVE** を選択します。

9.3

AUX コントロールメニュー

AUX コントロール メニューは、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のみで使用できます。

9.3.1

AUX LEVEL コントロール



AUX LEVEL は、AUX 信号の音量を調整するために使用します。

デフォルトは 0 dB です。

9.3.2

AUX EQ メニュー

AUX EQ は、AUX SEND で送信されるサウンドの周波数特性を調整するために使用します。

次のオプションがあります。

- **GEQ** - 固定数の周波数帯域を使用するグラフィック イコライザ。
 - ▶ **GEQ** は、モニターでのライブ サウンド フィードバックなど、迅速かつ広範囲の補正が必要な場合に使用します。
- **PEQ**。 - 各フィルター バンドを完全にコントロールできるパラメトリック イコライザ。
 - ▶ **PEQ** は、ミキシング、ルーム チューニング、詳細なフィードバック除去など、正確な調整や特定周波数のカット/ブーストが必要な場合に使用します。

デフォルトは **GEQ** です。

GEQ はグラフィック イコライザで、固定数の周波数帯域を使用します。**GEQ** は、モニターでのライブ サウンド フィードバックなど、迅速かつ広範囲の補正が必要な場合に使用します。

PEQ はパラメトリック イコライザで、各フィルター バンドを完全に制御できます。**PEQ** は、ミキシング、ルーム チューニング、詳細なフィードバック除去など、正確な調整や特定周波数のカット/ブーストが必要な場合に使用します。

AUX EQ メニュー (GEQ 選択時)

GEQ は、以下の中心周波数を持つ 7 種類の EQ フィルターを提供します。

- 63 Hz
- 160 Hz
- 400 Hz
- 1.0 kHz
- 2.5 kHz

- 6.0 kHz
- 12 kHz。

各フィルターの範囲は -12 dB ~ +12 dB です。各フィルターのデフォルト値は 0 dB です。

ENABLE ALL は、すべてのフィルター バンドを **ON** または **OFF** にします。

RESET ALL は、すべてのフィルター バンドを 0 dB (フラット フィルター) に設定します。

AUX EQ メニュー (PEQ 選択時)

ENABLE ALL は、すべてのフィルター バンドを **ON** または **OFF** にします。

PEQ# は、設定を表示しコントロールするフィルター バンドを選択します。

FILTER ENABLE で、選択中のフィルター バンド (PEQ#) を **ON** または **OFF** に切り替えることができます。

TYPE

PEQ モードでは、さまざまなオーディオの問題に対応するための 5 種類のフィルター形状が提供されます。

- **PEQ** - ピーク/ディップ ベル型フィルターを使用してサウンドを調整します。フィルターには次の 3 つのコントロールがあります。
 - **Q** - 品質要素でフィルターの帯域幅を定義します。Q 値が低いほど帯域幅は広くなり、Q 値が高いほど帯域幅は狭くなります。
 - **FREQ** - EQ フィルターの中心周波数を選択します。
 - **GAIN** - イコライゼーション フィルターの増減量を設定します。
- **LOW/HIGH SHELF** - シェルビング フィルターを使用してサウンドを調整します。フィルターには次の 2 つのコントロールがあり、低周波数応答または高周波数応答に適用できます。
 - **FREQ** - フィルターの中心周波数を設定します。**LOW SHELF** フィルターの場合、選択した周波数より上の帯域でフィルターの **GAIN** が徐々に減少します。**HIGH SHELF** フィルターの場合、選択した周波数より下の帯域でフィルターの **GAIN** が徐々に減少します。
 - **GAIN** - **FREQ** の設定値より下または上の帯域の信号の増減量を設定します。
- **LOW/HIGH PASS** - 選択した周波数より上または下の帯域の信号のみを通過させて、サウンドを調整するパス バンド フィルター。以下の 1 つのコントロールを使用できます。
 - **FREQ** - パス バンド フィルターのコーナー周波数を設定します。**HIGH PASS** フィルターの場合、選択値を超えるすべての周波数が通されます。設定値を下回る周波数は徐々に減少します。**LOW PASS** フィルターの場合、選択値を下回るすべての周波数が通されます。選択値を超える周波数は徐々に減少します。

RESET は、現在のフィルター バンドをデフォルト設定 (フラット フィルター) に戻します。

RESET ALL は、すべてのフィルター バンドを 0 dB (フラット フィルター) に設定します。

9.3.3

AUX OUT ROUTING コントロール

AUX OUT ROUTING は、ミキサーの物理的な AUX OUT ジャックに送信する信号のソースを設定します。

利用可能なオプションは次のとおりです。

- **AUX MIX** - AUX OUT ジャックは、個別のカスタム ミックスを提供します。
- **MAIN MIX** - AUX OUT ジャックは、メインのステレオ ミックスをモノラル ミックスとしてミラーリングします。

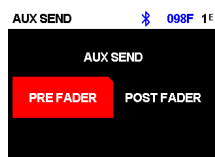
デフォルトは AUX MIX です。

9.3.4

AUX SEND コントロール

AUX SEND は、モニター、エフェクト、または代替ミックス用の補助バスにカスタマイズ設定した量のオーディオをルーティングします。

利用可能なオプションは次のとおりです。



- **PRE FADER** - INPUT フェーダー前 (音量調整前) の AUX MIX 信号を出力します。そのため、INPUT LEVEL を調整しても AUX 出力は変化せず、AUX レベルはメイン ミックスに依存しません。
- **POST FADER** - INPUT フェーダー後 (音量調整後) の AUX MIX 信号を出力します。AUX 出力は INPUT LEVEL に追従するため、メイン ミックスの入力レベルの変化が AUX MIX に反映されます。

AUX SEND は、**AUX OUT ROUTING** が **AUX MIX** に設定されている場合にのみ使用できます。

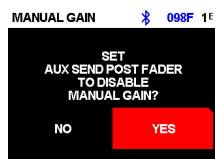
AUX 信号経路は **MANUAL GAIN** の影響を受けます。

MANUAL GAIN	AUX SEND
オフ	POST FADER
ON	POST FADER または PRE FADER

MANUAL GAIN が OFF の状態で **AUX SEND PRE FADER** を設定しようとする、**MANUAL GAIN** を有効化するように求められます。



AUX SEND が **PRE FADER** に設定されている状態で **MANUAL GAIN** を無効化しようとする、**AUX SEND** を **POST FADER** に設定するよう求められます。



9.3.5

FX TO AUX コントロール

FX1 TO AUX コントロール

FX1 TO AUX は、FX1 エフェクト プロセッサの出力を AUX ミックスに追加します。加えるエフェクトの量は、-80dB から +10dB の範囲で調整できます。

デフォルトは **OFF** です。

FX1 TO AUX は、**AUX OUT ROUTING** が **AUX MIX** に設定されている場合にのみ使用できます。

FX2 TO AUX コントロール

FX2 TO AUX は、FX2 エフェクト プロセッサの出力を AUX ミックスに追加します。加えるエフェクトの量は、-80dB から +10dB の範囲で調整できます。

デフォルトは **OFF** です。

FX2 TO AUX は、**AUX OUT ROUTING** が **AUX MIX** に設定されている場合にのみ使用できます。

10

推奨構成

10.1

XLR ケーブルを使用したステレオ ペアリング

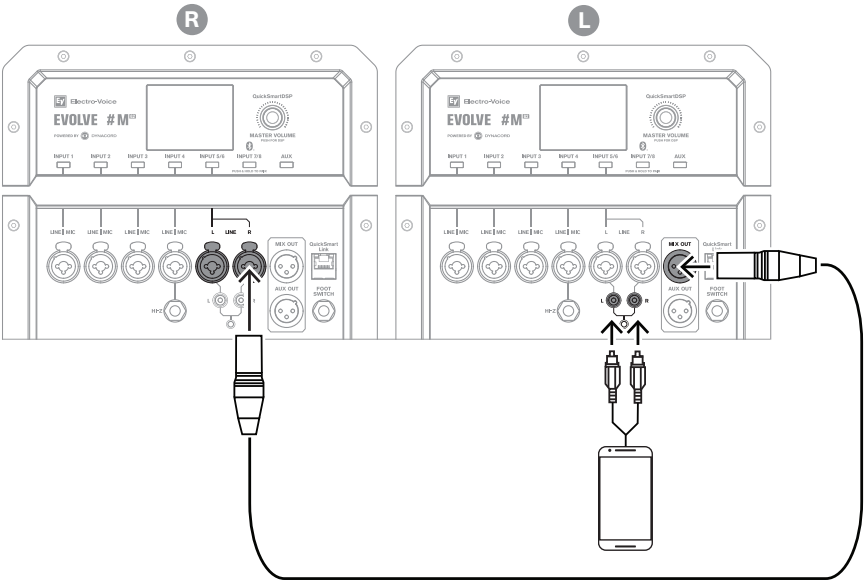


図 10.1: ステレオ構成の EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

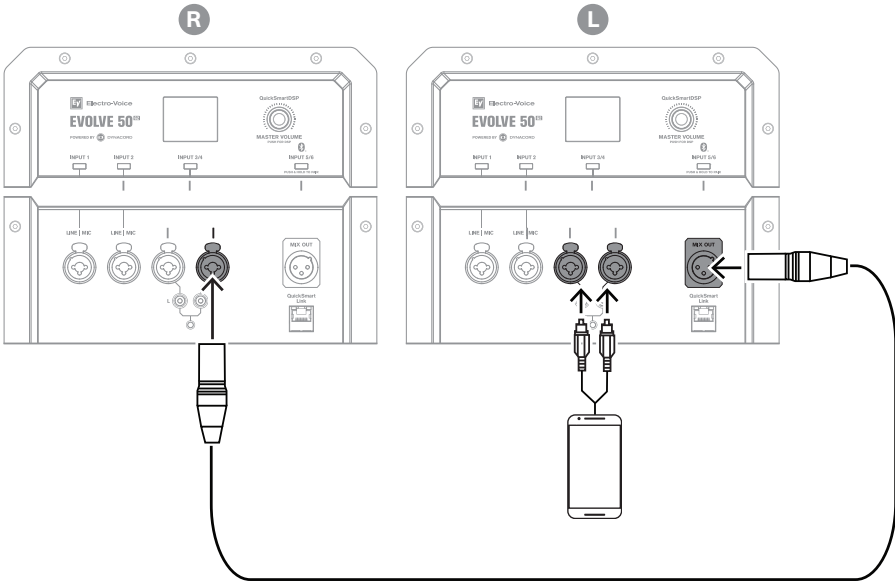


図 10.2: ステレオ構成の EVOLVE 50 G2 のセットアップ

	EVOLVE 30M G2 EVOLVE 50M G2	EVOLVE 50 G2
MODE	MUSIC	
MASTER SPEAKER (L) MIX OUT	R	
サテライト SPEAKER (R)	INPUT 5/6 (モノラル)	INPUT 3/4 (モノラル)

表 10.1: EVOLVE G2 システムのステレオ ペアの DSP 設定

**注記!**

装置を MASTER SPEAKER にステレオ接続するには、ステレオ入力にケーブルを接続するか、または Bluetooth® を介してステレオ Bluetooth® 入力に接続します。

10.2**QuickSmart Link を使用したステレオ ペアリング**

QuickSmart Link を使用してステレオシステムをセットアップするには、次の手順に従います。

- ▶ 両方のシステムの QuickSmart Link コネクタに RJ45 ケーブルを接続します。

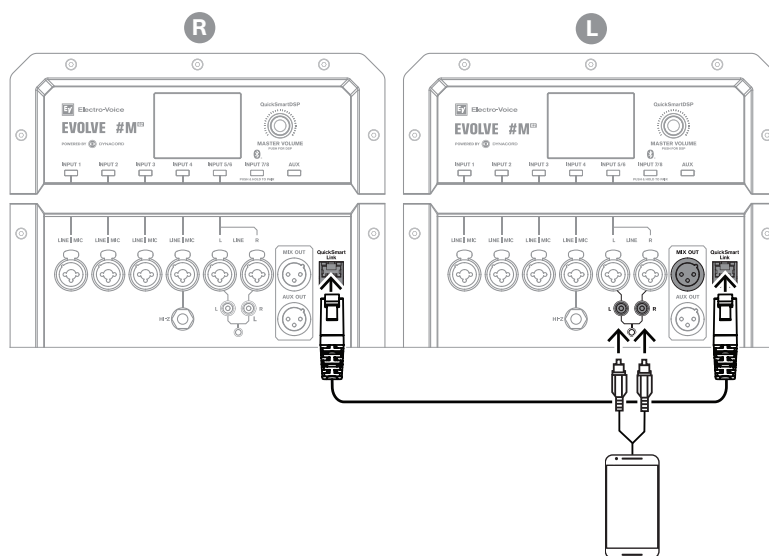


図 10.3: QuickSmart Link を使用したステレオ ペアの EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

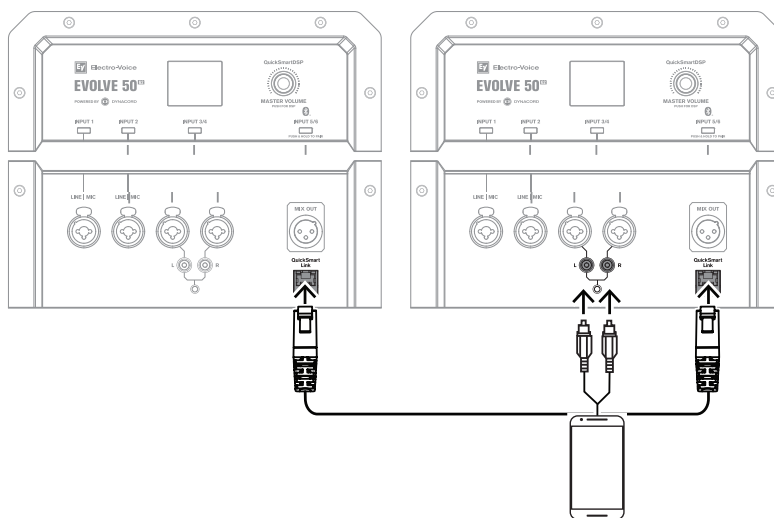
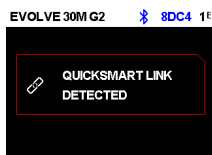
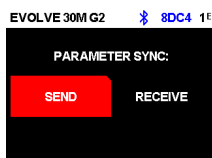


図 10.4: QuickSmart Link を使用したステレオ ペアの EVOLVE 50 G2 のセットアップ

- ⇒ システムで QuickSmart Link 接続が検出されます。これで、両システムのスピーカー パラメータを 1 つの画面から制御できるようになります。



- ⇒ 接続が完了すると、パラメータを同期するよう求められます。これは、接続中のシステム間でパラメータが一致しない場合に発生します。



両方のユニットを工場出荷時の設定にリセットした後など、パラメータが既に一致している場合、プロンプトは表示されません。EVOLVE および EVOLVE G2 で QuickSmart Link により同期されるパラメータの一覧については、「QuickSmart Link で同期されるパラメータ, ページ 92」を参照してください。

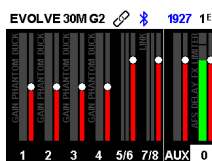
- ▶ **SEND** または **RECEIVE** を選択します。
選択したオプションに応じて、影響がシステムに生じます。一方のシステムで **SEND** を選択すると、もう一方のシステムで **RECEIVE** が有効になります。
- ⇒ パラメータが同期されると、どちらのシステムを **Stereo Left** および **Stereo Right** にするか選択するように求められます。



- ▶ **STEREO L** または **STEREO R** を選択します。
パラメータの同期と同様に、選んだオプションに応じた影響がシステムに生じます。一方のシステムで **STEREO L** を選択すると、もう一方のシステムで **STEREO R** が有効になります。
- ⇒ これで、QuickSmart Link のセットアップは完了です。



- ⇒ QuickSmart Link 接続がアクティブになると、DSP 画面上部のリボンに  アイコンが表示されます。



10.3 DJ パフォーマンス

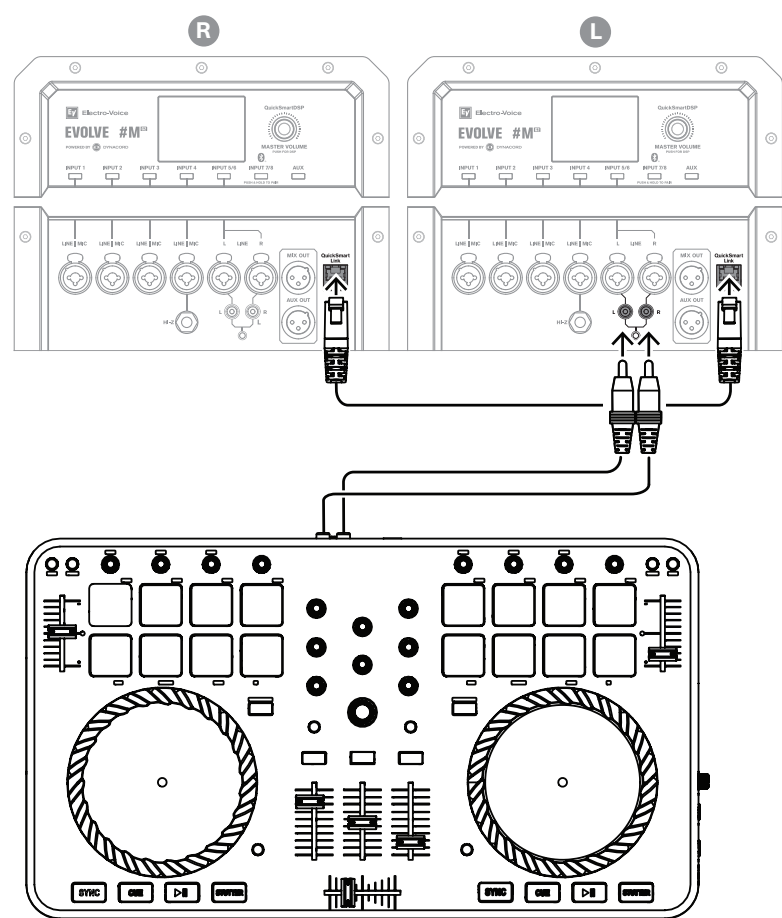


図 10.5: DJ パフォーマンス用の EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

MODE	MUSIC
MASTER SPEAKER (L) SPEAKER OUT	L
SATELLITE SPEAKER (R) SPEAKER OUT	R

表 10.2: DJ パフォーマンス用の DSP 設定

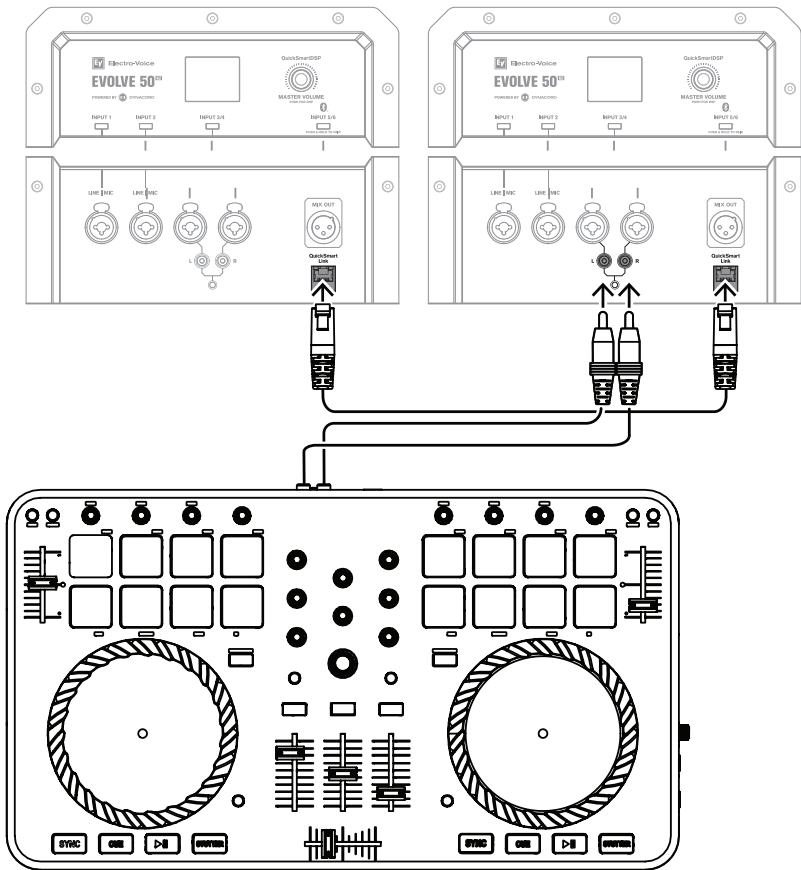


図 10.6: DJ パフォーマンス用の EVOLVE 50 G2 のセットアップ

MODE	MUSIC
MASTER SPEAKER (L) SPEAKER OUT	L
SATELLITE SPEAKER (R) SPEAKER OUT	R

表 10.3: DJ パフォーマンス用の DSP 設定

10.4 ミュージシャンのソロ演奏

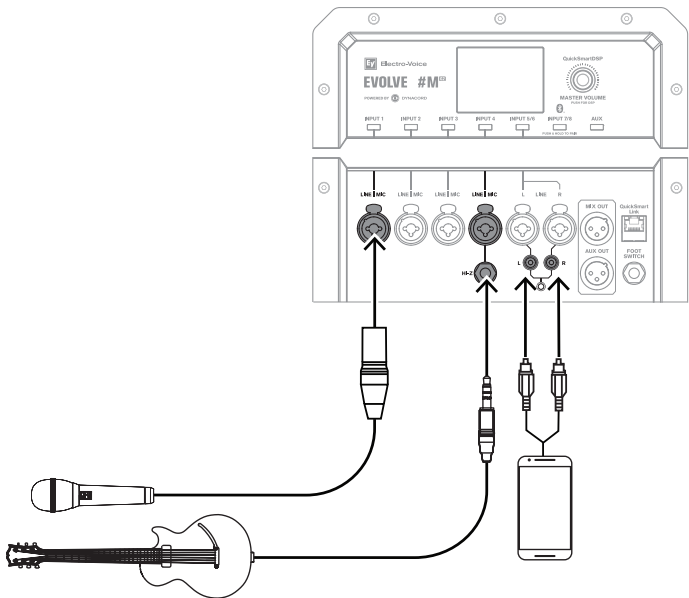


図 10.7: ミュージシャンのソロ演奏用の EVOLVE 30M G2 または EVOLVE 50M G2 のセットアップ

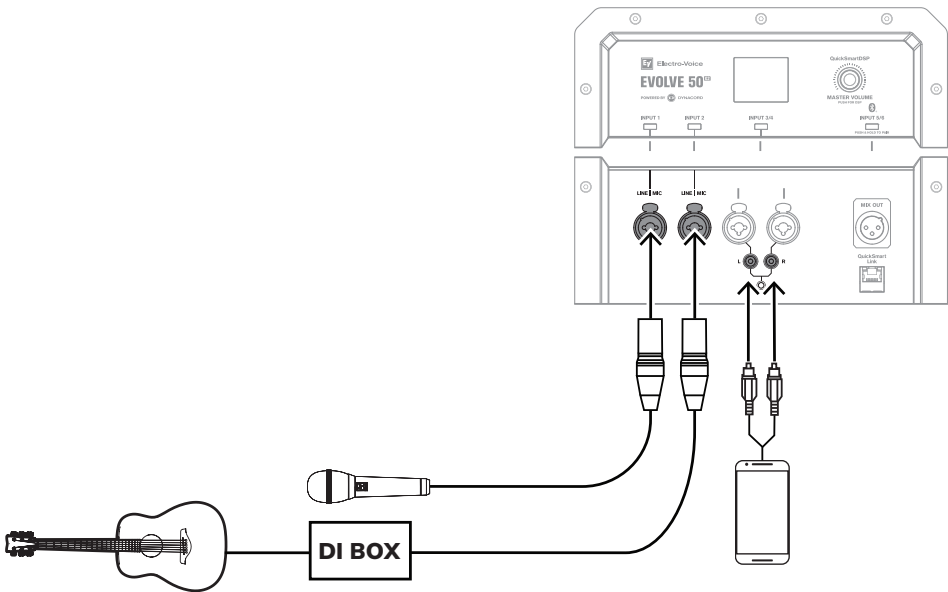


図 10.8: ミュージシャンのソロ演奏用の EVOLVE 50 G2 のセットアップ。



注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	LIVE
------	------

表 10.4: ミュージシャンのソロ演奏用の DSP 設定

10.5

講演会

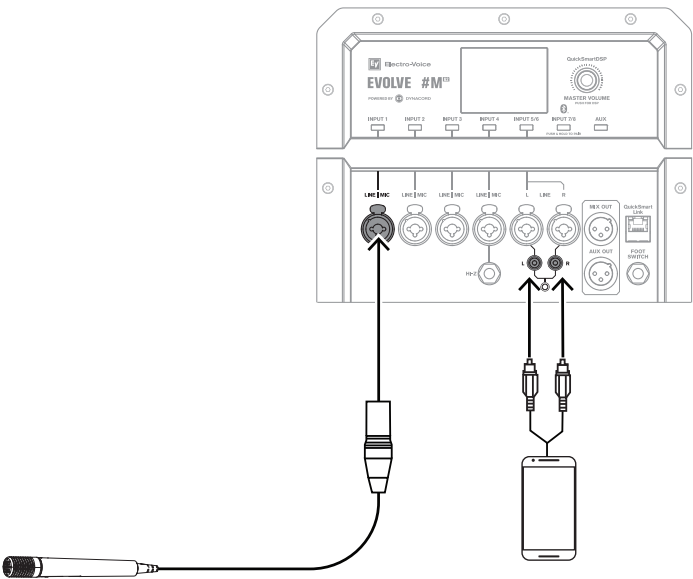


図 10.9: 講演会用の EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

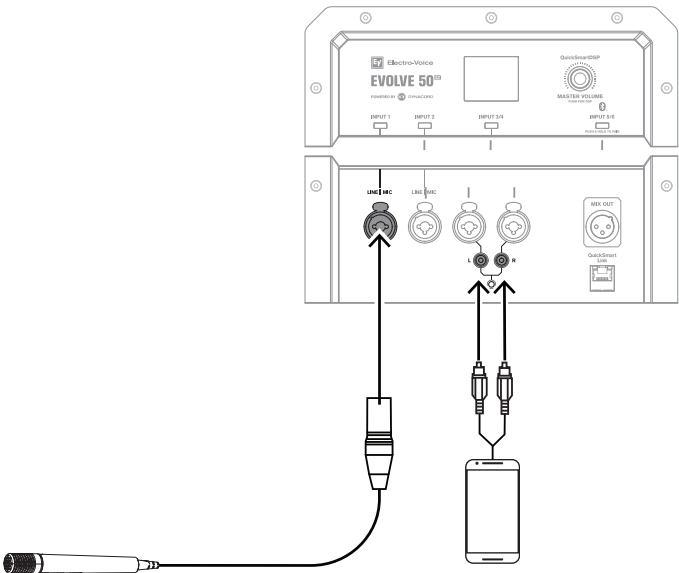


図 10.10: 講演会用の EVOLVE 50 G2 のセットアップ



注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	SPEECH
------	--------

表 10.5: 講演会用の DSP 設定

10.6 Bluetooth True Wireless Stereo (TWS)

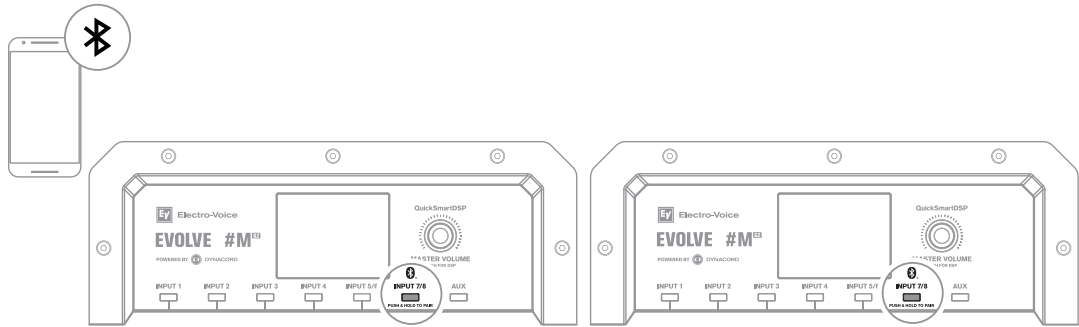


図 10.11: Bluetooth® TWS 用の EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

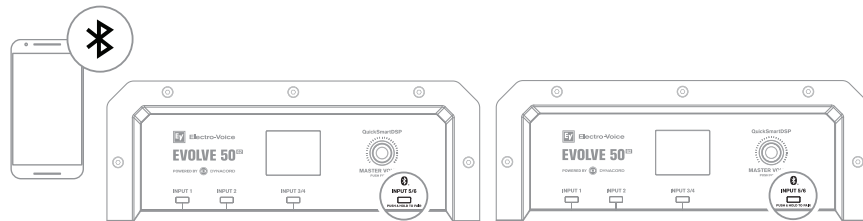


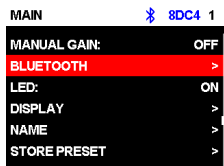
図 10.12: Bluetooth® TWS 用の EVOLVE 50 G2 のセットアップ

MODE	MUSIC
------	-------

表 10.6: Bluetooth® TWS 用の DSP 設定

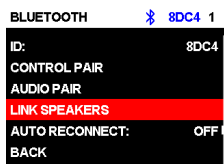
TWS で 2 台の EVOLVE G2 スピーカーをリンクする方法には、次の手順に従います。

- ▶ どちらか一方の EVOLVE G2 スピーカーを Bluetooth® 経由でモバイルデバイスに接続します。
[Bluetooth® オーディオのペアリング, ページ 19] を参照してください。
- ▶ 両方の EVOLVE G2 スピーカーで、メイン DSP メニューの **BLUETOOTH** メニューに移動します。

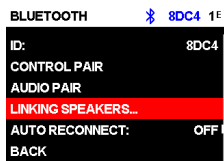


注記!

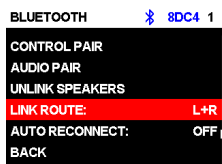
MAIN DSP コントロール メニューにアクセスするには、入力選択ソフトキーが選択されていないことを確認し、**MASTER VOLUME** つまみを押します。



- ▶ 両方の EVOLVE G2 スピーカーで **LINK SPEAKERS** を選択します。



- ⇒ 2 台の EVOLVE G2 スピーカー間で接続を確立している間は、LCD ディスプレイに「**LINKING SPEAKERS...** (スピーカーの接続中...)」と表示されます。接続が確立されると、メニューに「**UNLINK SPEAKERS** (スピーカーの接続解除)」と表示されます。
- ⇒ **UNLINK SPEAKERS** の下にある **BLUETOOTH** メニューの中に、**LINK ROUTE** ステレオチャンネル選択が表示されます。



- ▶ EVOLVE G2 スピーカーごとに、**L+R** (モノラル)、**L**、または **R** から適切な **LINK ROUTE** ステレオチャンネル選択を選択します。

**注記!**

Bluetooth True Wireless Stereo (TWS) を使用すると、モバイルデバイスは音声信号を 2 つのスピーカーシステムにストリーミングできます。この機能では、ある EVOLVE G2 の入力信号やミックスを別の EVOLVE G2 システムに送信することはできません。

10.7 XLR ケーブルを使用したステレオとサブウーファースの接続

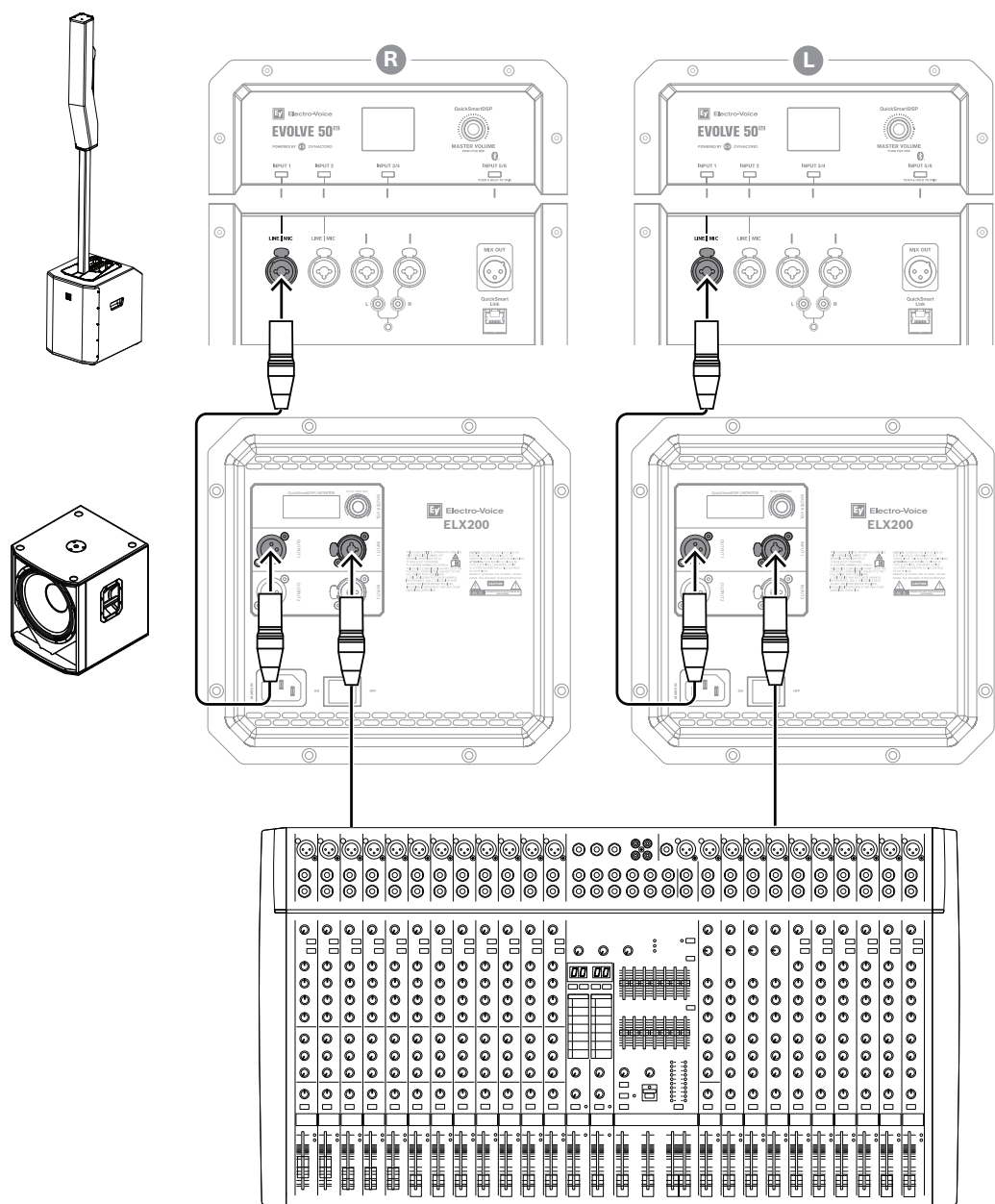


図 10.13: XLR ケーブルでサブウーファースを追加したステレオ用の EVOLVE 50 G2 のセットアップ

	EVOLVE 50 G2	ELX200-18SP
PRESET	LOW CUT 80 Hz	☐ ☐ ☐ ☐
PHANTOM	☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐
X-OVER	☐ ☐ ☐ ☐	80 Hz

表 10.7: サブウーファースを追加した EVOLVE G2 システムのステレオ ペアの DSP 設定

10.8

ステレオ メインとモニター

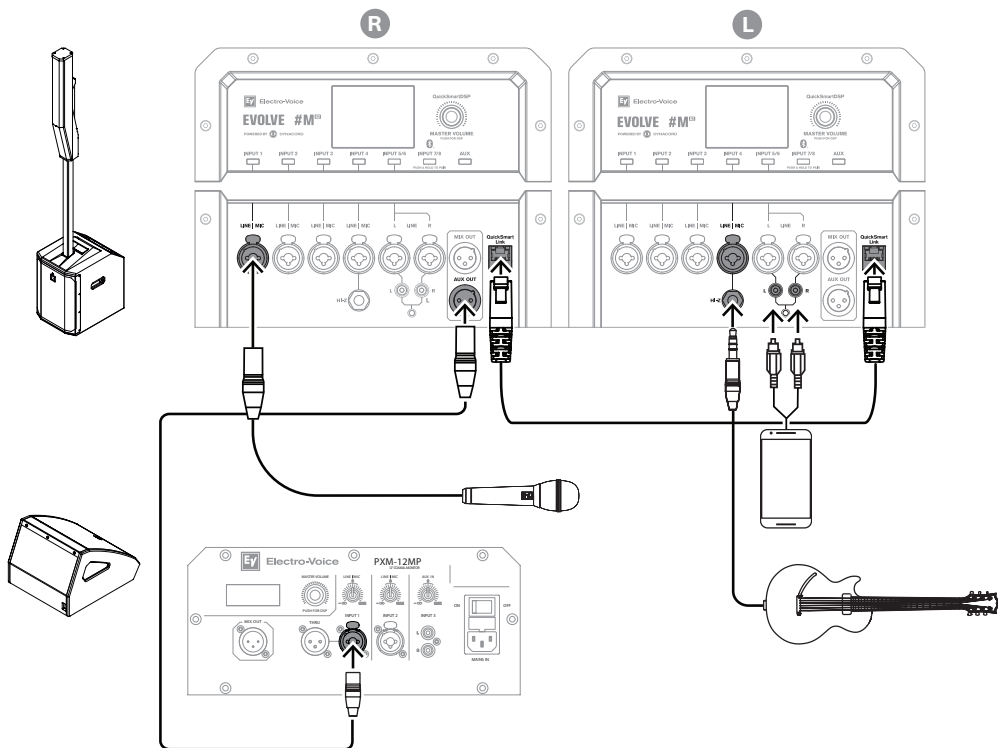


図 10.14: ステレオ メインとモニター接続用の EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のセットアップ

	EVOLVE 30M G2 EVOLVE 50M G2	PXM-12MP
MODE	MUSIC ☐ ☐ ☐ LIVE	MONITOR 1 ☐ ☐ ☐ MONITOR 2

表 10.8: PXM-12MP を使用した EVOLVE G2 システムのステレオ ペア用の DSP 設定

11 トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音が出ない	アンプ	音が聞こえない場合は、電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていること、どのチャンネルもミュートされていないことなどをチェックし、必要に応じて修正/修理/交換してください。それでも音が聞こえない場合は、配線に問題がある可能性があります。
	配線の問題	アンプに正しいケーブルを接続したことを確認します。アンプを通して何か音楽を小さな音量で再生します。テスト用スピーカーを、故障しているラインと並列に接続します。サウンドレベルが消えている、または非常に弱い場合、ショートしています。問題が解決するまで、テスト用スピーカーを使用し、ラインを移動して各接続 / 接続部のテストをします。極性が正しいかも確認してください。
2. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	アンプとラウドスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。
3. ブーツ、シューツ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	入力チャンネルがミュートされているか、レベルが低すぎる	問題のチャンネルを選択し、ミュートされていないことを確認します。ミュートされていないことがわかった場合は、音が聞こえるまでチャンネルのレベルをゆっくりと上げます。
4. LINE/MIC 入力に接続したマイクの音が出ない	マイクにはファンタム電源が必要である	マイクが XLR 入力に接続されていることを確認します。このチャンネルでファンタム電源が ON に設定されていることを確認します。ファンタム電源は、ライン入力およびライン/マイク TRS 入力コネクタでは利用できません。
	入力レベルが高すぎる	入力レベルまたはスピーカーのレベルを下げて、リミットを超えないようにします。
5. 音に歪みがある、フロント LED が消えている、LCD 画		

症状	考えられる原因	対応策
面 LIMITER がONになっている	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力（ミキシングコンソール/プリアンプ）が暴走している	LCD 画面上の VU メーターインジケータを使用して、ソースのレベルコントロールが正しい構造になっていることを確認します。VU メーター バーが点灯しているか、システムが CLIP または LIMITER を示している場合、入力またはソース レベルが高すぎます。
6. 入力レベルを増幅したときにマイクがハウリングを起こす	ゲイン構造が正しくない	入力レベルを下げてマイクの信号を低くします。マイクを音源の近くに置くと、フィードバック前のゲインが増加します。
	MODE が MUSIC に設定されている	MODE を LIVE または SPEECH に変更します。
	マイクの位置がスピーカー前面に近すぎる	可能な限り、スピーカーがマイクより前にくるようにセットアップしてください。別のスピーカーをモニタ位置で使う場合は、そのスピーカーをマイクの背面に向けて下さい。
7. DSP コントロールメニューがロックされている	メニューの LOCK 機能がオンになっています。ロック記号が LCD 画面に表示されます。	ロック解除するには、 MASTER VOLUME 入力選択ソフトキーを押してロックを解除します。
8. QuickSmart アプリがスピーカーを検出しない	Bluetooth® が無効になっている	デバイスとスピーカーの両方で Bluetooth® を有効にします。
	アプリのバージョンが古い	- アプリを最新バージョンに更新します。 - 自動更新が有効になっていることを確認します。
	スピーカーがペアリングモードではない	スピーカーのペアリング モードを有効にします。
	工場出荷時設定へのリセットでセキュリティキーが削除された	スピーカーを工場出荷時の設定にリセットした場合、それまでに保存されていたセキュリティ キーは削除されます。 - モバイル デバイス (iOS) でスピーカーの登録を削除します - スピーカーを新しいデバイスとして再度ペアリングします。
	位置情報サービスが無効になっている (Android 11 以前)	Android 11 以前のバージョンでは、Bluetooth® スキャンを使用するには位置情報サービスを有効にする必要があります。 Android デバイスで位置情報サービスを有効にします。
	バッテリー最適化または省エネルギー設定 (Android)	設定 > アプリ > QuickSmart > バッテリー の順に移動して 制限なし を選択します。

症状	考えられる原因	対応策
	アクティブな Bluetooth® 接続が多すぎる	- Bluetooth® で接続されているデバイスの数を確認します。 - Bluetooth® メニューで使用していないデバイスを削除し、スピーカーを再びペアリングします。 - スピーカー 1 台につき、同時に接続する Bluetooth® 接続は 1 つだけにしてください。 - Bluetooth® のトラフィックが多い環境に注意してください。
	アプリの近くのデバイスを検出する権限が無効になっている	設定 > アプリ > QuickSmart > 権限 に移動して、必要な権限を有効化します。
	一度に複数のスピーカーをペアリングしている	特に Android デバイスでは、複数のスピーカーを同時にペアリングすると Bluetooth® 接続の問題が発生する可能性があります。複数のペアリング要求を同時に処理する際に、オペレーティングシステムで問題が発生する可能性があります。 - スピーカーは 1 台ずつペアリングし、1 台のペアリングが完了してから次のペアリングを開始するようにします。 - 複数の Bluetooth® ペアリングを同時に開始しないようにしてください。
	デバイスが おやすみ モードになっている	デバイスが 集中 - おやすみ モード (iOS) または サイレント モード (Android) になっていると、Bluetooth® ペアリングのダイアログ ボックスが画面に表示されない場合があります。 - デバイスの通知センターを開いて、非表示になっている Bluetooth® ペアリング ダイアログ ボックスがないか確認します。 - 集中 - おやすみ モード (iOS) または サイレント モード (Android) を無効化してから、スピーカーのペアリングを再実行してください。
9. PIN コードのロック解除に失敗する	間違った PIN コードが入力された	- PIN コードを入力し直します - ソフトキー INPUT 2 と MASTER VOLUME ノブを 15 秒以上押し続けると、スピーカーがデフォルト設定にリセットされます。
10. TWS 経由で入力が送信されない	True Wireless Stereo (TWS) は、単一の Bluetooth® オーディオソースから 2 つのスピーカーへ同時に Bluetooth® オーディオをストリーミングします。TWS では、あるス	ステレオ動作でアナログ入力を使用する場合は、Bluetooth® を単一の EVOLVE システムにストリーミングして、QuickSmart Link (QSL) でシステムどうしを接続してください。

症状	考えられる原因	対応策
	ピーカーから別のスピーカーへアナログ入力をストリーミングすることはありません。	
11. QuickSmart Linkを使用すると、音声がひずむまたは途切れる	ケーブルの不具合またはケーブルが長すぎる	100m以下のシールドされたCAT5 (またはそれ以上の) ケーブルを使用する。
	ネットワークハードウェア (スイッチ/ルーター) の接続	2 台以下の EVOLVE G2 システムを直接接続した場合のみ、正常に動作します。
12. オーディオ エフェクトがない	FX が無効になっている	LCD またはアプリで FX ENABLE コントロールが ON に設定されていることを確認します。 ON に変更できない場合は、フットスイッチが接続され OFF に設定されています。
	エフェクトが選択されていない	FX ENABLE を ON にしてもオーディオ エフェクトが適用されない場合は、00: Off 以外のエフェクトプログラムを選択しているか確認します。
	FX への送信チャンネル	関連する入力チャンネルで FX、FX1、または FX2 コントロールが OFF 以外の値に設定されているか確認します。レベルを徐々に上げて、ミックスのエフェクトを増やします。

上記の対策を講じても問題を解決できない場合は、購入元の Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

12 テクニカル データ

	EVOLVE 30M G2
列	(6) 2.8 インチ ネオジウム ドライバー
サブウーハー	(1) 10 インチ ウーファー
周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	51 Hz – 20,000 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	45 Hz – 20,000 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ²	125 dB
角度範囲HxV (°)	120° x 40°
アンプ定格 (W)	1500 W
消費電力 (V、Hz、A) ³	100 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz、1.0 ~ 0.5 A
LF チャンネル定格 (W)	800 W
HF チャンネル定格 (W)	700 W
クロスオーバー周波数 (Hz)	200 Hz
コネクタタイプ	(4) XLR/TRS コンボ ジャック マイク/ライン入力、切り替え可能な 48V ファンタム電源付き ¼ インチ Hi-Z 入力 XLR/TRS コンボ ジャック ステレオライン入力 ステレオ RCA ライン入力 3.5 mm ステレオ ジャック入力 XLR Mix 出力 XLR Aux 出力 RJ45 QuickSmart Link コネクタ TWS 付き Bluetooth ステレオ入力 ¼ インチ フットスイッチ コントロール ジャック入力
筐体	ポリウレアコーティング合板 (サブウーファー) コンボジット (コラム) アルミニウム (ポール)
グリルの素材	鋼 黒色または白色の粉体塗装
色	黒 または 白
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	16.73 インチ x 13.07 インチ x 17 インチ (サブウーファー) 24.41 インチ x 3.74 インチ x 6.21 インチ (コラム) 23.64 インチ x 1.91 インチ x 2.17 インチ (各ハーフポール)

	EVOLVE 30M G2
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	424.85 mm x 332 mm x 432 mm (サブウーファース) 620 mm x 95 mm x 157.7 mm (コラム) 600.5 mm x 48.5 mm x 55 mm (各ハーフポール)
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	78.54 インチ x 13.07 インチ x 17.01 インチ
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	1995 mm x 332 mm x 432 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	27.63 インチ x 15.55 インチ x 23.43 インチ
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	702 mm x 395 mm x 595 mm
重量 (ポンド)	43.54 lb (組み立て済みシステム) 34.6 lb (サブウーファース) 5.6 lb (コラム) 3 lb (各ハーフポール)
重量 (kg)	19.75 kg (組み立て済みシステム) 15.7 kg (サブウーファース) 2.7 kg (コラム) 1.4 kg (各ハーフポール)
総重量 (ポンド)	54.34 lb
発送重量 (kg)	24.65 kg

¹フルスペース測定。MUSIC DSP プリセットを使用。

²最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1 メートル離れた場所で測定。

³定格電流は 1/8 出力時。

	EVOLVE 50M G2
列	(8) 3.5 インチ ネオジウム ドライバー
サブウーハー	(1) 12 インチ ウーファース
周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	43 Hz – 20,000 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	37 Hz – 20,000 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ²	129 dB
角度範囲 HxV (°)	120° x 40°
アンプ定格 (W)	1500 W
消費電力 (V、Hz、A) ³	100 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz、1.0 ~ 0.5 A
LF チャンネル定格 (W)	800 W
HF チャンネル定格 (W)	700 W
クロスオーバー周波数 (Hz)	200 Hz

	EVOLVE 50M G2
コネクタタイプ	(4) XLR/TRS コンボ ジャック マイク/ライン入力、切り替え可能な 48V ファンタム電源付き ¼ インチ Hi-Z 入力 XLR/TRS コンボ ジャック ステレオ ライン入力 ステレオ RCA ライン入力 3.5 mm ステレオ ジャック入力 XLR Mix 出力 XLR Aux 出力 RJ45 QuickSmart Link コネクタ TWS 付き Bluetooth ステレオ入力 ¼ インチ フットスイッチ コントロール ジャック 入力
筐体	ポリウレアコーティング合板 (サブウーファー) コンポジット (コラム) アルミニウム (ポール)
グリルの素材	鋼 黒色または白色の粉体塗装
色	黒 または 白
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	20.08 in x 13.54 in x 18.50 in (サブウーファー) 32.48 インチ x 4.02 インチ x 6.43 インチ (コラム) 36.57 インチ x 1.91 インチ x 2.16 インチ (ポール)
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	510 mm x 344 mm x 470 mm (サブウーファー) 825 mm x 102 mm x 163.26 mm (コラム) 929 mm x 48.49 mm x 54.82 mm (ポール)
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	82.40 インチ x 13.54 インチ x 18.50 インチ
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	2093 mm x 344 mm 470 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	24.02 インチ x 15.55 インチ x 20.39 インチ (サブウーファー) 6.89 インチ x 11.81 インチ x 38.82 インチ (コラム、ポール、キャリー バッグ)
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	610 mm x 395 mm x 518 mm (サブウーファー) 175 mm x 300 mm x 986 mm (コラム、ポール、キャリー バッグ)
重量 (ポンド)	55.6 lb (組み立て済みシステム) 42.66 lb (サブウーファー) 10.47 lb (コラム) 2.4 lb (ポール)

	EVOLVE 50M G2
重量 (kg)	25.2 kg (組み立て済みシステム) 19.35 kg (サブウーファー) 4.75 kg (コラム) 1.1 kg (ポール)
総重量 (ポンド)	50.7 lb (サブウーファー) 18.7 lb (コラム、ポール、キャリー バッグ)
発送重量 (kg)	23 kg (サブウーファー) 8.5 kg (コラム、ポール、キャリー バッグ)

¹フルスペース測定。MUSIC DSP プリセットを使用。

²最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1 メートル離れた場所で測定。

³定格電流は 1/8 出力時。

	EVOLVE 50 G2
列	(8) 3.5 インチ ネオジウム ドライバー
サブウーハー	(1) 12 インチ ウーファー
周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	43 Hz – 20,000 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	37 Hz – 20,000 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ²	129 dB
角度範囲HxV (°)	120° x 40°
アンプ定格 (W)	1500 W
消費電力 (V、Hz、A) ³	100 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz、1.0 ~ 0.5 A
LF チャンネル定格 (W)	800 W
HF チャンネル定格 (W)	700 W
クロスオーバー周波数 (Hz)	200 Hz
コネクタタイプ	デュアル XLR/TRS コンボ ジャック マイク/ライン入力、切り替え可能な 48V ファンタム電源付き XLR/TRS コンボ ステレオ ジャック Stereo RCA ライン入力 3.5 mm ライン ジャック入力 XLR Mix 出力 RJ45 QuickSmart Link コネクタ TWS 付き Bluetooth ステレオ入力
筐体	ポリウレタコーティング合板 (サブウーファー) コンポジット (コラム) アルミニウム (ポール)

	EVOLVE 50 G2
グリルの素材	鋼 黒色または白色の粉体塗装
色	黒 または 白
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	20.08 in x 13.54 in x 18.50 in (サブウーファー) 32.48 インチ x 4.02 インチ x 6.43 インチ (コラム) 36.57 インチ x 1.91 インチ x 2.16 インチ (ポール)
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	510 mm x 344 mm x 470 mm (サブウーファー) 825 mm x 102.4 mm x 163.26 mm (コラム) 929 mm x 48.49 mm x 54.82 mm (ポール)
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	82.40 インチ x 13.54 インチ x 18.50 インチ
組み立て寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	2093 mm x 344 mm x 470 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	24.02 インチ x 15.55 インチ x 20.39 インチ (サブウーファー) 6.89 インチ x 11.81 インチ x 38.82 インチ (コラム、ポール、キャリー バッグ)
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	610 mm x 395 mm x 518 mm (サブウーファー) 175 mm x 300 mm x 986 mm (コラム、ポール、キャリー バッグ)
重量 (ポンド)	55.8 lb (組み立て済みシステム) 43 lb (サブウーファー) 10.6 lb (コラム) 2.4 lb (ポール)
重量 (kg)	25.3 kg (組み立て済みシステム) 19.5 kg (サブウーファー) 4.8 kg (コラム) 1.1 kg (ポール)
総重量 (ポンド)	49.93 lb (サブウーファー) 18.7 lb (コラム、ポール、キャリー バッグ)
発送重量 (kg)	22.65 kg (サブウーファー) 8.5 kg (コラム、ポール、キャリー バッグ)

¹フルスペース測定。MUSIC DSP プリセットを使用。

²最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1 メートル離れた場所で測定。

³定格電流は 1/8 出力時。

12.1 ブロック図

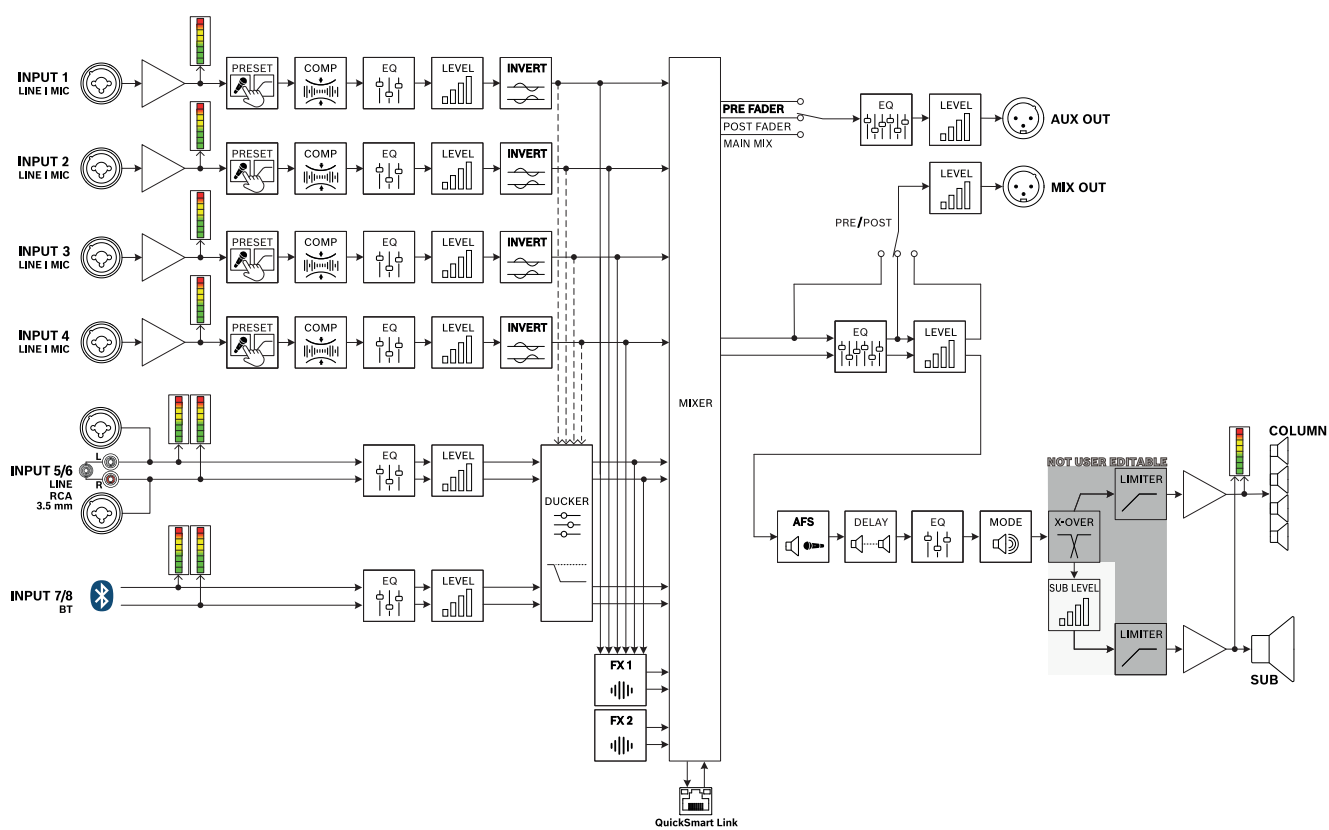


図 12.1: デフォルト モードの EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2

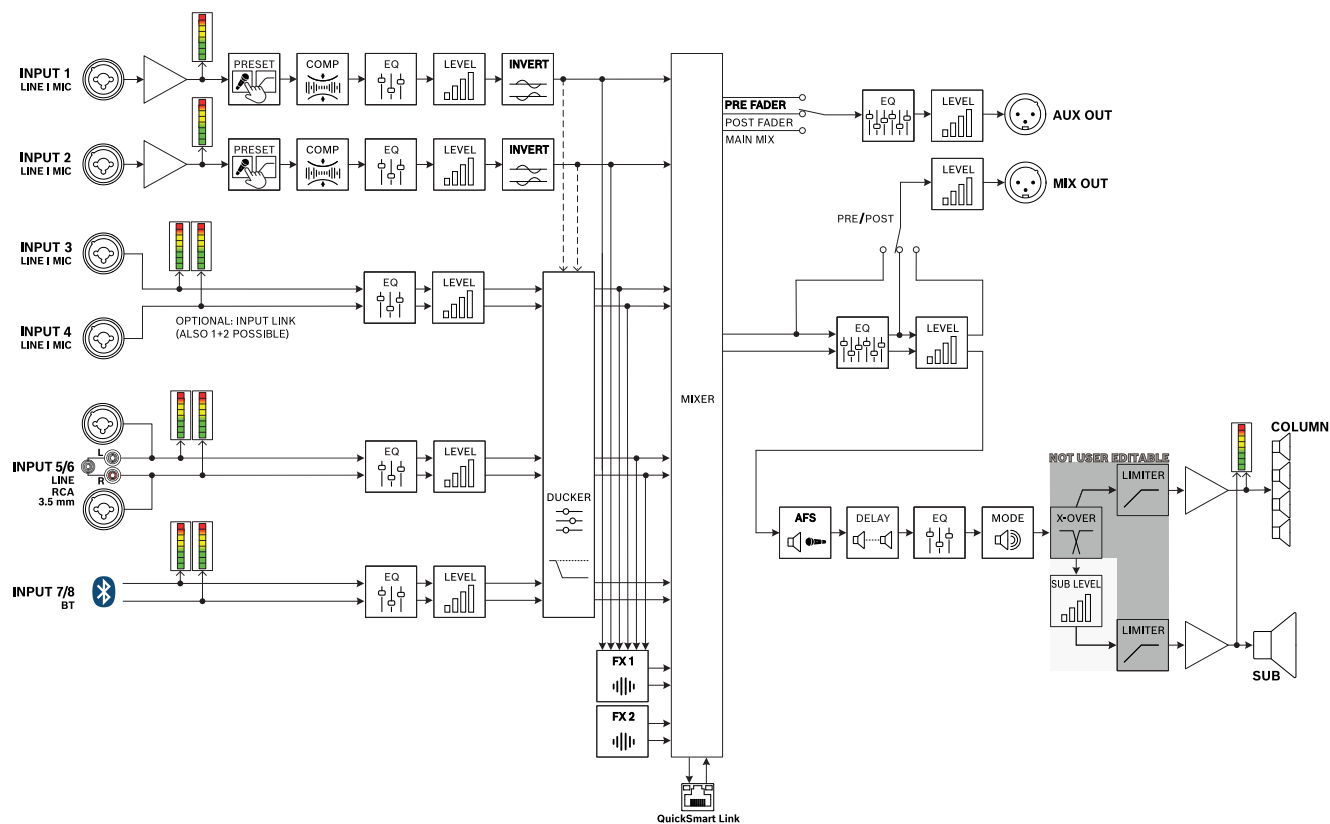


図 12.2: INPUT 3/4 で INPUT LINK を有効化した EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2

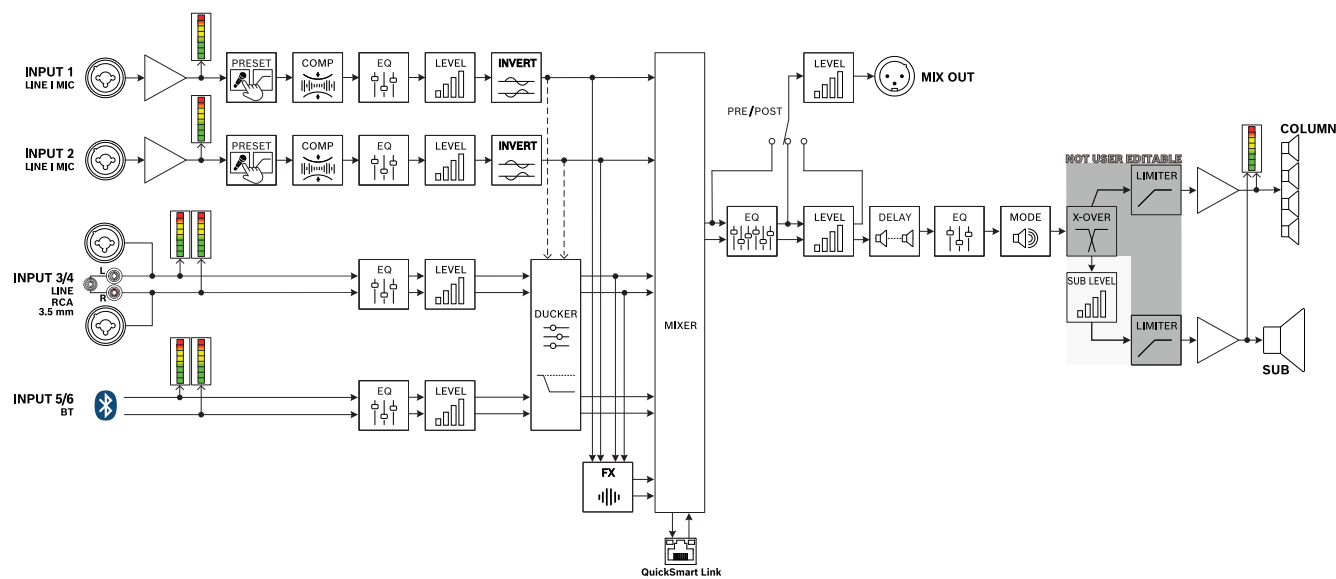


図 12.3: EVOLVE 50 G2

12.2 寸法

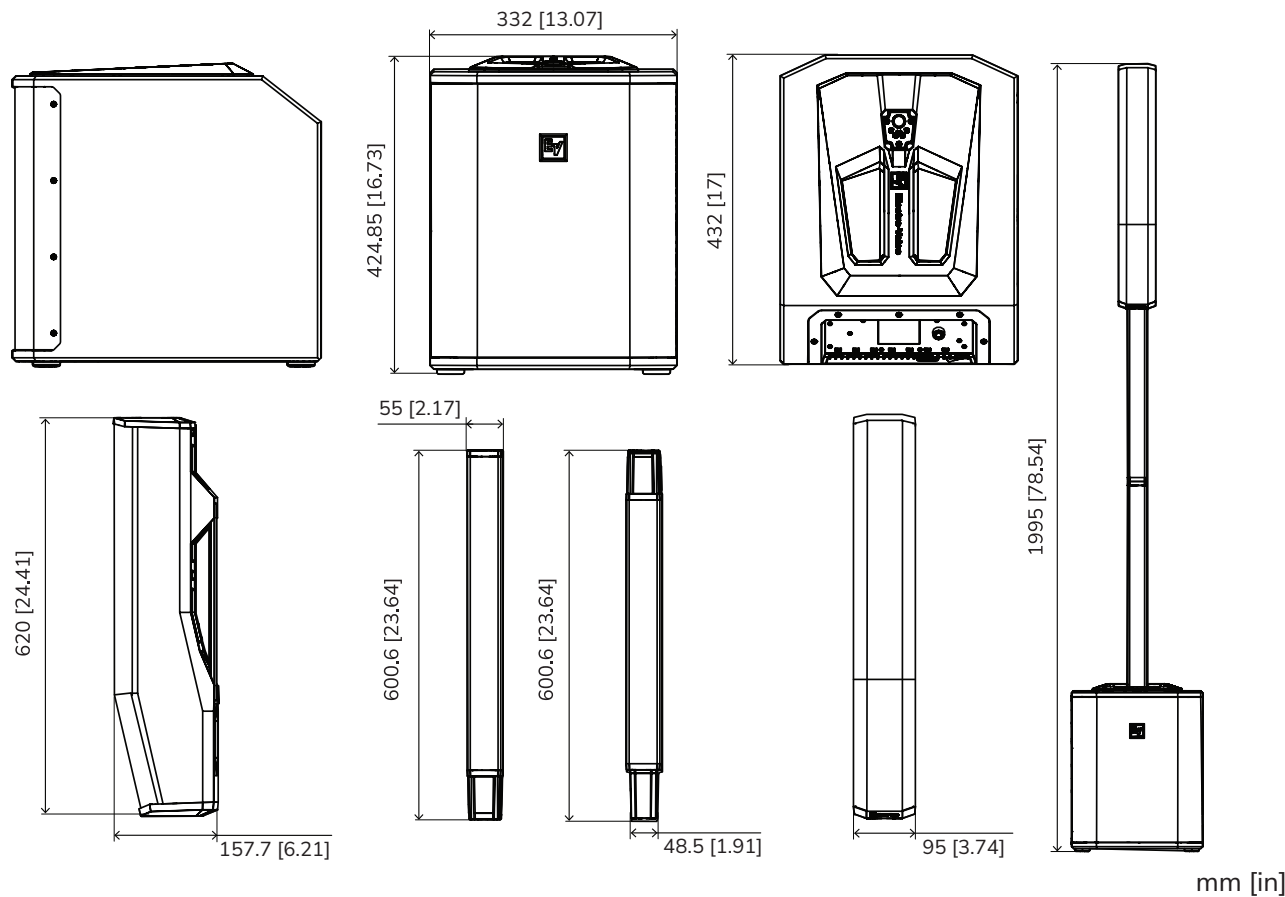


図 12.4: EVOLVE 30M G2

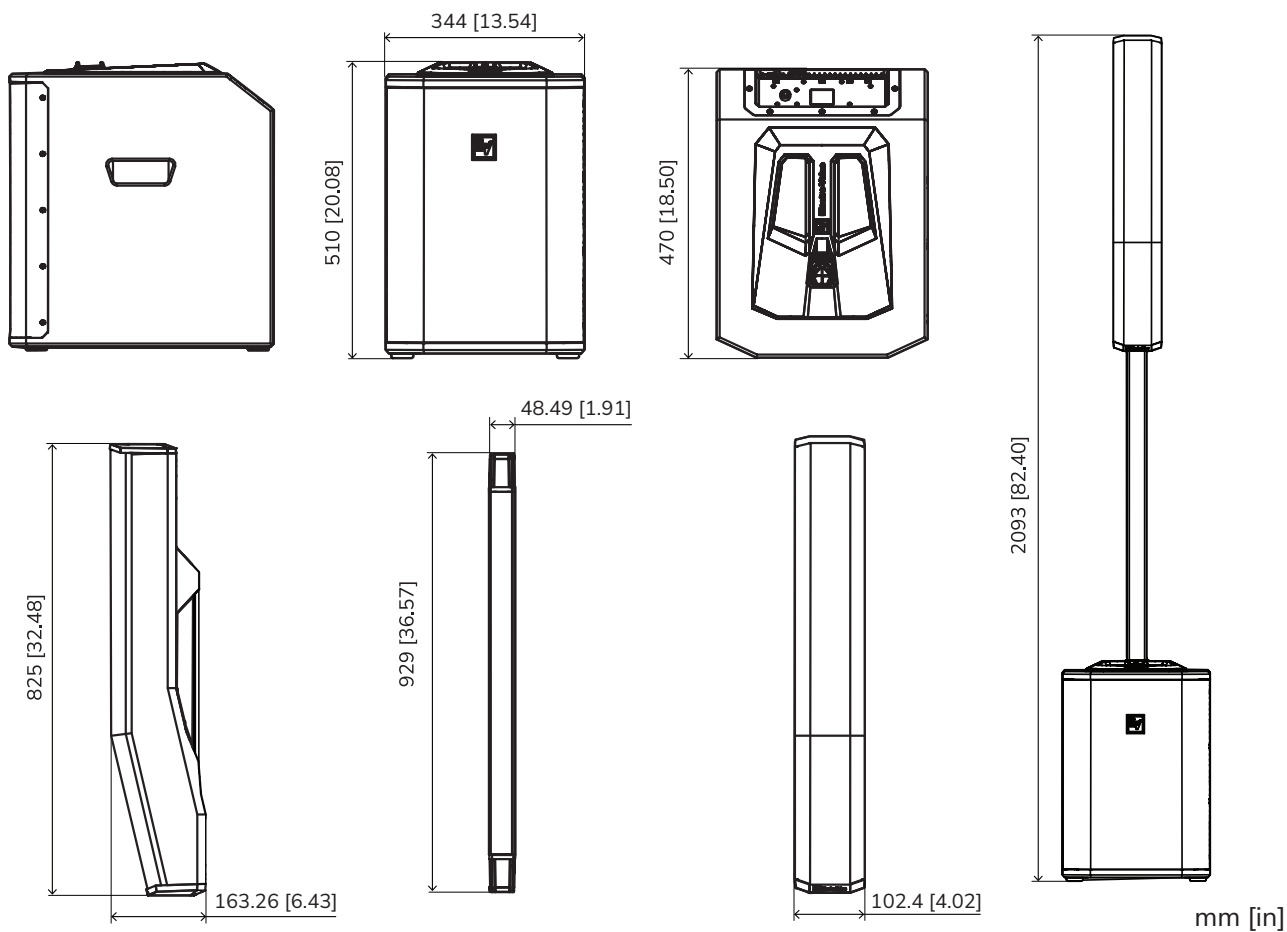


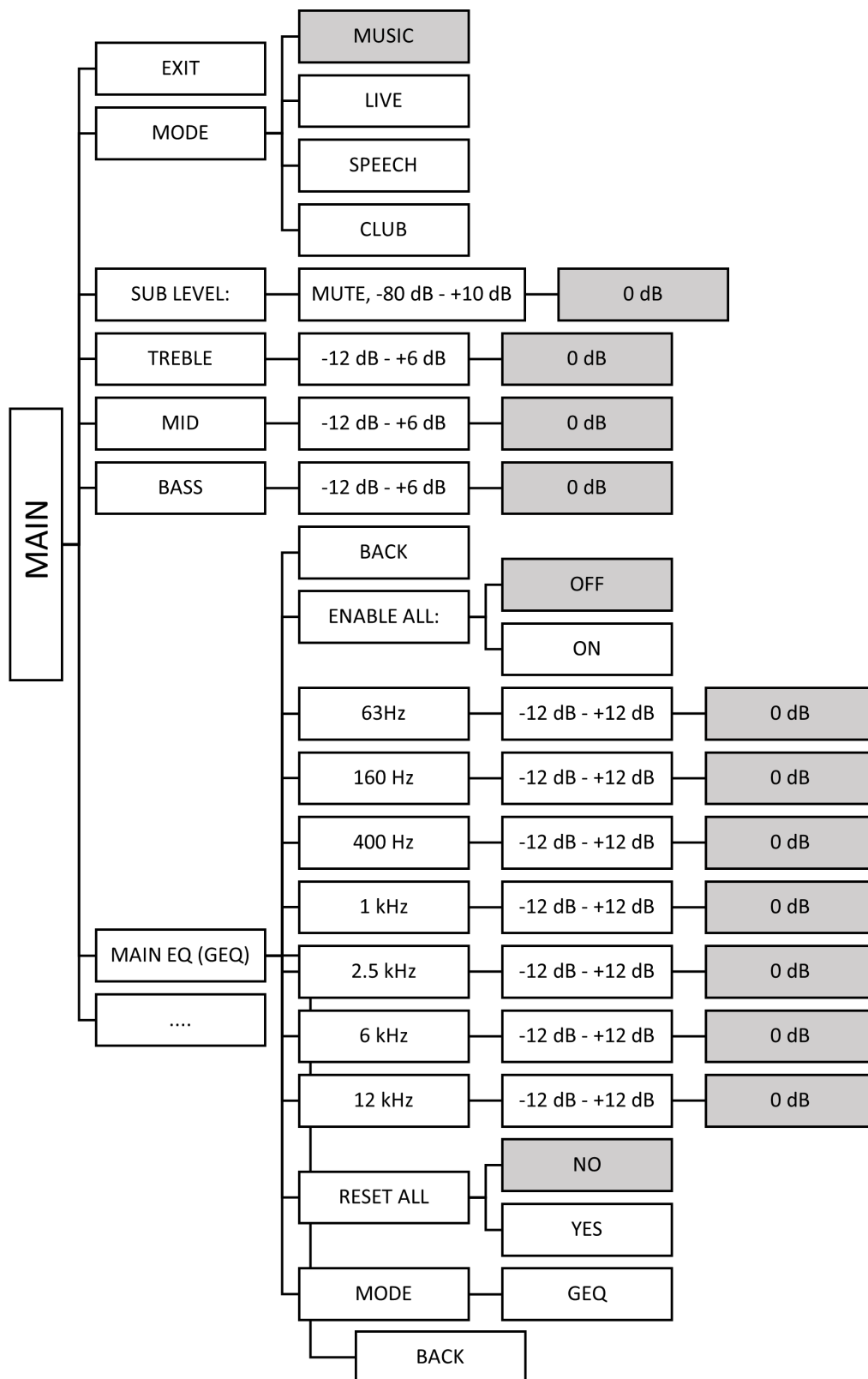
図 12.5: EVOLVE 50M G2 および EVOLVE 50 G2

13 付録

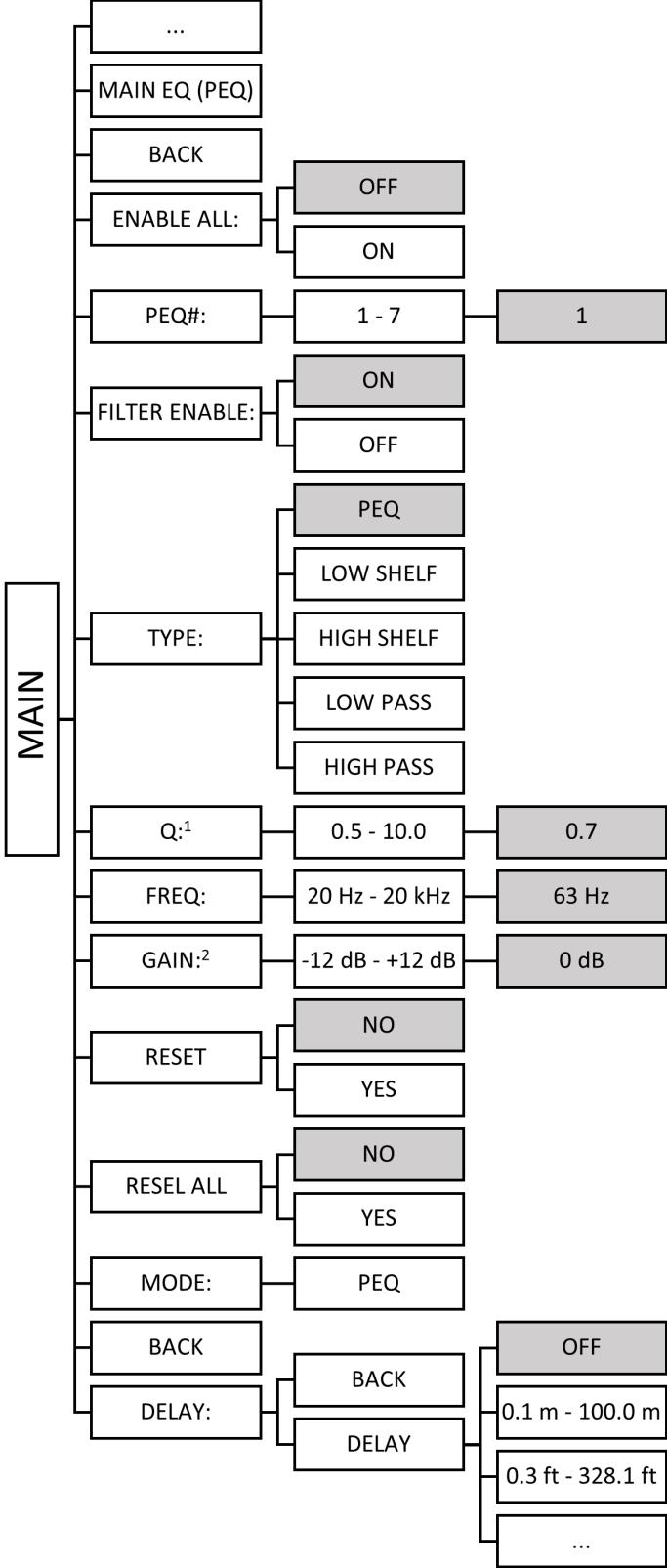
13.1 DSP コントロール メニュー一覧

13.1.1 Main コントロール メニュー一覧

灰色のボックスはデ
フォルト値です



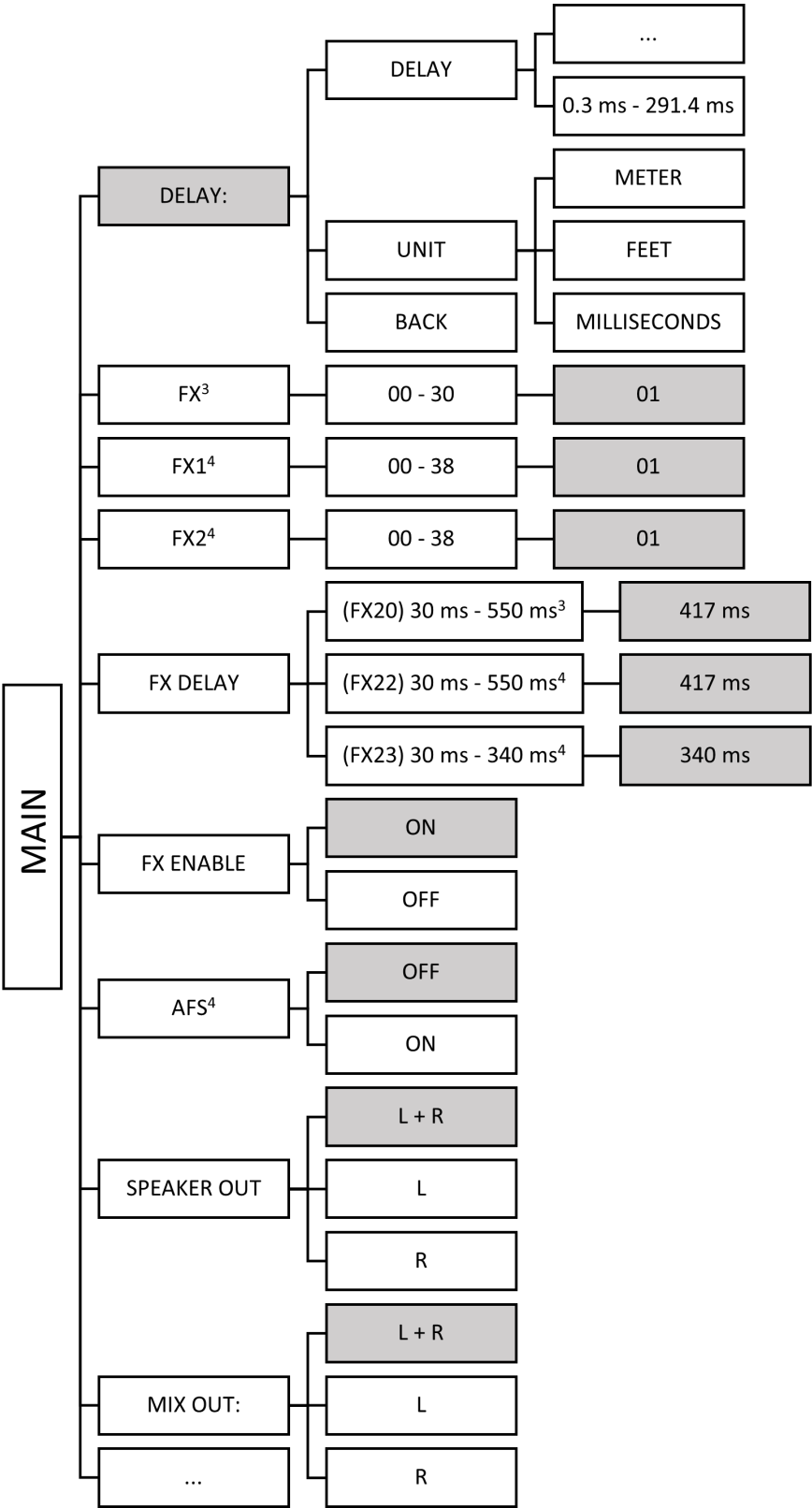
灰色のボックスはデ
フォルト値です



¹ TYPE: が PEQ の場合に使用可能

² TYPE: が PEQ、LOW SHELF、HIGH SHELF の場合に使用可能

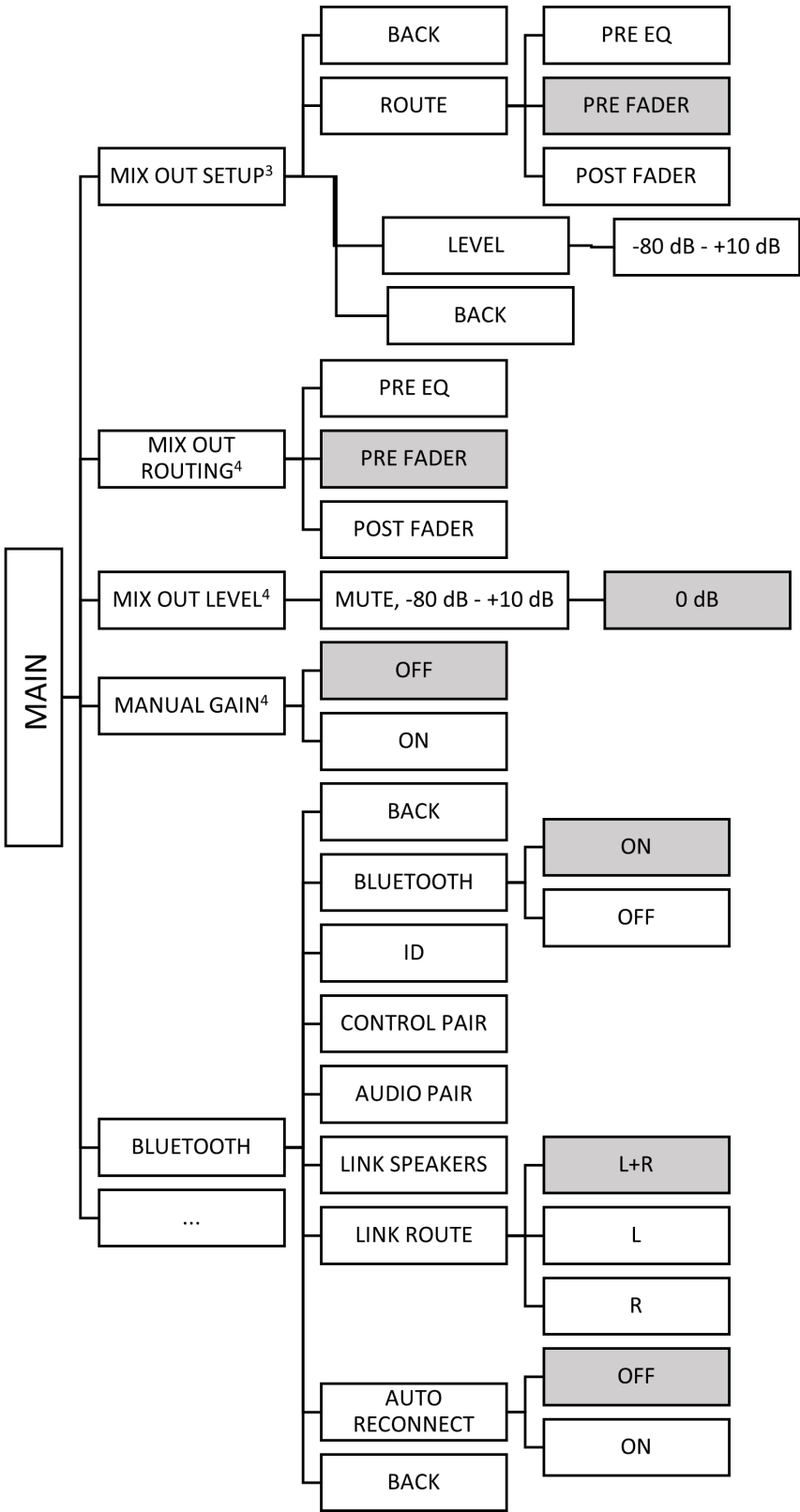
灰色のボックスはデ
フォルト値です



³ EVOLVE 50 G2 でのみ使用可能

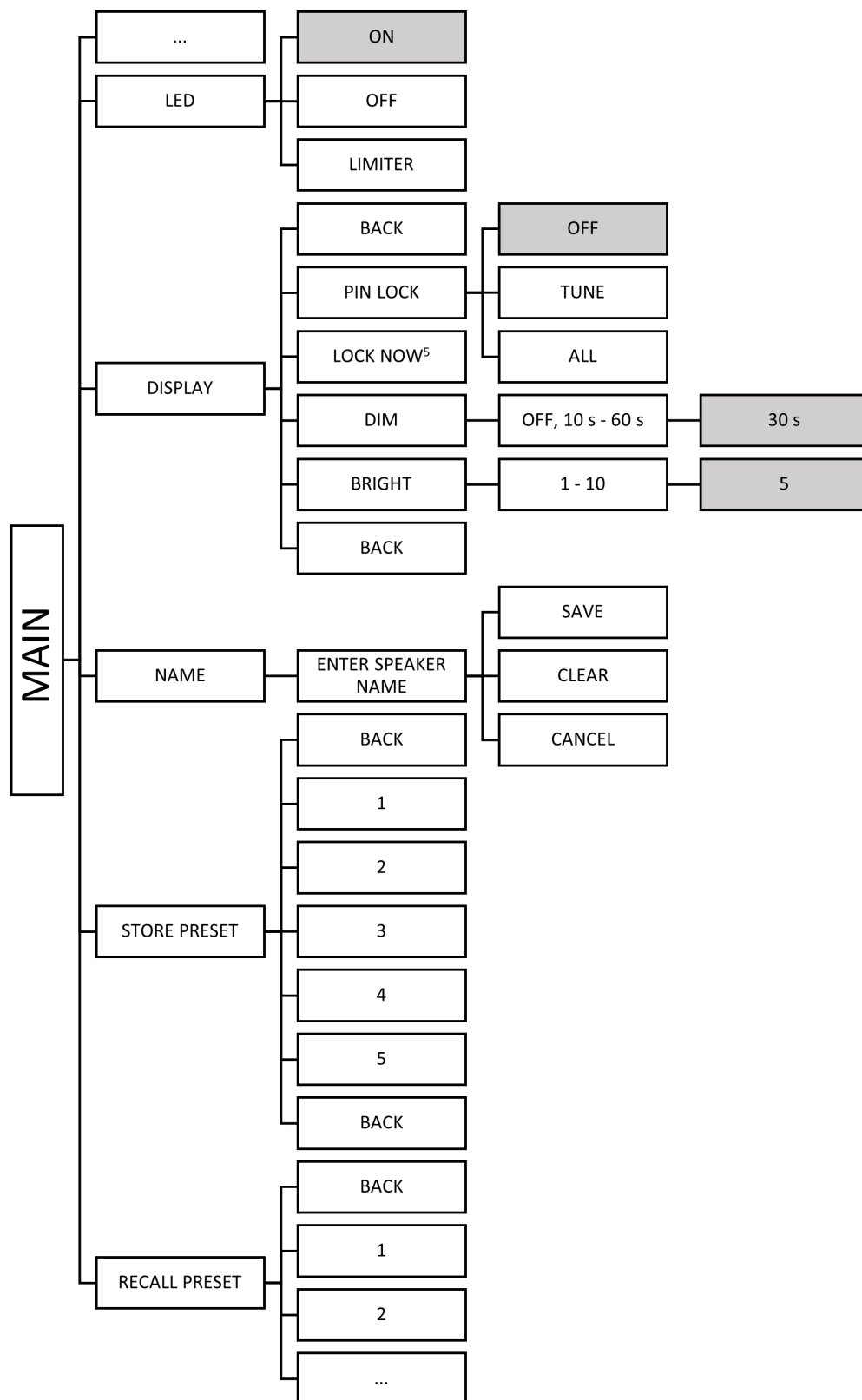
⁴ EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 でのみ使用可能

灰色のボックスはデ
フォルト値です



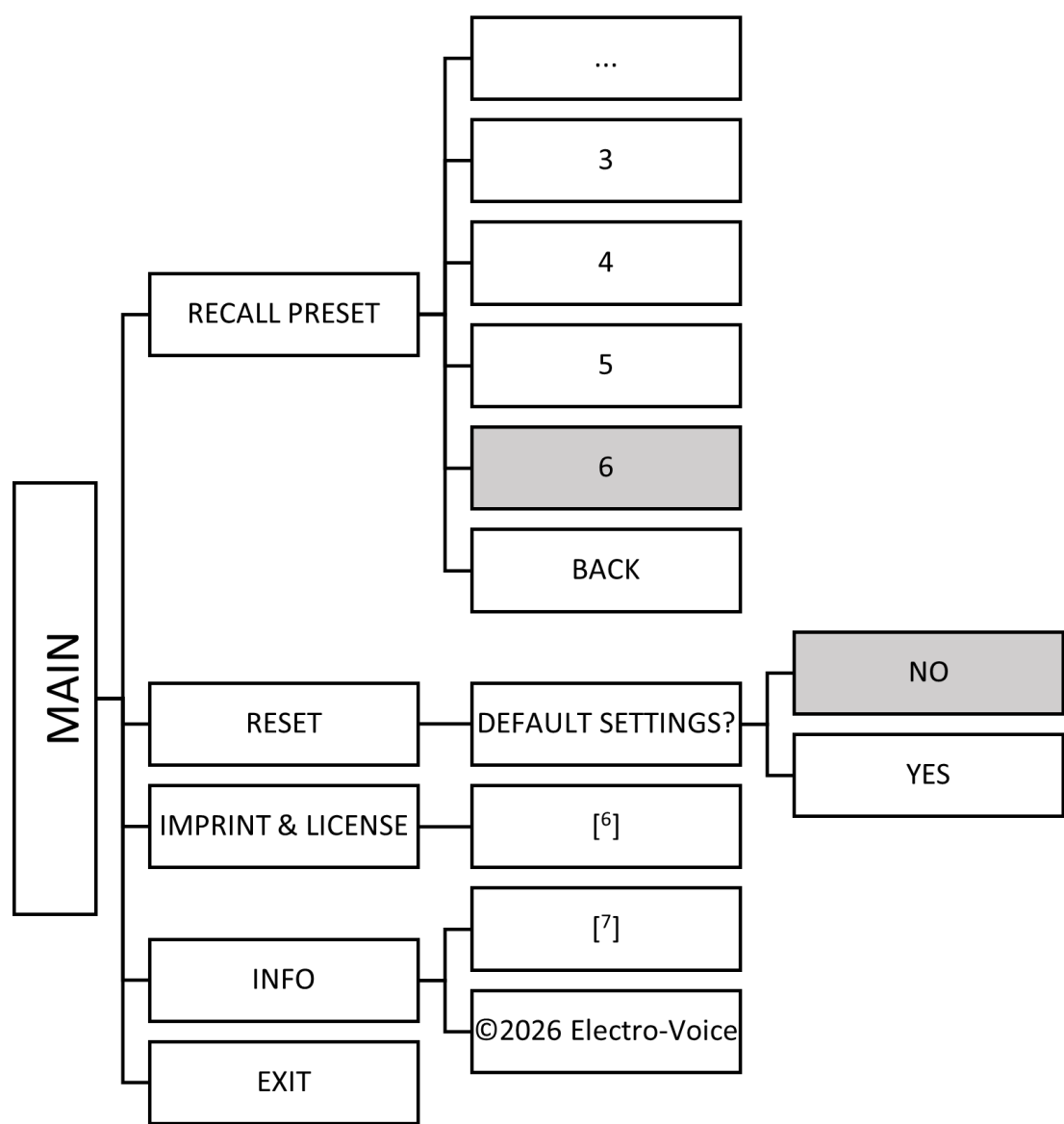
⁴ EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 でのみ使用可能

灰色のボックスはデ
フォルト値です



⁵ PIN が設定されている場合のみ使用可能

灰色のボックスはデ
フォルト値です



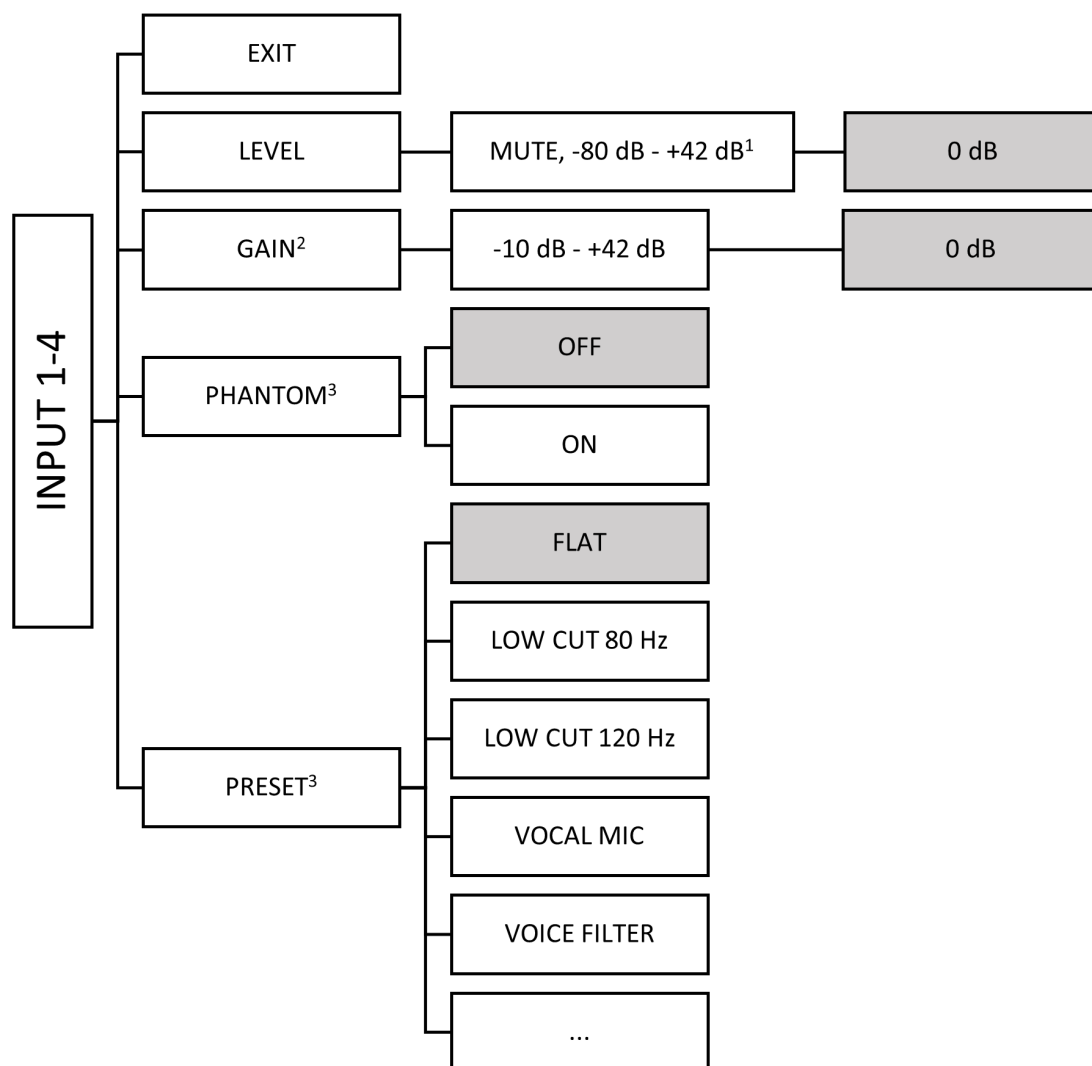
⁶ OSS ライセンス テキスト
⁷ モデル、ファームウェア バージョン、BT バージョン、著作権

13.1.2 Input DSP コントロール メニュー一覧

13.1.2.1 EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2

13.1.2.1.1 INPUT 1 ~ 4

灰色のボックスはデフォルト値です

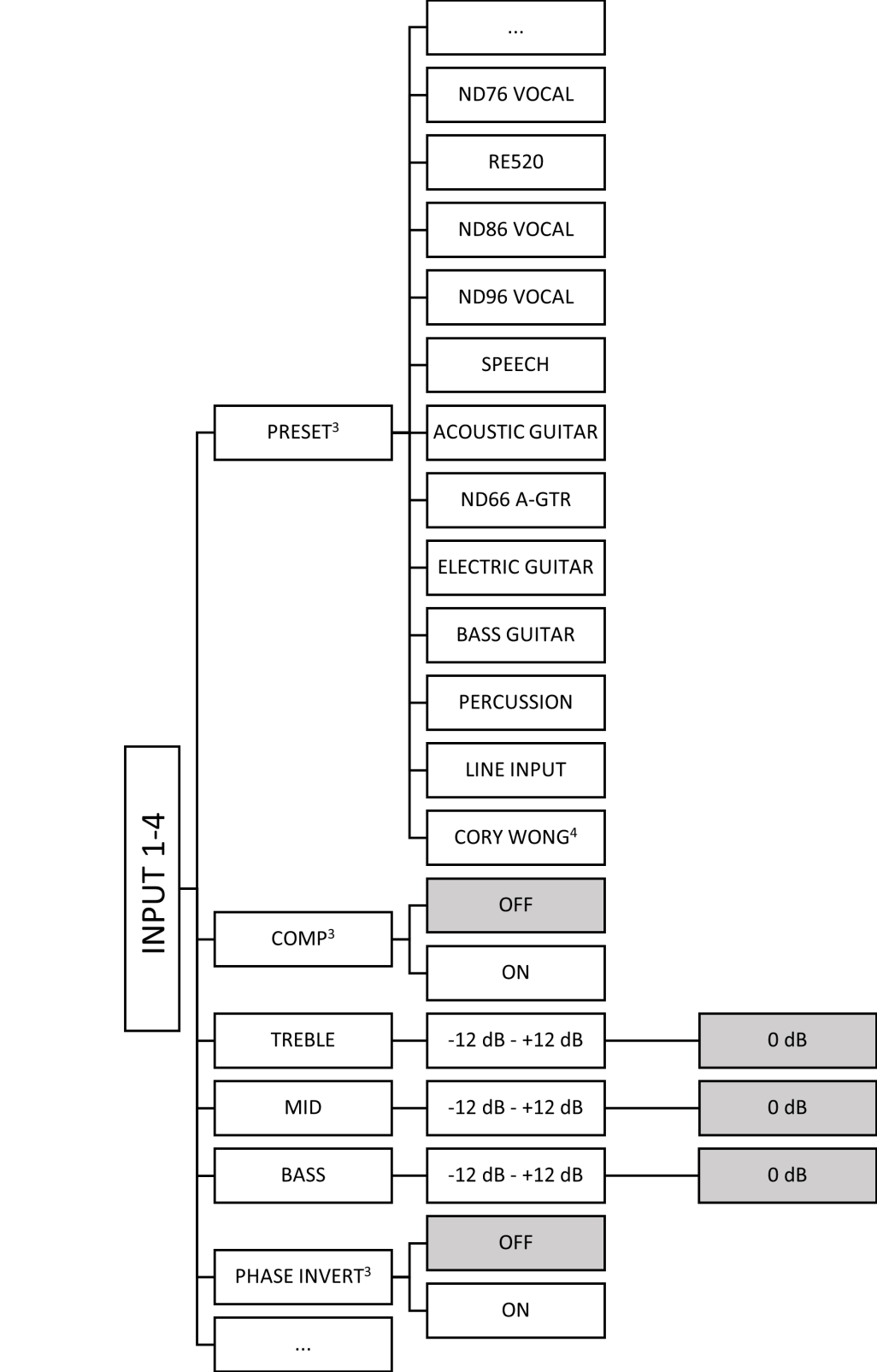


¹ MANUAL GAIN: が ON の場合は -80 dB ~ +10 dB

² MANUAL GAIN: が ON、INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能

³ INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能

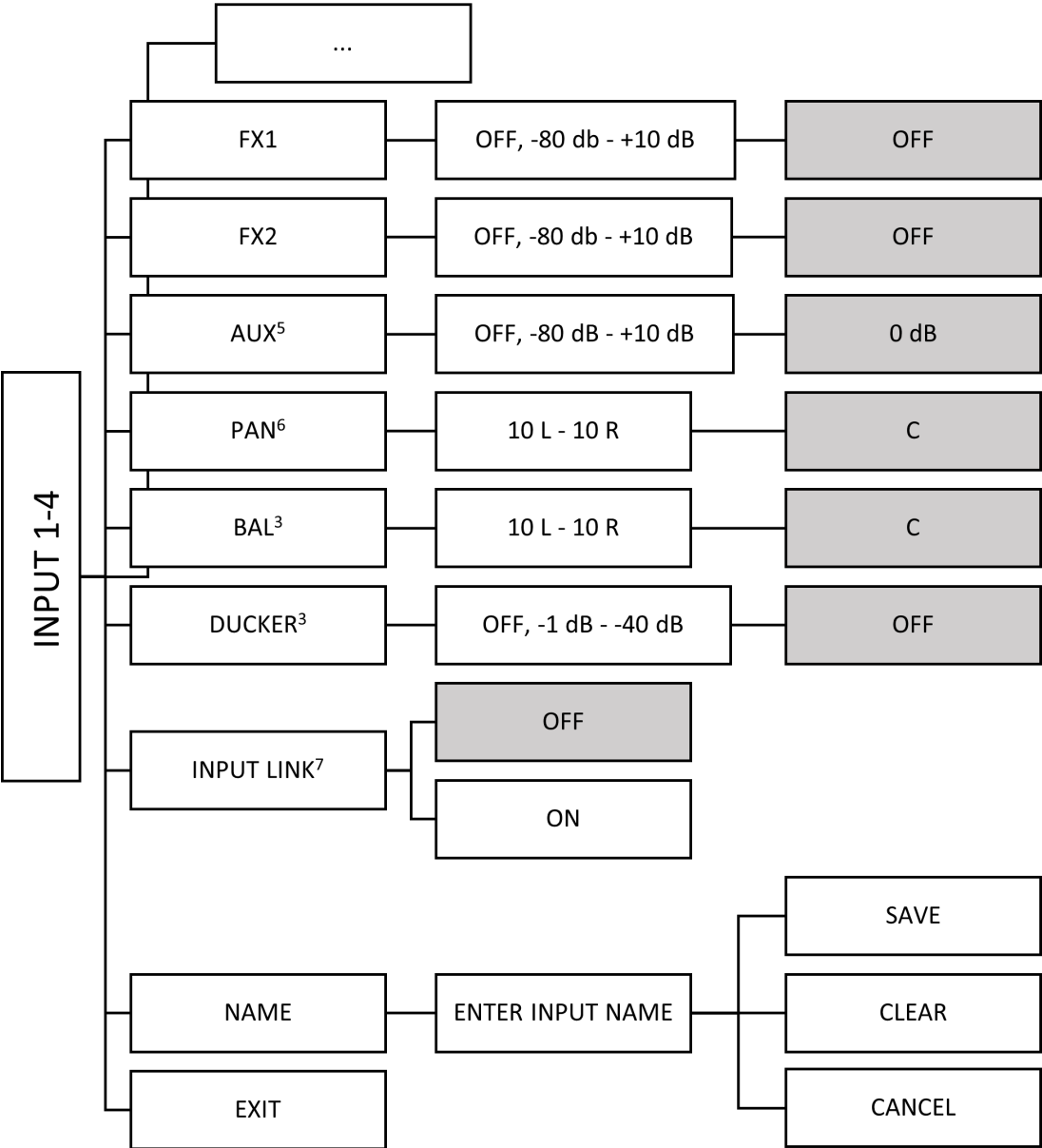
灰色のボックスはデ
フォルト値です



³ INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能

⁴ EVOLVE 30M G2 でのみ使用可能

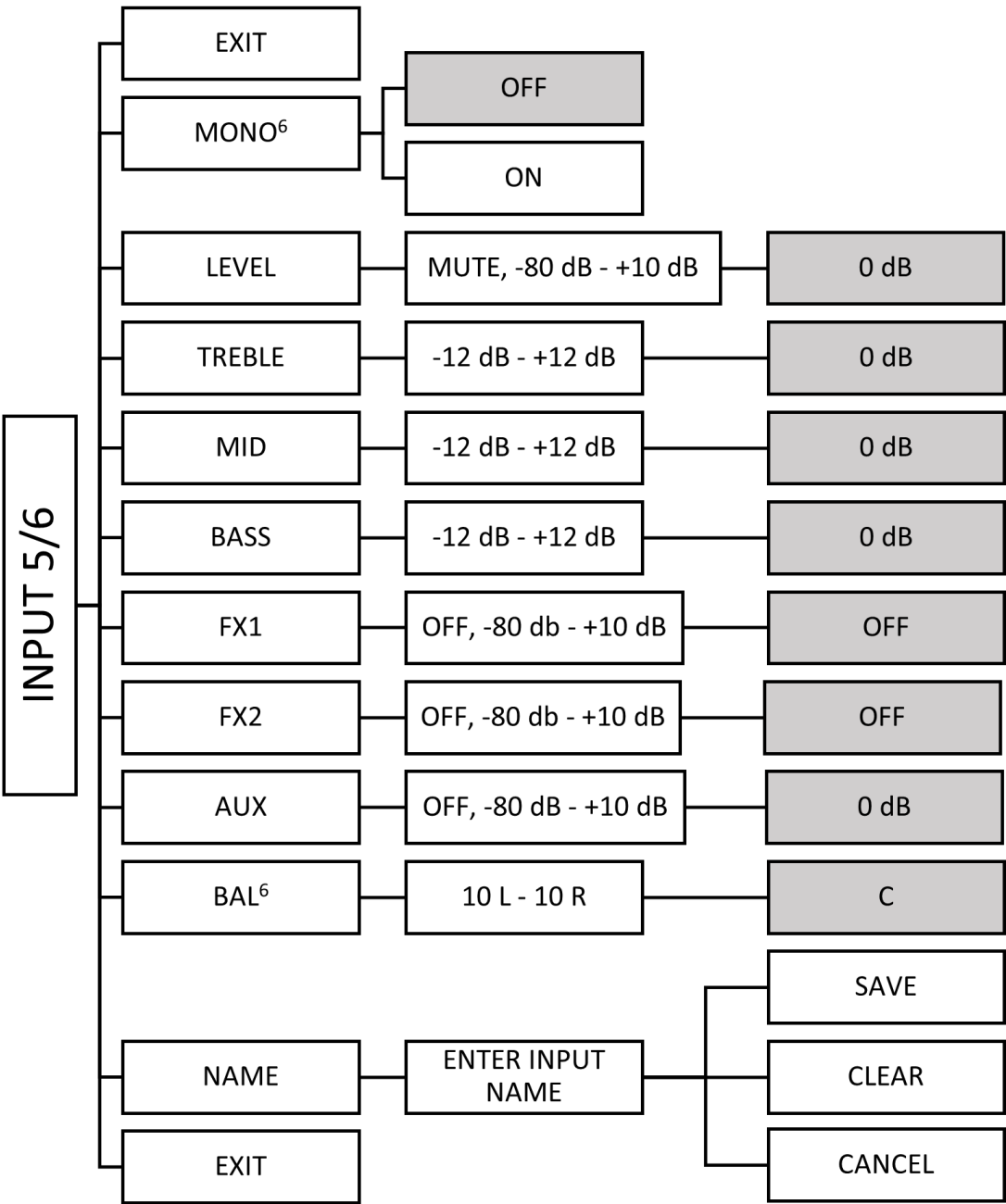
灰色のボックスはデ
フォルト値です



³ INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能
⁵ AUX OUT ROUTING: が AUX MIX の場合に使用可能
⁶ ステレオ動作でのみ使用可能
⁷ INPUT 1 および INPUT 3 でのみ使用可能

13.1.2.1.2 INPUT 5/6

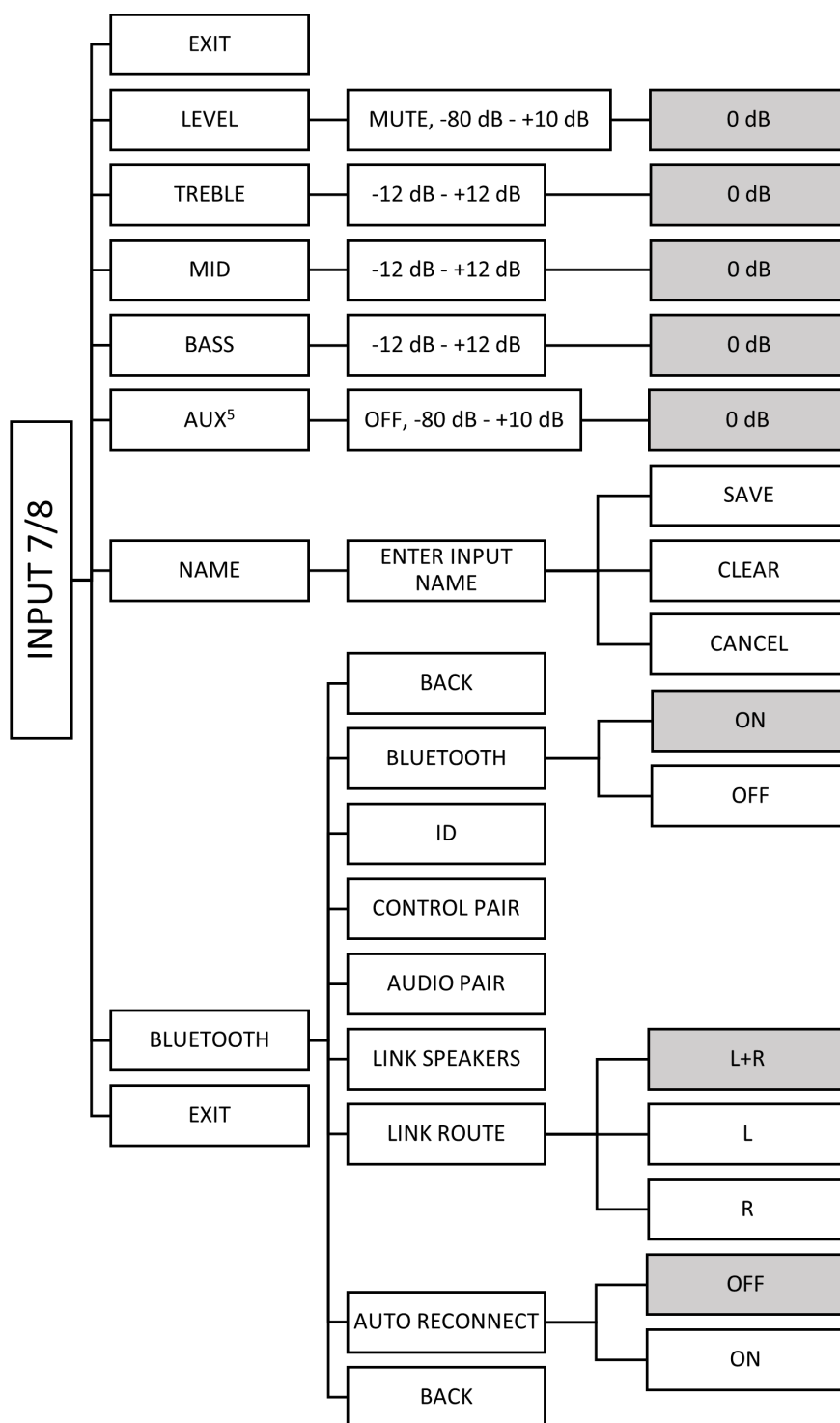
灰色のボックスはデフォルト値です



⁶ ステレオ動作でのみ使用可能

13.1.2.1.3 INPUT 7/8

灰色のボックスはデ
フォルト値です

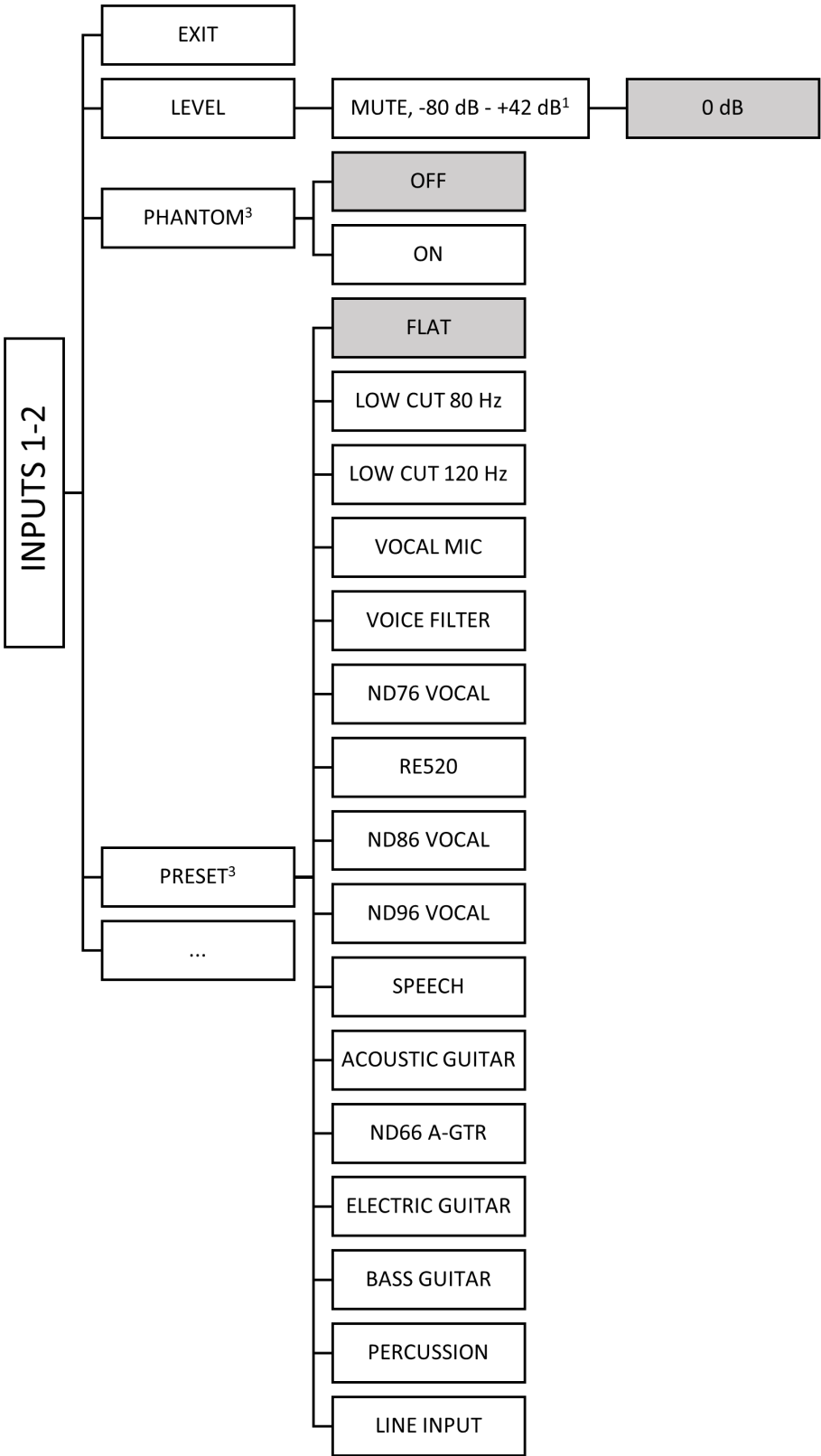


⁵ AUX OUT ROUTING: が AUX MIX の場合に使用可能

13.1.2.2 EVOLVE 50 G2

13.1.2.2.1 INPUT 1 ~ 2

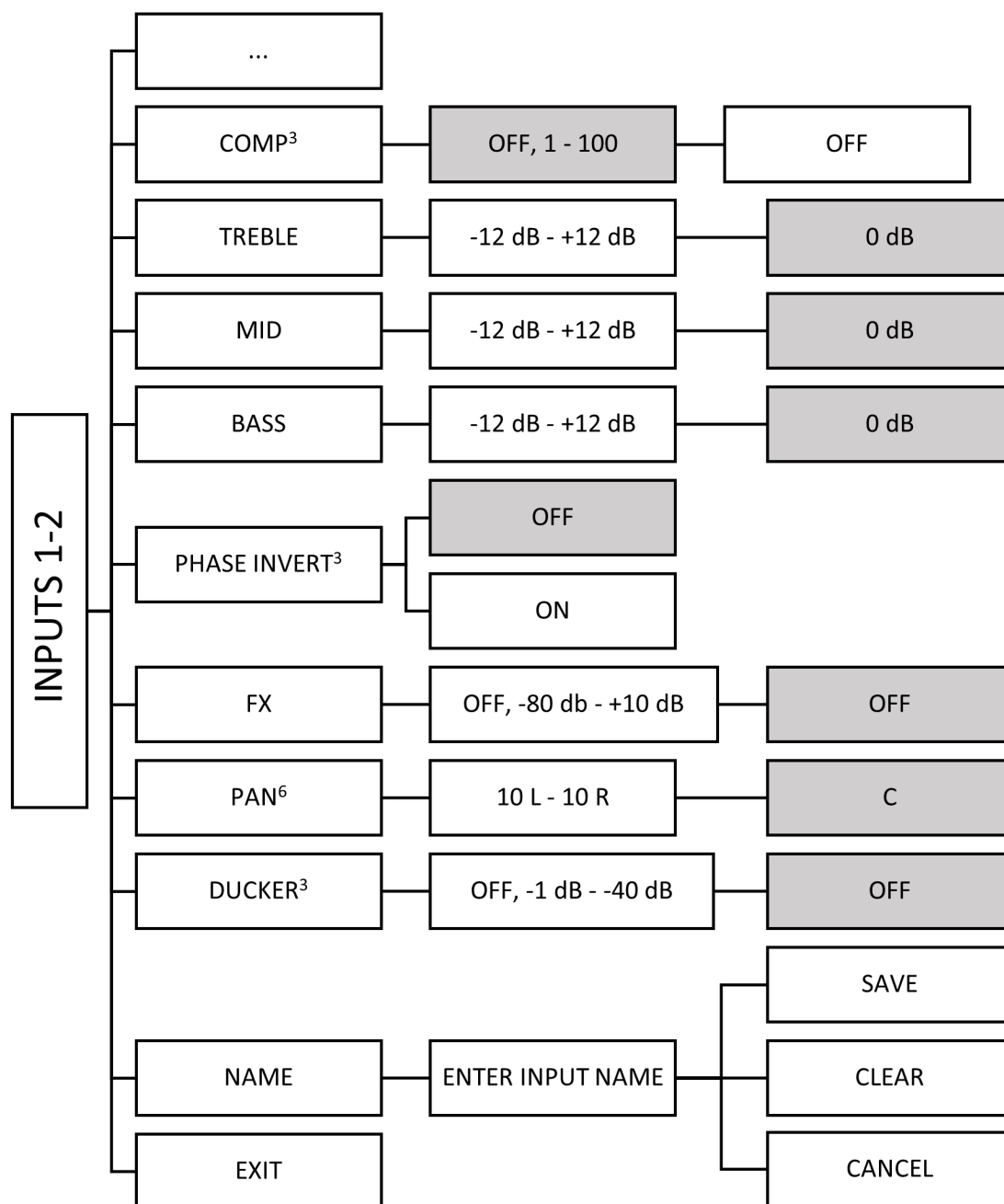
灰色のボックスはデフォルト値です



¹ MANUAL GAIN: が ON の場合は -80 dB ~ +10 dB

³ INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能

灰色のボックスはデ
フォルト値です

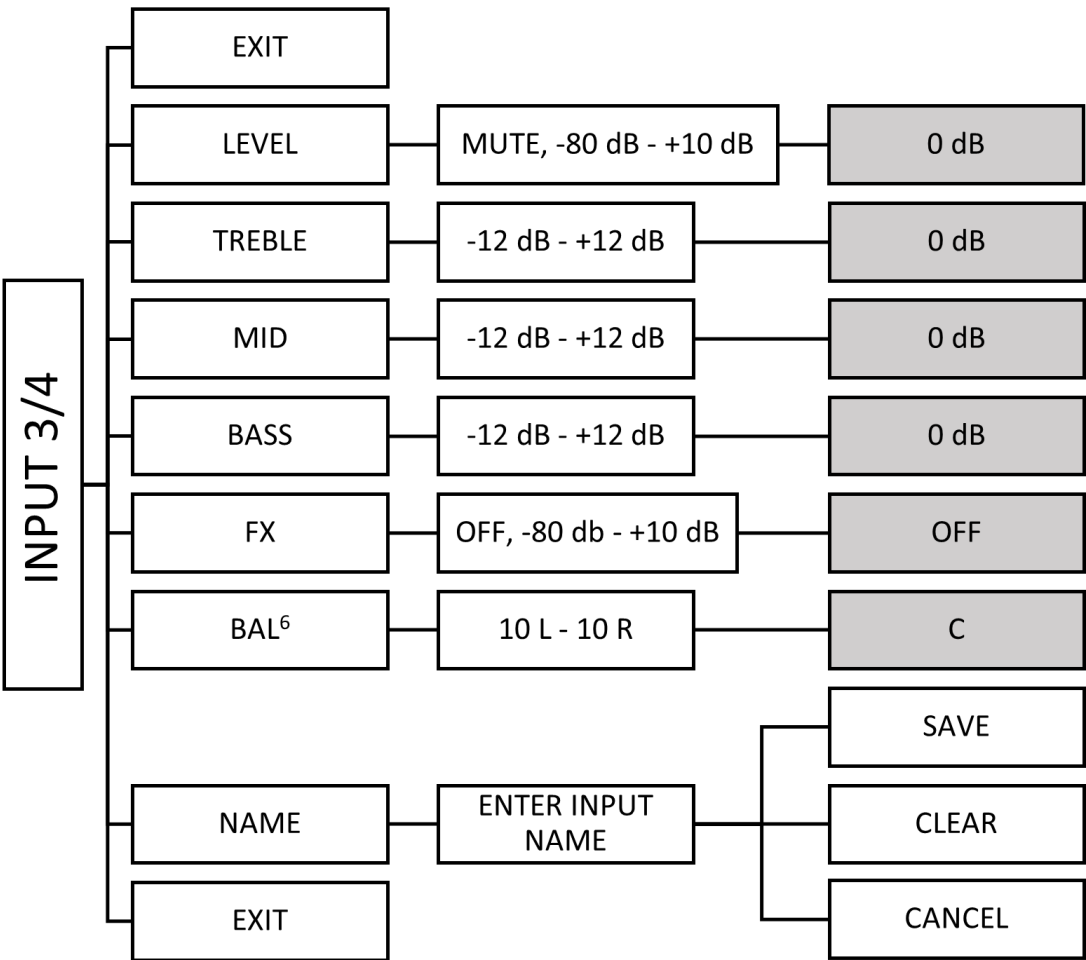


³ INPUT LINK: が OFF の場合に使用可能

⁶ ステレオ動作でのみ使用可能

13.1.2.2.2 INPUT 3/4

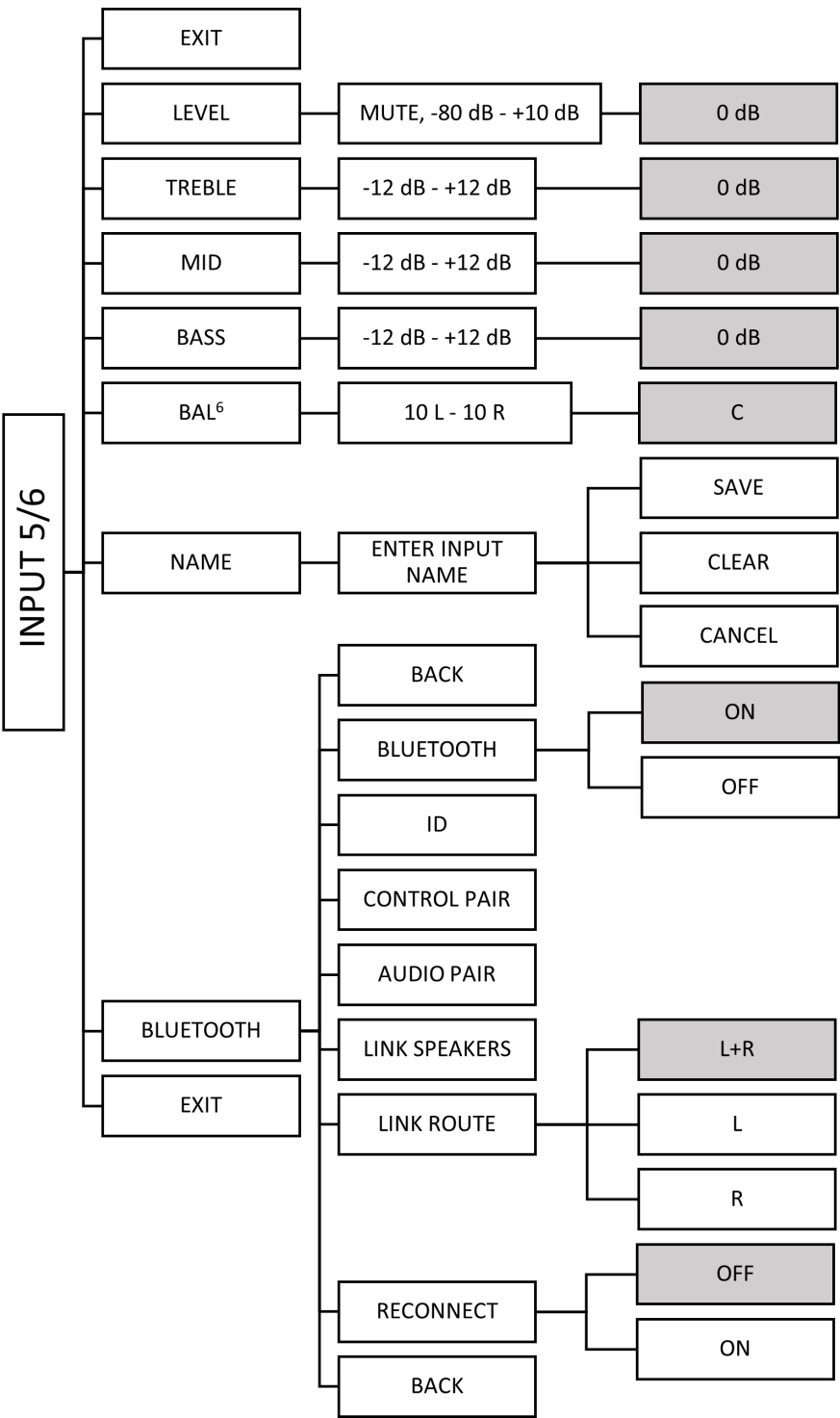
灰色のボックスはデ
フォルト値です



⁶ ステレオ動作でのみ使用可能

13.1.2.2.3 INPUT 5/6

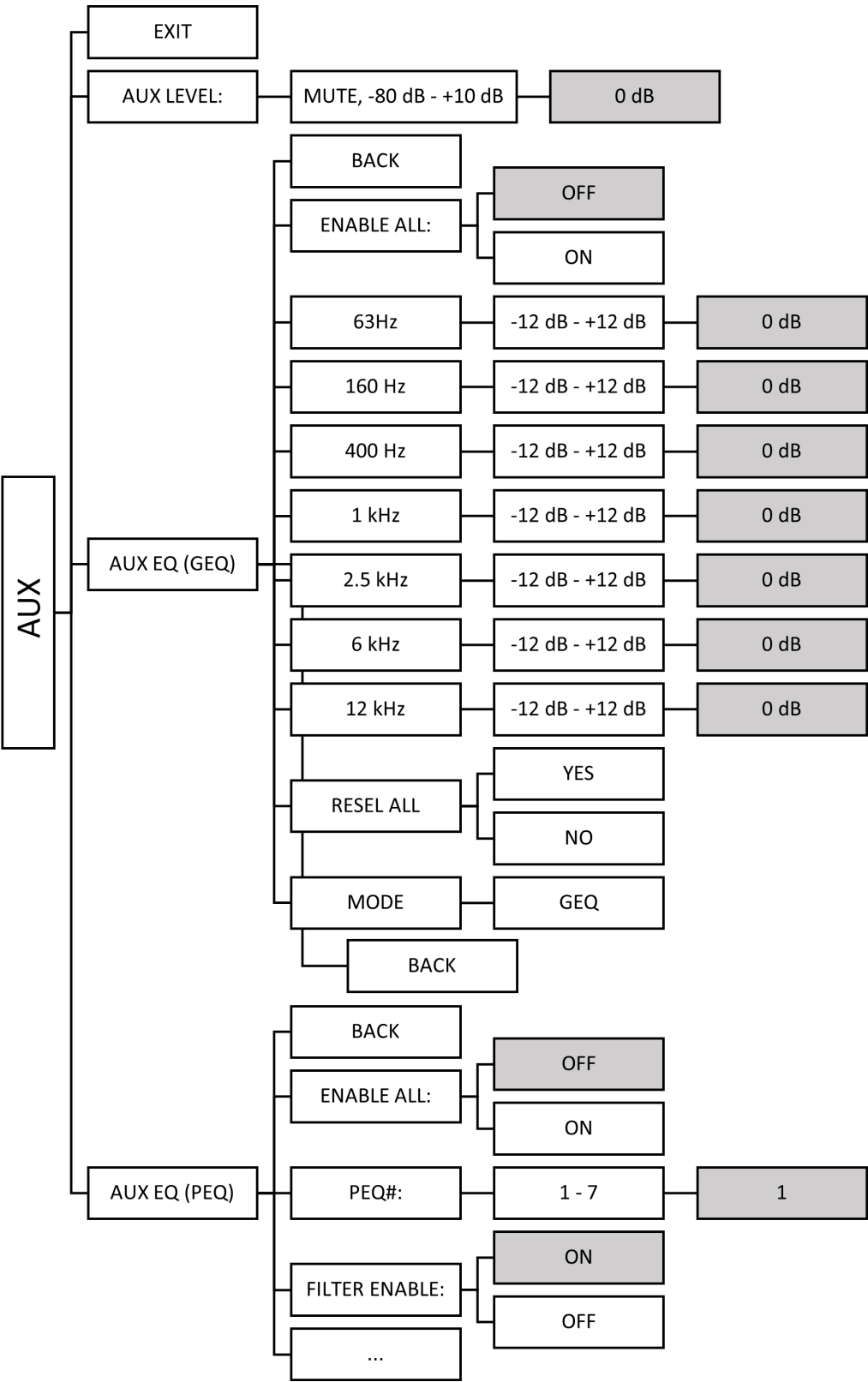
灰色のボックスはデフォルト値です



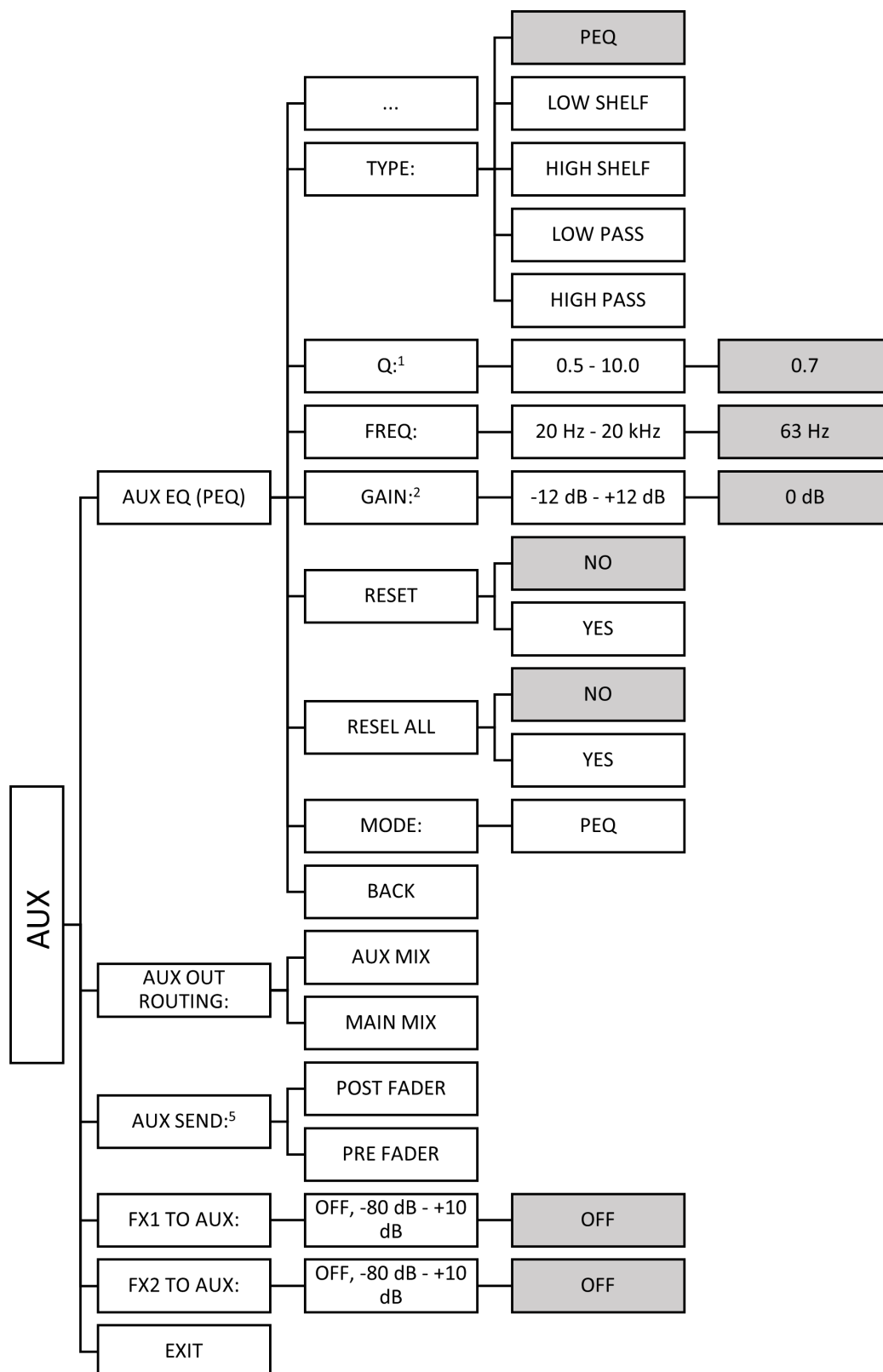
⁶ ステレオ動作でのみ使用可能

13.1.3 AUX コントロール メニュー一覧

灰色のボックスはデフォルト値です
AUX コントロール メニューは、EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 のみで使用できます。



灰色のボックスはデ
フォルト値です



¹ TYPE: が PEQ の場合に使用可能

² TYPE: が PEQ、LOW SHELF、HIGH SHELF の場合に使用可能

⁵ AUX OUT ROUTING: が AUX MIX の場合に使用可能

13.2 Audio FX

Audio FX (エフェクト) は、音声信号のサウンドを変更する処理技術です。
EVOLVE G2 のオーディオ FX は予告なく変更される場合があります。

13.2.1 EVOLVE 30M G2 および EVOLVE 50M G2 の FX1 と FX2

番号	名前
00	消灯
01	Echo+Reverb Long
02	Echo+Reverb Short
03	Reverb Room
04	Reverb Concert Hall
05	Reverb Large Hall
06	Reverb Church
07	Reverb Cathedral
08	Reverb Room Soft
09	Reverb Concert Hall Soft
10	Reverb Large Hall Soft
11	Reverb Church Soft
12	Reverb Cathedral Soft
13	Reverb Plate Medium
14	Reverb Plate Long
15	Reverb Plate Medium Soft
16	Reverb Plate Long Soft
17	Reverb+Chorus Slow
18	Reverb+Chorus Medium
19	Reverb+Chorus Fast
20	Delay Short
21	Delay Long
22	Delay Tap
23	Delay Stereo Tap
24	Delay Short Soft
25	Delay Long Soft
26	Chorus Slow
27	Chorus Medium
28	Chorus Fast

番号	名前
29	Chorus+Echo Slow
30	Chorus+Echo Fast
31	Jet Flanger
32	Slapback+Echo Slow
33	Slapback+Echo Fast
34	Doubling Narrow
35	Doubling Medium
36	Doubling Wide
37	Reverse

13.2.2 EVOLVE 50 G2 の FX エフェクト

番号	名前
0	消灯
1	Echo+Reverb Short
2	Reverb Room
3	Reverb Concert Hall
4	Reverb Large Hall
5	Reverb Church
6	Reverb Room Soft
7	Reverb Concert Hall Soft
8	Reverb Large Hall Soft
9	Reverb Church Soft
10	Reverb Cathedral Soft
11	Reverb Plate Medium
12	Reverb Plate Long
13	Reverb Plate Medium Soft
14	Reverb Plate Long Soft
15	Reverb+ChorusSlow
16	Reverb+ChorusMedium
17	Reverb+ChorusFast
18	Delay Short

番号	名前
19	Delay Long
20	Delay Tap
21	Chorus Slow
22	Chorus Medium
23	Chorus Fast
24	Chorus+Echo Slow
25	Chorus+EchoMedium
26	Chorus+Echo Fast
27	Slap Back+EchoSlow
28	Slap Back+EchoFast
29	Doubling Narrow
30	Doubling Wide

13.3 QuickSmart Link の互換性

QSL Matrix	Evolve 50	Evolve 30M	Evolve 50M	Evolve 50 G2	Evolve 30M G2	Evolve 50M G2	Evolve 70	Evolve 90
Evolve 50	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible
Evolve 30M	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible	not possible
Evolve 50M	not possible	not possible	Audio/ CTRL	Audio only	Audio only	Audio only	Audio only	Audio only
Evolve 50 G2	not possible	not possible	Audio only	Audio/ CTRL	Audio only	Audio only	Audio only	Audio only
Evolve 30M G2	not possible	not possible	Audio only	Audio only	Audio/ CTRL	Audio/ CTRL	Audio only	Audio only
Evolve 50M G2	not possible	not possible	Audio only	Audio only	Audio/ CTRL	Audio/ CTRL	Audio only	Audio only
Evolve 70	not possible	not possible	Audio only	Audio only	Audio only	Audio only	Audio/ CTRL	Audio/ CTRL
Evolve 90	not possible	not possible	Audio only	Audio only	Audio only	Audio only	Audio/ CTRL	Audio/ CTRL

図 13.1: EVOLVE G1 および EVOLVE G2 モデルと QuickSmart Link の互換性

13.4 QuickSmart Link で同期されるパラメータ

このセクションでは、EVOLVE および EVOLVE G2 ファミリーのスピーカーで QuickSmart Link により同期されるパラメータの一覧を示します。

例外: FX ENABLE をミュートするフットスイッチ操作については、パラメータの同期で考慮されません。これは、使用時に検出および同期されます。

	EVOLVE 70 EVOLVE 90	EVOLVE 50 G2	EVOLVE 30M G2 EVOLVE 50M G2
MASTER LEVEL	□□	□□	□□
MAIN LEVEL	□□□□	□□□□	□□□□
TREBLE	□□	□□	□□

	EVOLVE 70 EVOLVE 90	EVOLVE 50 G2	EVOLVE 30M G2 EVOLVE 50M G2
MID	□□	□□	□□
BASS	□□	□□	□□
MODE	□□	□□	□□
MIX OUT	□□	□□	□□
SUB LEVEL	□□	□□	□□
DELAY	□□	□□	□□
AUX OUT	□□□□	□□□□	□□
SUB OUT ROUTING	□□	□□□□	□□□□
SUB DELAY	□□	□□□□	□□□□
FX 有効	□□ ¹	□□	□□
MIX OUT ROUTING	□□□□	□□	□□
MAIN EQ	□□	□□	□□
INPUT AUX SEND	□□□□	□□□□	□□
INPUT MANUAL GAIN	□□□□	□□□□	□□
FUNCTION	□□□□	□□□□	□□□□

表 13.1: QuickSmart Link で同期されるスピーカー パラメータ

¹ v1.1.0 以降

13.5

保証情報

保証期間とアフターサービスについては、
www.electrovoice.com/support/warranty/ をご覧ください

13.6

規制情報

13.6.1

FCC に関する情報

重要: 本装置を改造しないでください。製造元から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、FCC からユーザーに付与された本装置の使用権限が無効になることがあります。



注記!

この製品は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタルデバイスの制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本製品は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。ただし、特定の地域では障害が発生しない保証はありません。

本製品がラジオやテレビの受信に障害を与えていないか、またはラジオやテレビ、通信機器から受信障害を受けていないかどうかは、本製品の電源をオン、オフすることで判断できます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本製品と受信機の距離を離す。
- 本製品と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店またはラジオ、TV、通信機器の専門技術者に問い合わせる。

本装置は FCC によって認可されています (FCC ID 2BUWWEVOLVE)。

規制遵守の責任者から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、本装置の使用権限が無効になることがあります。

本装置の設置および操作を行う際は、ラジエータと人体との間を 20 cm 以上離して作業する必要があります。

本機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC/IC RSS-102 放射線被曝制限に準拠しています。

本装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます。

- (1) 電波障害を起こさないこと。
- (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての電波障害を受け入れること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

13.6.2

欧州 (CE) 向けの簡易適合宣言書 (sDoC)

BG	С настоящото Electro-Voice Dynacord LLC декларира, че този тип радиосъоръжение EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU е в съответствие с Директива 2014/53/EC. Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: www.electrovoice.com
CS	Tímto Electro-Voice Dynacord LLC prohlašuje, že typ rádiového zařízení EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese: www.electrovoice.com
DA	Hermed erklærer Electro-Voice Dynacord LLC, at radioudstyrstypen EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU. EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse: www.electrovoice.com
DE	Hiermit erklärt Electro-Voice Dynacord LLC, dass der Funkanlagentyp EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: www.electrovoice.com

EL	Με την παρούσα ο/η Electro-Voice Dynacord LLC , δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο: www.electrovoice.com
EN	Hereby, Electro-Voice Dynacord LLC declares that the radio equipment type EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU is in compliance with Directive 2014/53/EU and the relevant statutory requirements. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: www.electrovoice.com .
ES	Por la presente, Electro-Voice Dynacord LLC declara que el tipo de equipo radioeléctrico EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU es conforme con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente: www.electrovoice.com .
ET	Käesolevaga deklareerib Electro-Voice Dynacord LLC , et käesolev raadioseadme tüüp EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele. ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil: www.electrovoice.com
FI	Electro-Voice Dynacord LLC vakuuttaa, että radiolaitetyypit EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU on direktiivin 2014/53/EU mukainen. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa: www.electrovoice.com
FR	Le soussigné, Electro-Voice Dynacord LLC , déclare que l'équipement radioélectrique du type EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU est conforme à la directive 2014/53/UE. Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante: www.electrovoice.com
HR	Electro-Voice Dynacord LLC ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU u skladu s Direktivom 2014/53/EU. Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: www.electrovoice.com
HU	Electro-Voice Dynacord LLC igazolja, hogy a EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU,

	EVOLVE50-CB-G2-EU típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek. Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: www.electrovoice.com
IT	Il fabbricante, Electro-Voice Dynacord LLC , dichiara che il tipo di apparecchiatura radio EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU è conforme alla direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: www.electrovoice.com
LT	Aš, Electro-Voice Dynacord LLC , patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU atitinka Direktyvą 2014/53/ES. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas prieinamas šiuo interneto adresu: www.electrovoice.com
LV	Ar šo Electro-Voice Dynacord LLC deklarē, ka radioiekārta EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU atbilst Direktīvai 2014/53/ES. Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: www.electrovoice.com
MT	B'dan, Electro-Voice Dynacord LLC , niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE. It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li ġej: www.electrovoice.com
NL	Hierbij verklaar ik, Electro-Voice Dynacord LLC , dat het type radioapparatuur EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU conform is met Richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres: www.electrovoice.com
PL	Electro-Voice Dynacord LLC niniejszym oświadczam, że typ urządzenia radiowego EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: www.electrovoice.com
PT	O(a) abaixo assinado(a) Electro-Voice Dynacord LLC declara que o presente tipo de equipamento de rádio EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet: www.electrovoice.com

RO	Prin prezenta, Electro-Voice Dynacord LLC declară că tipul de echipamente radio EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE. Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet: www.electrovoice.com
SK	Electro-Voice Dynacord LLC týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ. Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: www.electrovoice.com
SL	Electro-Voice Dynacord LLC potrjuje, da je tip radijske opreme EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU skladen z Direktivo 2014/53/EU. Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu: www.electrovoice.com
SV	Härmed försäkrar Electro-Voice Dynacord LLC att denna typ av radioutrustning EVOLVE30M-G2-EU, EVOLVE30M-G2-W, EVOLVE50-SB-G2-EU, EVOLVE50-SW-G2, EVOLVE50M-SB-G2-EU, EVOLVE50M-SW-G2, EVOLVE50M-CW-G2-EU, EVOLVE50M-CB-G2-EU, EVOLVE50-CW-G2-EU, EVOLVE50-CB-G2-EU överensstämmer med direktiv 2014/53/EU. Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress: www.electrovoice.com

13.6.3

CE の規制通知 - 機器の使用に関する情報

この装置は試験により、クラス B のエミッション制限に準拠していることが確認されています。発生する電磁妨害は、無線と電気通信装置またはその他装置が意図したとおりに動作できなくなるレベルを超えません。つまり、住宅環境や商業環境での使用に制限がないことを意味します。

13.6.4

認定規格

ブラジル :

Após uma perturbação da rede elétrica, o EVOLVE G2 pode entrar em estado de segurança. Neste caso, você deve desligar e ligar o dispositivo novamente.

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Este equipamento deve ser conectado obrigatoriamente em tomada de rede de energia elétrica que possua aterramento (três pinos), conforme a Norma de instalações elétricas ABNT NBR 5410, visando a segurança dos usuários contra choques elétricos.

Incorpora produto homologado pela ANATEL sob número 01000-24-07826.

Para mais informações, consulte o site da ANATEL: www.anatel.gov.br.

13.6.5

注意事項

著作権および免責事項

All rights reserved. 形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Electro-Voiceまでご連絡ください。

仕様、データおよび図を含む本マニュアルのすべての内容は、予告なく変更されることがあります。

**注記!**

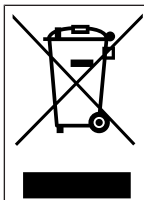
セキュリティの脆弱性について報告する場合は、以下のリンクを使用してください: <https://www.keenfinity-group.com/xc/en/support/product-security/>

Bluetooth®

Bluetooth® のワード マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Electro-Voice Dynacord LLC はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

ラジオ情報

このスピーカーは、7 dBm +/- 1 dB EIRP の送信電力で、2.4 GHz の周波数帯域 (2,400 ~ 2483.5 MHz) の電波を意図的に放射します。このシステムでは、ゲインが 1dBi +/- 1dB のアンテナを 1 つ使用します。

廃棄**古い電気および電子機器**

本製品やバッテリーは、家庭ごみとは別に廃棄する必要があります。そのような機器を再利用またはリサイクルするために、地域ごとの法規制に従って処分してください。これにより、資源を維持し、人の健康と環境を守ることができるようになります。

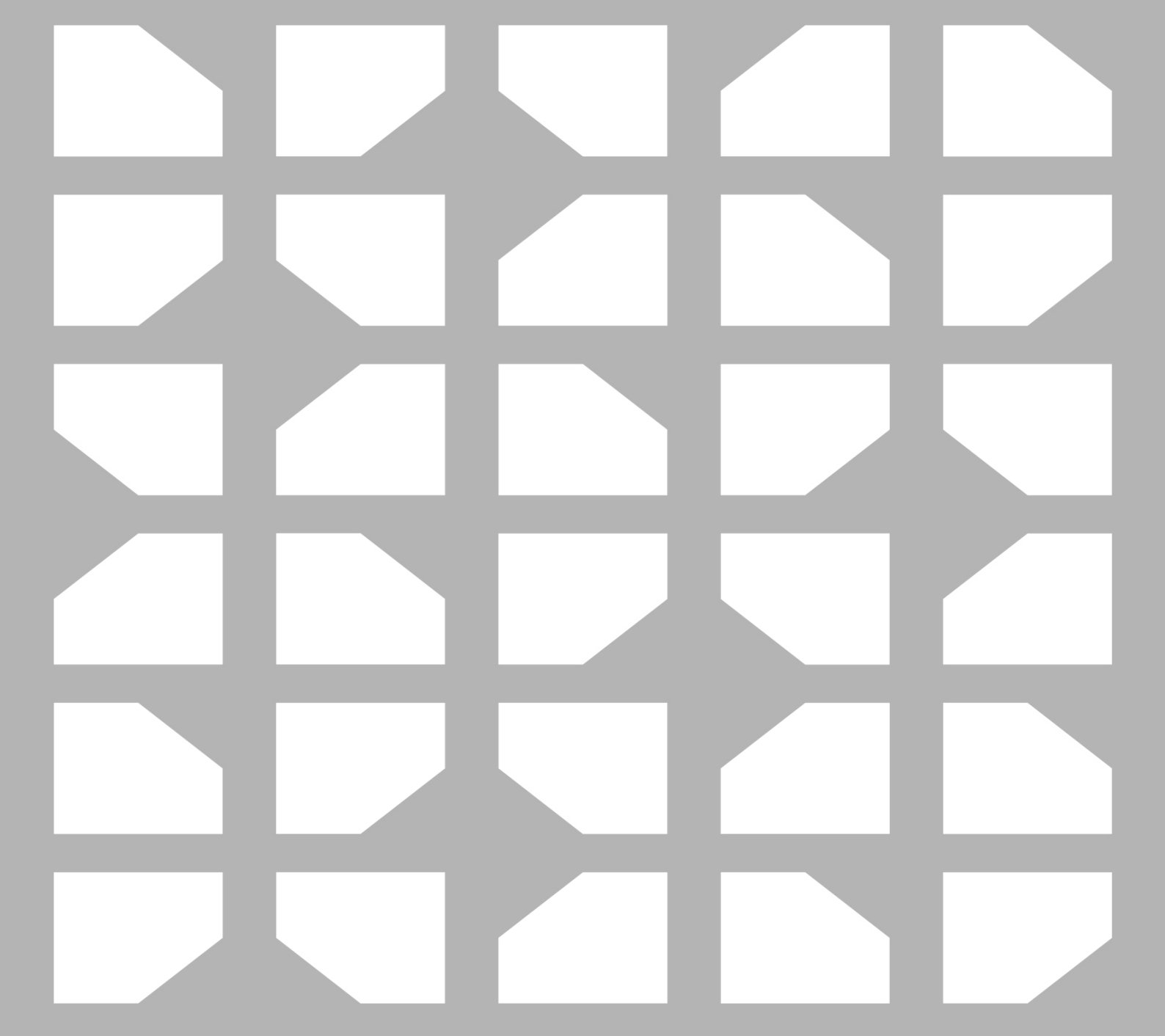
詳細について

追加の規制および国固有の認証情報については、コラム スピーカー システムの LCD 画面を参照してください。

追加の規制および国固有の認証情報を確認するには：

1. メイン DSP メニューの **IMPRINT & LICENSE** セクションに移動します。
2. エンコーダーを押して確定します。
3. エンコーダーを回して、表示されるテキストを閲覧します。
4. エンコーダーを押して終了します。

iOS および Android 版の Electro-Voice QuickSmart アプリをダウンロードしてください。スピーカーのファームウェアが最新の法規制情報に対応していることを確認してください。



Electro-Voice Dynacord LLC
12000 Portland Avenue South
MN 55337 Burnsville
USA
www.electrovoice.com
© Electro-Voice Dynacord 2026

EU importer:
EVI Audio GmbH
Sachsenring 60
94315 Straubing
Germany
© EVI Audio GmbH, 2026